

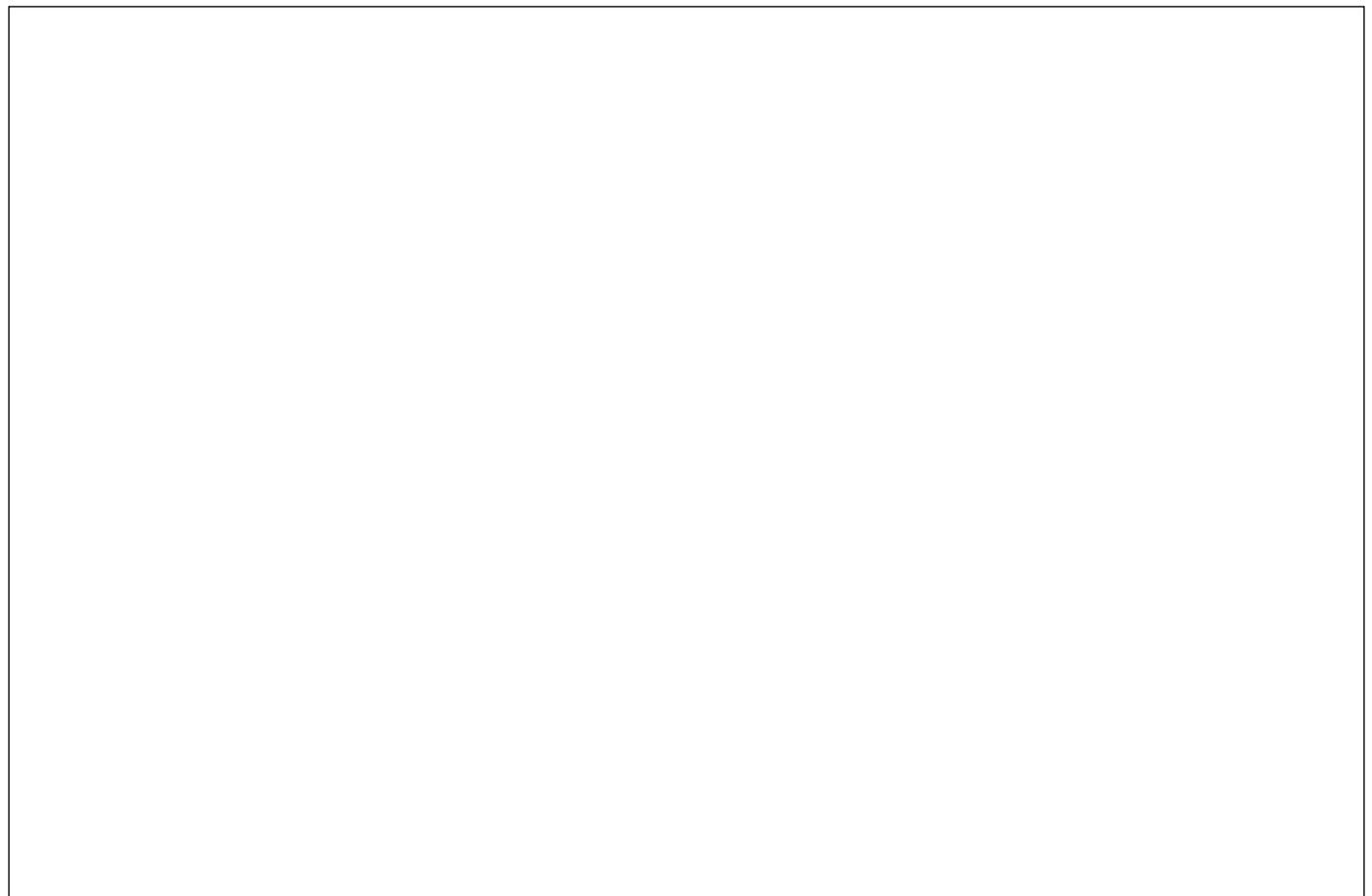
取扱説明書 設定編

PCソフトウェアパッケージ

品番 WV-ASM200

機能拡張ソフトウェア

品番 WV-ASE201, WV-ASE202
WV-ASE203, WV-ASE205
WV-ASE231
WV-ASE201W, WV-ASE202W
WV-ASE203W, WV-ASE205W
WV-ASE231W



はじめに

商品概要

PCソフトウェアパッケージWV-ASM200シリーズ（以下、本ソフトウェア）はLAN（Local Area Network：以下、ネットワーク）に接続された、複数台（各機器の登録数については「商品仕様」（※3ページ）をお読みください。）のパナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダー（以下、レコーダー）および、ネットワークインターフェースユニット（以下、エンコーダー）、ネットワークカメラ（以下、カメラ）、ネットワークマイク（以下、マイク）を統合管理し、Microsoft® Windows® 上で動作するソフトウェアです。対応機器については、「対応機器一覧」（※4ページ）をお読みください。

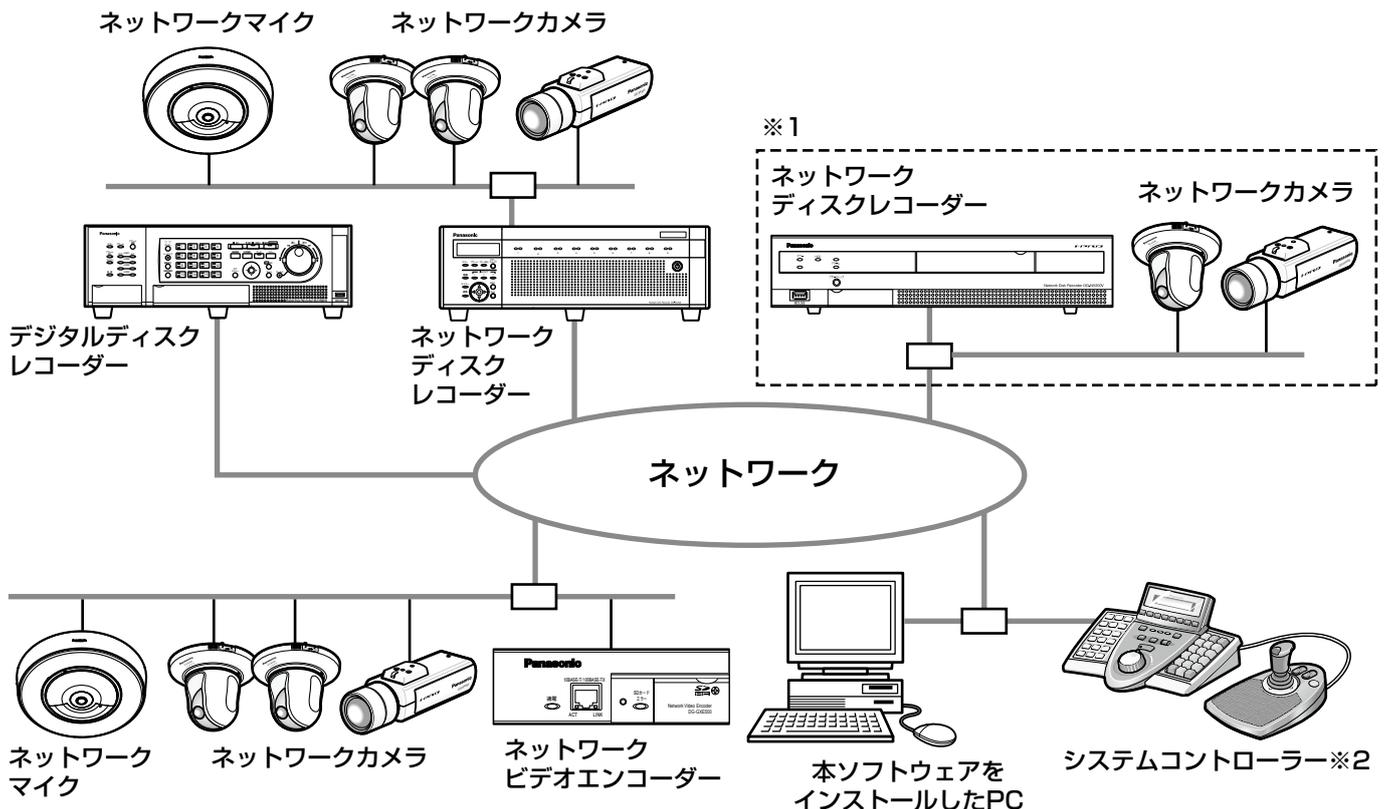
本ソフトウェアを使用することにより、カメラの画像を遠隔のパーソナルコンピューター（以下、PC）のモニターに表示したり、マイクの音声をPCで再生したり、レコーダーに録画されている画像や音声をPCから操作し、PCのモニターで再生したり、PCのハードディスクにダウンロードしたりすることができます。

ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次の3種類のソフトウェアで構成されます。

- 設定ソフトウェア：運用ソフトウェアを使用するための設定および設定データの管理を行います。
- 運用ソフトウェア：ライブ画像の表示、レコーダーに録画されている画像や音声のダウンロードや再生操作、検索、およびカメラやマイクの操作を行います。
- サービスソフトウェア：独自アラーム通知の受信、操作ログの自動削除を行います。
PC起動時に起動し、常駐プログラムとして動作します。

システム構成図



はじめに（つづき）

※1 点線で囲まれた構成にすると、レコーダーに接続されているカメラの画像を、レコーダーを経由せずに直接見ることができます。その場合、以下の項目を確認・設定してください。

- レコーダーにカメラを登録する。
- レコーダーは1ポートで運用する。

※2 システムコントローラーは別途購入する必要があります。

重要

- PCと各機器はクロスケーブルで接続しないでください。
- 複数のシステムコントローラーを接続した場合の動作は保障しません。

商品仕様

- レコーダー登録数 : 最大100台
- エンコーダー登録数 : 最大64台
- カメラ登録数 : 最大256台
- マイク登録数 : 最大256台
- ユーザー登録数 : 最大32名
- ユーザーレベル数 : 5レベル
- グループ登録数 : 最大400グループ
- シーケンス登録数 : 最大10件（シーケンス1件につき最大64ステップ登録可能）
- マップ登録数 : 最大100枚（マップ1枚につき最大64台のカメラ、最大20枚のマップが配置可能。登録可能なファイルサイズは10 MB未満。登録可能なファイルの種類はJPEG、BMP）
- アラームログ登録件数（表示件数） : 最大30000件（最大1000件）
- 機器障害ログ登録件数（表示件数） : 最大1000件（最大1000件）
- ネットワーク障害ログ登録件数（表示件数） : 最大1000件（最大1000件）
- システムログ登録件数（表示件数） : 最大1000件（最大1000件）
- 操作ログ登録件数（表示件数） : 最大100000件（最大1000件）
- 検索件数 : 最大1000件（VMD検索は最大200件）

メモ

- 1台のレコーダーに接続可能なPCの台数は、接続機器の種類やライブモニターを使用する／使用しないによって異なります。

機器	ライブモニターの使用	
	使用する	使用しない
ND300	4台	6台
ND200	2台	4台
HD300※3	2台※1	3台※2
ND400	8台	16台
HD600	4台	8台
NV200	1台	1台
NV250	1台	1台
NV300	4台	8台

※1 16画または9画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は1台になります。

※2 16画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は2台になります。

※3 以下の条件でレコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。

- イベント録画+シーケンス運用の場合
- 1台あたりのHD300に対する全体ライブレートが15 ips以上の場合（※38ページ）

- ウェブブラウザによるアクセスやFTP接続によりユーザー数が超過すると、レコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。
- 機能拡張ソフトウェア（WV-ASE203（別売り））のライセンスを追加することにより、レコーダー最大登録台数、エンコーダー最大登録台数、カメラ最大登録台数、マイク登録台数をそれぞれ100台、64台、256台、256台の単位で拡張することが可能です。なお、本ライセンスは最大4つまで登録することが可能です。

はじめに (つづき)

対応機器一覧

本ソフトウェアは以下の機器に対応しています。

重要

- 対応機器のバージョンによっては一部機能が動作しないものがあります。詳しくは、パナソニックサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/security/support/index.html>) を参照してください。

メモ

- レコーダーに接続できるカメラ、マイクに関しては、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- マイクに対応するレコーダーはNV300シリーズ、NV250シリーズ、ND400です。
- マイクに連動設定できるカメラは全方位カメラです。

対応レコーダー

機種	本書での表記	バージョン	圧縮方式
WJ-ND300、DG-ND300A	ND300	5.20以上	MPEG-4、M-JPEG、H.264
DG-ND200	ND200	3.30以上	MPEG-4、M-JPEG、H.264
WJ-HD350、WJ-HD309	HD300	3.44以上	独自方式
DG-ND400、DG-ND400K、WJ-ND400K	ND400	2.20以上	MPEG-4、M-JPEG、H.264
WJ-HD616、WJ-HD716、WJ-HD616K、WJ-HD716K	HD600	2.06以上	H.264
DG-NV200シリーズ	NV200	1.04以上	MPEG-4、M-JPEG、H.264
WJ-NV250シリーズ	NV250	1.00以上	M-JPEG、H.264
WJ-NV300シリーズ	NV300	1.10以上	M-JPEG、H.264

対応エンコーダー

機種	本書での表記	バージョン	圧縮方式
DG-NT304	NT304	1.32以上	MPEG-4、M-JPEG
DG-NT314	NT314	1.32以上	MPEG-4、M-JPEG
DG-GXE500、WJ-GXE500	GXE500	1.30以上	H.264、MPEG-4、M-JPEG
DG-GXE100、WJ-GXE100	GXE100	1.72以上	H.264、M-JPEG

対応カメラ

CD-ROM内のReadmeをお読みください。

対応マイク

機種	本書での表記	バージョン
WV-SMR10	SMR10	1.01以上

設定ソフトウェアについて

設定ソフトウェアは、管理者および設定の確認が可能な登録ユーザーでログインできます。ただし、設定は管理者のみ行えます。

また、設定ソフトウェアと運用ソフトウェアは同時に起動することはできません。
設定ソフトウェアでは以下の設定を行います。

重要

- 下記機能をご使用いただくには、機能拡張ソフトウェア（WV-ASE201（別売り））のライセンスを追加で登録していただく必要があります。
 - ライブモニター
 - マップモニター
 - システムコントローラー（DG-CU950）からの各種制御機能拡張ソフトウェアのライセンス登録方法については、「ライセンス登録に関する設定」（[146ページ](#)）をお読みください。
- 下記機能をご使用いただくには、機能拡張ソフトウェア（WV-ASE231（別売り））のライセンスを追加で登録していただく必要があります。
 - 顔検索モニター
- 下記機能をご使用いただくには、機能拡張ソフトウェア（WV-ASE205（別売り））のライセンスを追加で登録していただく必要があります。
 - 画像鮮明化

システム

本ソフトウェアの基本的な動作に関する設定を行います。
詳しくは、「システムに関する設定」（[27ページ](#)）をお読みください。

機器管理

ライブ画像を表示したり、レコーダーの録画画像を再生したりするために、レコーダー情報やエンコーダーの情報、カメラの情報、マイクの情報に関する設定を行います。
詳しくは、「機器管理に関する設定」（[42ページ](#)）をお読みください。

ユーザー管理

本ソフトウェアでは、管理者と登録ユーザーの2種類のユーザーを管理できます。ユーザー管理では、それぞれのユーザー情報を設定します。
詳しくは、「ユーザー管理に関する設定」（[77ページ](#)）をお読みください。

カメラ

カメラのグループやシーケンスに関する設定を行います。
詳しくは、「カメラに関する設定」（[88ページ](#)）をお読みください。

モニター

ライブモニターやマップモニターに関する設定を行います。
詳しくは、「モニターに関する設定」（[100ページ](#)）をお読みください。

イベント動作

アラーム発生時のメッセージ表示やブザー音出力、自動ライブ切り換え、障害発生時のメッセージ表示やブザー音出力など、イベント発生時の動作に関する設定を行います。
詳しくは、「イベント動作に関する設定」（[113ページ](#)）をお読みください。

はじめに（つづき）

通信

通信および独自アラームに関する設定を行います。
詳しくは、「通信に関する設定」(P.116ページ)をお読みください。

コントローラー

システムコントローラーから制御をする場合に使用するカメラ番号、グループ番号、シーケンス番号の設定を行います。
詳しくは、「コントローラーに関する設定」(P.118ページ)をお読みください。

メンテナンス

本ソフトウェアのバージョン情報、ログに関する設定および設定した情報の管理を行います。
詳しくは、「メンテナンスに関する設定」(P.127ページ)をお読みください。

ライセンス登録

本ソフトウェアのご使用、および拡張オプションを追加する際のライセンス登録を行います。
詳しくは、「ライセンス登録に関する設定」(P.146ページ)をお読みください。

付属品をご確認ください

CD-ROM	1枚
インストールガイド	1冊
起動情報案内カード.....	1枚

重要

- CD-ROMには、本ソフトウェアのインストールプログラムと取扱説明書（設定編・運用編）、Readme.txtファイルが収められています。インストールする前に、Readmeを必ずお読みください。
- 本ソフトウェアを使用するにはライセンスの登録が必要です。本ソフトウェアを使用するPCにインストールした後、ライセンス登録を行ってください。

取扱説明書について

- 取扱説明書（PDFファイル）は、本書と取扱説明書 運用編の2部構成になっています。
本書は設定ソフトウェアをインストールする方法と、運用を開始する前に必要な機能の設定方法について管理者向けに説明しています。
機能ごとの操作方法については、「WV-ASM200取扱説明書 運用編」をお読みください。
- 本書では、WV-ASE201、WV-ASE201WをWV-ASE201と、WV-ASE202、WV-ASE202WをWV-ASE202と、WV-ASE203、WV-ASE203WをWV-ASE203と、WV-ASE205、WV-ASE205WをWV-ASE205と、WV-ASE231、WV-ASE231WをWV-ASE231と表記しています。
- ネットワークに関する設定は、接続する社内LANやサービスプロバイダーの設定により異なる場合があります。
ネットワークに関する設定について詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 7 Professionalをご使用の場合を例に説明しています。
ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。
その他のOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

必要なPCの環境

重要 PCを用意される際にご注意ください。

- 使用するPCのユーザーアカウントに2バイト文字（全角文字）が使用されていると、本ソフトウェアのインストール時に必要なファイルがインストールされず、正常に運用できません。ユーザーアカウントは必ず半角英数字を使用してください。

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCにインストールできます。

OS※1	Microsoft® Windows® 10 Pro 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット日本語版※2 ※3 ※11 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版※2 ※3 ※11 Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版※2 ※3 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版※2 ※7 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版※2 ※3 ※7 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版※2 ※7 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版※2 ※3 ※7
コンピューター	IBM PC / AT互換機
CPU	Intel® Core™ i5-2400、2500 Intel® Core™ i7-860以上 64画面表示時：Intel Core i7-2600 9M全方位カメラ使用時：Intel Core i7-4770以上 画像鮮明化機能の使用時：Intel Core i7-4770以上 7シリーズカメラ（3840×2160以上）使用時：Intel Core i7-4790以上推奨
メモリー	3 GB以上 複数ライブモニターを使用時：4 GB 9M全方位カメラ使用時：4 GB以上（2 GB×2） 7シリーズカメラ（3840×2160以上）使用時：8 GB以上推奨（4 GB×2）
グラフィックアクセラレーター	VRAM512 MB以上（最低256 MB以上）でDirectX® 9.0c以上の機能を持つもの ライブモニターの使用時：NVIDIA NVS 510またはATI FirePro 2460※10 画像鮮明化機能の使用時：NVIDIA GeForce GTX 660以上※8 ※9 画像鮮明化機能（2048×1536以上）使用時：NVIDIA GeForce GTX 770以上 （ドライバーソフトはGeForce 332.21 以降を推奨） 4Kモニター使用時：NVS510（ディスプレイポートケーブル使用）※12
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要
ハードディスク容量	3 GB程度必要※4
画面	1280x800ピクセル以上の解像度（ライブモニターは1920x1080ピクセルの解像度を推奨）、True color 24ビット以上（フルカラー環境を推奨）
インターフェース	100 / 1000 Mbpsのネットワークポートを有すること※5
ウェブブラウザ	Windows® Internet Explorer® 7.0、8.0、9.0、10.0、11.0※6

※1：本ソフトウェアは、Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 10のデフォルトのスタイルおよびフォントサ

はじめに (つづき)

イズでデザインされています。スタイルまたはフォントサイズを変更する場合は、十分ご注意ください。ただし、コンバーチブル型タブレットPC（ノートPCの機能とタブレットPCの機能を両方搭載したPC）等において、デフォルトのフォントサイズが中で設定されている機種の場合につきましては、フォントサイズを小に変更のうえで使用ください。

- ※2：Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 10で使用する場合に必要なPC環境や、注意事項など詳しくは、Readme.txtをお読みください。
- ※3：WOW64（32ビット互換モード）で動作します。
- ※4：本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressをインストールする必要があります。また、アプリケーションのインストールとは別に、レコーダーからダウンロードした画像の保存先、データベースの保存先として使用するためのハードディスク容量を用意する必要があります。
- ※5：PCのネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定していただく必要があります。また、複数のネットワークポートを用いて本ソフトウェアを使用した場合の動作は保証いたしません。
- ※6：接続する機器により実際のサポートしているウェブブラウザのバージョンや制限事項が異なります。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。
- ※7：デスクトップのカスタマイズで設定するテーマとしてWindowsクラシックを使用することはできません。Windows Vistaでは“Windows Vista”を、Windows7では“Windows7 ベーシック”を設定してご使用ください。
- ※8：画像鮮明化機能を使用する場合には、お使いのビデオカードに対応した電源ユニットをご用意ください。
- ※9：画像鮮明化機能を使用する場合には、複数枚のビデオカードを使用しないでください。
- ※10：ライブモニター、画像鮮明化機能を使用されない場合は、PCのオンボードグラフィックをご使用ください。
- ※11：7シリーズカメラご使用時は「Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット」または「Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット」の使用を推奨します。
- ※12：ディスプレイポートケーブルを使用している場合、ケーブルの性質上、モニター電源のON/OFF時に一時的にモニターが認識されなくなる現象が発生します。この現象が発生した時は、操作モニター、ライブモニターなどのウィンドウ位置が変更する可能性があります。

重要

- 本ソフトウェアのインストールは、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールした場合の動作は保証いたしません。
- 本ソフトウェアでは、データベースに、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1(SP1) Expressを使用しています。それ以外のデータベースをインストールするとデータベースが壊れて、正常に動作しないことがあります。
- リモートデスクトップ上での動作は保障いたしません。
- 本ソフトウェアの起動中はPCのログオフおよびシャットダウンを行わないようにしてください。動作が不安定になる場合があります。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPUやメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になる場合があります。負荷の高いアプリケーションと同時に使用しないでください。
- サウンドカードがないと、アラーム発生時および障害発生時に音が鳴りません。また、送受話が正常に動作しません。
- Microsoft® Windows® 7におけるWindowsXPモードには対応していません。
- 既に本ソフトウェアをインストールした状態でWindows 7、Windows 8、Windows 8.1からWindows 10にアップデートした場合、正常に動作しません。
- 上記の条件の最新情報については、http://panasonic.biz/security/support/ie9/ie11_index.html および http://panasonic.biz/security/support/ie9/ie10_index.html に掲載されている検証情報をご確認ください。

MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定

カメラの1クライアントあたりのビットレート設定は、お使いのPCのCPUの性能に応じて以下のように設定してください。定められたビットレート以上を設定しますと、マウスカーソルが砂時計のまま操作できなくなるなど本ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。その場合は、お手数ですが本ソフトウェアを強制終了後、適切なビットレートに設定してください。

■MPEG-4画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i5-2400	2048 kbps（30 fps）

※カメラの画質設定は「標準」です。

■H.264画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i5-2400	1536 kbps（30 fps）

■H.264画像使用時（1920×1080、1画または4画表示時）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i5-2400	4096 kbps（30 fps）

■WV-ASE202のライセンスを追加し、64画面表示使用時（QVGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i7-2600	1024 kbps（30 fps）

■H.264画像使用時（2992×2992）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i7-4770	14336 kbps（15 fps）

■H.264画像使用時（4000×3000/3840×2160）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i7-4790	14336 kbps（15 fps/30 fps）※

※「PC適合診断（4Kカメラ）」で「4K」（[P.31ページ](#)）を選択している場合

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他国における商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版、Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版をWindows Vistaと表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
- Microsoft® Windows® 10 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット日本語版をWindows 10と表記しています。

用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

管理者

本ソフトウェアの管理／運用に関する責任および権限を持った人のことです。

ユーザー

本ソフトウェアを操作する人のことです。管理者と登録ユーザーが存在します。本ソフトウェアの設定やメンテナンスは、管理者のみ可能です。

ローカルユーザー

ローカルで登録したユーザーです。

LDAPユーザー

アクティブディレクトリで管理されているユーザーを検索、ASM200側に登録したユーザーです。

LDAPグループ

アクティブディレクトリで管理されているユーザーをグルーピングしているグループを検索、ASM200側に登録したユーザーです。

レコーダー

パナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダーのことです。対応機器については、「対応機器一覧」(P.4ページ)をお読みください。

エンコーダー

パナソニック製ネットワークインターフェースユニットのことです。対応機器については、「対応機器一覧」(P.4ページ)をお読みください。

固定カメラ

パン・チルト機能を持たないカメラです。

PTZカメラ

パン・チルト・ズーム機能を持つカメラです。

全方位カメラ

パナソニック製全方位ネットワークカメラのことです。

ネットワークマイク

パナソニック製ネットワークマイクのことです。対応機器については、「対応機器一覧」(P.4ページ)をお読みください。

連動カメラ

マイクに連動設定された全方位カメラのことです。

7シリーズカメラ

WV-SFV781L、WV-SPV781LJの総称です。

はじめに (つづき)

6シリーズカメラ

WV-SPN611、WV-SPN631、WV-SFN611L、WV-SFN631L、WV-SFV611L、WV-SFV631L、WV-SFV631LT、WV-SPW631LTJ、WV-SPW631LJの総称です。

新5シリーズカメラ

WV-SFV531、WV-SFN531、WV-SPN531、WV-SPN531Aの総称です。

新3シリーズカメラ

WV-SPN311、WV-SPN310V、WV-SFN311、WV-SFV311、WV-SFN310J、WV-SPW310、WV-SPN311A、WV-SPN310AV、WV-SPW311AL、WV-SFV311A、WV-SFN311A、WV-SFN310AJの総称です。

9M全方位カメラ

9M (2992×2992) の解像度を出力できるパナソニック製全方位ネットワークカメラのことです。

ライブ画像

カメラの現在の画像です。

カメラ直接受信

ネットワークディスクレコーダーに登録されているカメラのライブ画像をレコーダーを経由せずに、カメラから直接受信することです。

グループ表示

カメラの画像を1つのグループに登録し、登録したグループ単位で画像を表示することです。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番でグループ単位で自動的に切り換えて表示することです。本ソフトウェアでは、ライブ画像を表示するときにシーケンスを行うことができます。

電子ズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能はソフトウェア上で画像の拡大処理を行い表示します。電子ズームでの拡大表示中は、画像内をクリックするとクリックした位置を中心に表示領域を移動させることができます。

カメラ操作

接続したカメラのパン/チルト (水平・垂直位置)、ズーム (画像の拡大・縮小)、フォーカス (焦点)、自動モード機能 (カメラの自動回転など) 操作、明るさ、プリセット動作 (登録した水平・垂直位置への移動)、プリセット登録、AUX動作を行うことです。

ネットワーク再生

レコーダーからネットワーク経由で画像データを取得しながら再生を行うことです。

タイムライン

レコーダーなどの機器の録画・イベント情報を時間軸に沿って表示する機能です。

マニュアル録画

[録画開始] ボタン、[録画停止] ボタンをクリックして手動で録画を開始・終了する機能です。

ダウンロード

レコーダーに録画されている画像を、レコーダーのFTP機能を使用し、PCへ転送することです。

AVMD/i-VMD情報

物体の移動や置き去り/持ち去りに関するアラーム情報です。AVMD情報表示を「ON」にすると、アラームを検知した際に、画像上に枠や軌跡が表示されます。お使いの機器が対応しているかご確認ください。また、AVMD/i-VMDに関する詳しい説明は対応している機器の取扱説明書をお読みください。

画像ファイル

レコーダーに録画されている画像をダウンロードしたものです。

ファイル再生

専用のビューワーソフトを使用して画像ファイルの再生を行うことです。

独自アラーム通知機能

機器の独自アラーム通知機能により送信されるアラーム通知および機器のイベント通知を利用する機能です。

アプリケーションログ

レコーダーから取得したアラーム情報や機器障害情報および、本ソフトウェアのシステム情報などの記録です。アプリケーションログには以下の種類があります。アラームログ、機器障害ログ、ネットワーク障害ログ、システムログ、操作ログ

はじめに (つづき)

レコーダーログ

レコーダーに発生した障害やアクセスなどの記録です。レコーダーログはレコーダーが作成します。レコーダーログには以下の種類があります。
障害ログ、アクセスログ、イベントログ、ネットワークログ

M-JPEG

カメラから連続的にJPEG画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を1枚1枚取得する方式に比べ、ネットワークの負荷は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動します。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

録画イベント

録画を開始するきっかけとなるイベントや操作のことです。録画イベントには以下の種類があります。
マニュアル、スケジュール、緊急、サイトアラーム、端子アラーム、コマンドアラーム、VMD、ビデオロス、SDメモリー

SDメモリーデータ (SDメモリー録画)

SDメモリー録画とは、カメラに搭載されているSDメモリーカードに保存されている画像をレコーダーに転送する機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを指します。SDメモリーデータの録画時刻はカメラが持つ時刻です。

設定ソフトウェア

運用ソフトウェアを使用するために必要な設定を行うアプリケーションです。

運用ソフトウェア

接続しているレコーダー、エンコーダー、カメラのライブ画像の表示、レコーダーに録画されている画像や音声のダウンロード、再生操作、検索、およびカメラやマイクの操作などを行うアプリケーションです。

操作モニター

ライブ、再生、シーケンス、カメラ操作、検索などの本ソフトウェアにおけるすべての操作を行う基本画面のことです。

ライブモニター

ライブ画像のグループ表示およびシーケンスのみを行うライブ専用の画面のことです。

マップモニター

カメラアイコンを配置したマップを表示する画面のことです。マップ上のカメラアイコンからライブ表示を行います。

SDメモリーダウンロード

SDダウンロードとは、カメラに搭載されているSDメモリーカードに保存されているH.264動画ファイル (mp4ファイル) を、カメラからFTP機能を使用してPCに転送することです。

高速再生滑らかモード

Step2、Step3の高速再生時に、フレームを飛ばすことなくすべてのフレームを再生します。

ライセンス

本ソフトウェアをご使用するうえで必ず登録が必要となります。別冊の「起動情報案内カード」をお読みいただき、解除キー番号を入手、登録してください。入手した解除キー番号は本ソフトウェアをインストールしたPCでのみ有効です。

デモ版

デモ用のライセンスを登録することで、90日間該当ソフトウェアのすべての機能がご使用いただけます。

顔検索モニター

顔検索に関する操作を行う画面のことです。リアルタイムアラーム表示、顔・アラーム検索、年齢・性別統計表示を行います。

画像鮮明化

雪粒や雨粒を除去するなどして、画像を見やすくする機能です。

ハードウェアデコーダー (QSV)

正式名称を Intel® Quick Sync Video という Intel® Core プロセッサに内蔵された機能です。高解像度の映像を処理するために用いています。
詳しくは <http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/architecture-and-technology/quick-sync-video/quick-sync-video-general.html> をご参照ください。

クロッピング

全景画像上で5か所または1か所の切り出しを行い、画像を見やすくする機能です。

もくじ

はじめに

商品概要	2
ソフトウェアの構成	2
システム構成図	2
商品仕様	3
対応機器一覧	4
対応レコーダー	4
対応エンコーダー	4
対応カメラ	4
対応マイク	4
設定ソフトウェアについて	5
付属品をご確認ください	6
取扱説明書について	6
必要なPCの環境	7
MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定	9
商標および登録商標について	9
略称について	10
用語について	10

準備

運用までの流れ	18
インストール／アンインストール	19
インストールする	19
アンインストールする	20
SQL Server 2005 Expressをアンインストールする	21
設定ソフトウェアの起動と終了	24
設定画面について	26

設定

システムに関する設定	27
言語・日付・時刻の表示形式などを設定する [基本設定1]	27
基本設定1以外のシステム形式を設定する [基本設定2]	30
フォルダツリーを編集する	33
最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]	38
タイムラインを設定する [タイムライン]	39

設定

ディレクトリサービスを設定する [ディレクトリサービス] ...	40
テキスト表示を設定する [テキスト表示設定]	41
機器管理に関する設定	42
レコーダーを追加する [基本設定]	42
レコーダーを修正する [基本設定]	51
レコーダーを削除する [基本設定]	52
エンコーダーを追加する [基本設定]	53
エンコーダーを修正する [基本設定]	58
エンコーダーを削除する [基本設定]	59
カメラを追加する [基本設定]	60
カメラを修正する [基本設定]	69
カメラを削除する [基本設定]	70
マイクを追加する [基本設定]	71
マイクを修正する [基本設定]	75
マイクを削除する [基本設定]	76
ユーザー管理に関する設定	77
ユーザー認証・オートログインユーザー・パスワード有効期限を 設定する [基本設定]	77
管理者情報を設定する [管理者設定]	78
ユーザーレベルを設定する [レベル設定]	79
ユーザーレベルを設定できる機能について	80
登録ユーザーを管理する [ユーザー設定]	82
ユーザーを追加する	82
ユーザーを修正する	85
ユーザーを削除する	86
表示可能なカメラを設定する	86
カメラに関する設定	88
グループを設定する [グループ設定]	88
グループを追加する	88
グループを修正する	90
グループを削除する	91
シーケンスを設定する [シーケンス設定]	92
シーケンスを追加する	92
シーケンスを修正する	94
シーケンスを削除する	95
アラーム連動を設定する [アラーム連動設定]	96
アラーム連動を追加する	96
アラーム連動を修正する	98

設定

アラーム連動を削除する.....	99
モニターに関する設定.....	100
ライブモニターを設定する [ライブモニター]	100
マップを設定する [マップモニター].....	101
マップを追加する	101
マップを修正する	103
マップを削除する	103
カメラアイコンの設定を変更する	104
顔検索に関する設定.....	105
顔検索サーバーを追加する	105
顔検索サーバーを修正する	108
顔検索サーバーを削除する	109
顔検索モニターの動作設定をする	109
カテゴリ名を追加する	110
カテゴリ名を修正する	112
カテゴリ名を削除する	112
イベント動作に関する設定	113
アラーム発生時の動作を設定する [アラーム設定]	113
障害発生時の動作を設定する [障害設定]	115
通信に関する設定.....	116
通信環境を設定する [基本設定]	116
アラーム通知に対する受信ポート番号を設定する [独自アラーム設定] ...	117
コントローラーに関する設定	118
カメラ番号を設定する [カメラ番号設定]	118
カメラ番号を手動設定する	118
カメラ番号を自動設定する	119
カメラ番号リストをファイル出力する	120
グループ番号を設定する [グループ番号設定]	121
グループ番号を手動設定する	121
グループ番号を自動設定する	122
グループ番号リストをファイル出力する.....	123
シーケンス番号を設定する [シーケンス番号設定]	124
シーケンス番号を手動設定する	124
シーケンス番号を自動設定する	125
シーケンス番号リストをファイル出力する.....	126
メンテナンスに関する設定	127
バージョン情報を表示する [バージョン情報]	127

設定

アプリケーションログを表示/保存する [アプリケーションログ] ...	127
アプリケーションログを表示する	127
アプリケーションログを保存する	129
アプリケーションログリストの説明	130
レコーダーのログを表示/保存する [レコーダーログ] ...	135
レコーダーログを取得する	135
レコーダーログを保存する	136
レコーダーログリストの説明	137
操作ログを自動削除する [自動削除]	138
設定データをセーブ/ロード/初期化/ログ初期化する [セーブ/ロード] ...	139
セーブする (保存)	139
ロードする (復元)	140
設定データを初期化する (クリア)	141
アプリケーションログを初期化する (クリア)	142
タイムラインデータをセーブ/ロード/初期化する [セーブ/ロード] ...	143
タイムラインをセーブする (保存)	143
タイムラインをロードする (復元)	144
タイムラインを初期化する (クリア)	145
ライセンス登録に関する設定	146
ライセンスを登録する	146
ファイアウォールの例外設定	149
システムコントローラー (DG-CU950) の設定 ...	151
モード設定スイッチの設定	151
コントローラー番号の設定	151
ネットワーク設定	151
全方位カメラの設置方法を設定する	153

その他

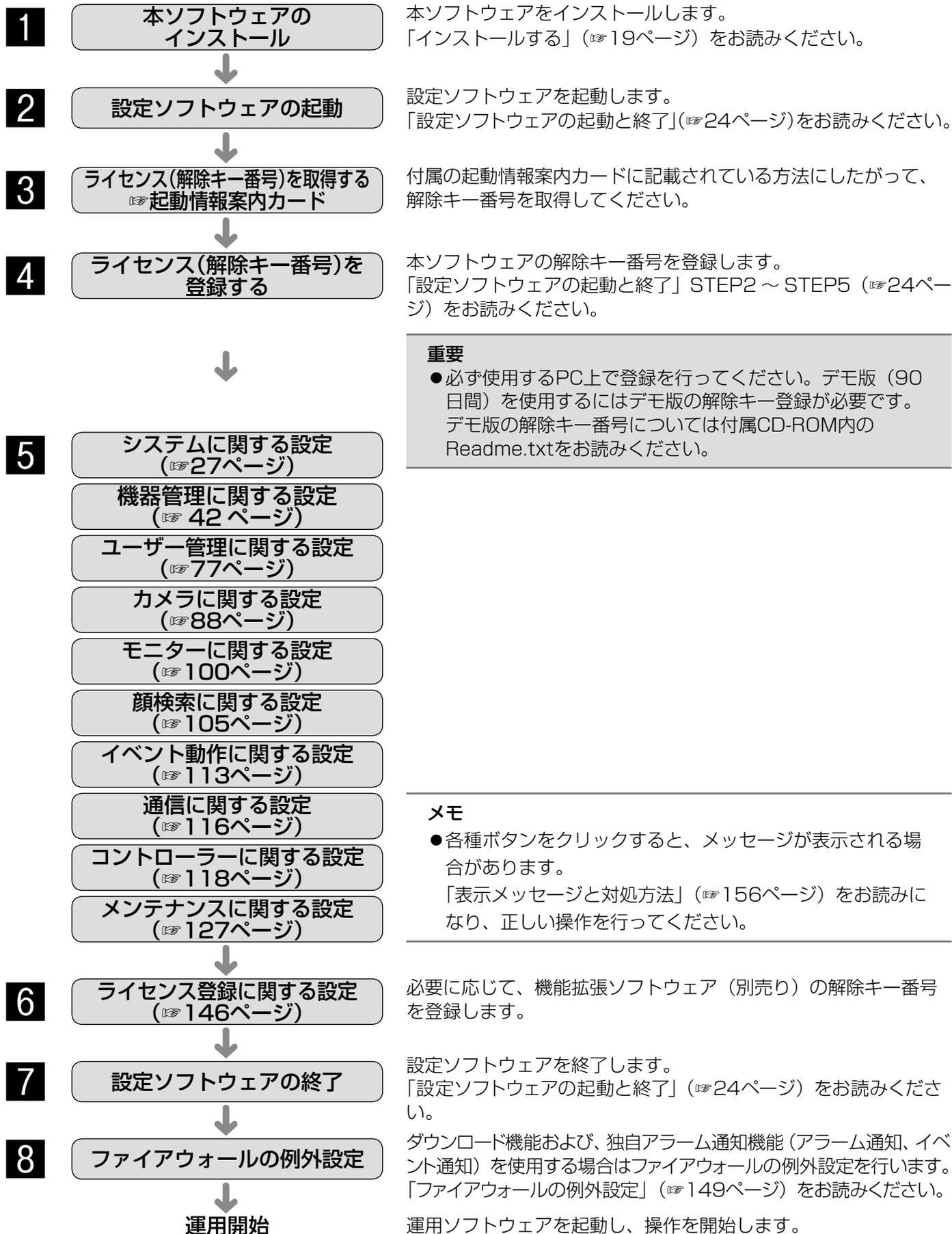
故障かな!?	155
表示メッセージと対処方法	156
設定ソフトウェア起動時	156
ログイン画面の [OK] ボタンクリック時	156
[設定保存] ボタンクリック時	156
[削除...] ボタンクリック時	157
機器登録画面の [取得...] ボタンクリック時	157
カメラ設定画面のライブ取得先選択時	158
カメラ設定画面の [OK] ボタンクリック時	159

その他

マップ作成画面のドラッグ&ドロップ時.....	159
レコーダーログ画面の [取得] ボタンクリック時	159
名前を付けて保存画面の [保存(S)] ボタンクリック時...	160
エラーが発生したとき.....	160
コントローラー画面の番号入力確定時.....	160

運用までの流れ

本ソフトウェアを運用するまでの流れは以下のとおりです。



インストール／アンインストール

インストールする

本ソフトウェアをインストールします。

重要

- 本ソフトウェアをインストールする場合は、必ずWV-AS65、DG-ASM100シリーズ、DG-ASM10、WV-ASM20をアンインストールしてください。WV-AS65またはDG-ASM100シリーズまたはDG-ASM10またはWV-ASM20と本ソフトウェアが両方インストールされた状態での動作は保証していません。
- 本ソフトウェアを再インストールする場合は、必ずアンインストールしてください。上書きインストールは動作不安定の原因となります。なお、本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。

STEP1

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

STEP2

「1 SQLServer」フォルダー内の「SQLServerSetup.exe」をダブルクリックします。

→Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1 (SP1) Expressのインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。

STEP3

「2 ディスクレコーダー管理ソフトウェア」フォルダー内の「setup.exe」をダブルクリックします。

→ディスクレコーダー管理ソフトウェアのインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。標準設定のままインストールすると、「C: ¥Program Files ¥Panasonic ¥ASM200」フォルダーが作成され、実行ファイルなどがコピーされます。

注意

- ご使用のPCにMicrosoft® .NET Framework 4がインストールされていない場合、Microsoft® .NET Framework 4のインストーラーが自動で起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。インストール完了後、PCが自動で再起動します。再起動後に、ディスクレコーダー管理ソフトウェアのインストーラーが自動で起動します。

STEP4

ファイアウォールの例外設定をします。詳しくは「ファイアウォールの例外設定」(149ページ)をお読みください。

STEP5

PCを再起動します。STEP1からSTEP4まで行ったら、最後にPCを再起動してください。

重要

- 運用ソフトウェアを起動する前に、設定ソフトウェアでユーザーの登録、機器の登録など、運用ソフトウェアの操作に必要な情報を設定してください。

アンインストールする

重要

- 本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。設定データをセーブする方法については、「セーブする（保存）」（[139ページ](#)）をお読みください。
- 本ソフトウェアをアンインストールしてもレコーダーから取得したファイルは削除されません。
- 本ソフトウェアをアンインストールしても、Microsoft[®] SQL Server[®] 2012 Service Pack 1 (SP1) Expressはアンインストールされません。また、Microsoft[®] .NET Framework 4についてもアンインストールされません。必要な場合は本ソフトウェアをアンインストール後に、アンインストールしてください。
- 本ソフトウェアをアンインストールする際、アプリケーションの終了を求める画面が表示されましたら [キャンセル] ボタンをクリックしてインストールを中止し、該当するサービスを停止してから再度アンインストールを行ってください。サービスの停止方法については、別途お使いのOSの取扱説明書をお読みください。
- タイムラインをご使用している環境において、マスター用に設定したPCで本ソフトウェアをアンインストールする際、スレーブ用のPCからのアクセスを避けるため、ネットワークを切断した状態で実行してください。アクセスされている状態でアンインストールを実行すると、データベースの削除に失敗するといった状態で終了する場合があります。
この状態を解消するためには、再度本ソフトウェアをインストールした上で、アンインストールを実行してください。

STEP1

[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] を選択します。

STEP2

現在インストールされているプログラムから「WV-ASM200 シリーズ」を選択し、[アンインストール] ボタンをクリックします。

→アンインストールプログラムが起動します。

STEP3

画面の指示にしたがってアンインストールします。

SQL Server 2005 Expressをアンインストールする

重要



- Windows Vista、Windows 7にて、本ソフトウェアのバージョンアップ実施時、上記メッセージが表示される場合があります。本メッセージが表示された場合、下記手順にしたがって、Microsoft® SQL Server® 2005 Express Edition SP4をアンインストールしてください。その後、「インストールする」(P.19ページ)のSTEP2にしたがって、Microsoft® SQL Server® 2012 Service Pack 1 (SP1) Expressをインストールした上で、本ソフトウェアをインストールしてください。

STEP1

[コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] を選択します。



→ 「システムとセキュリティ」画面が表示されます。

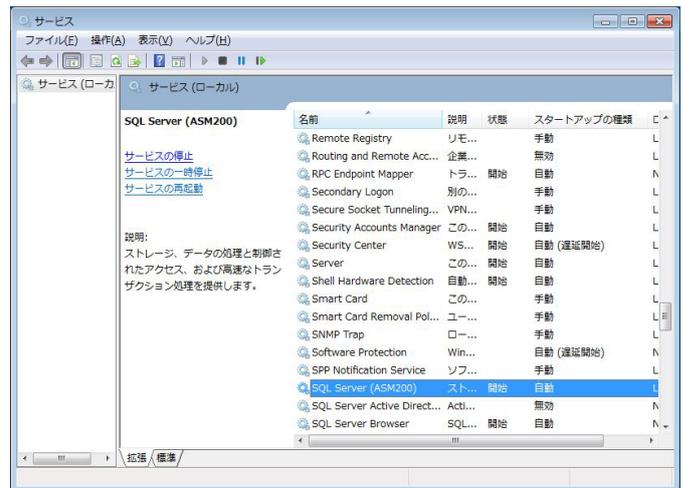
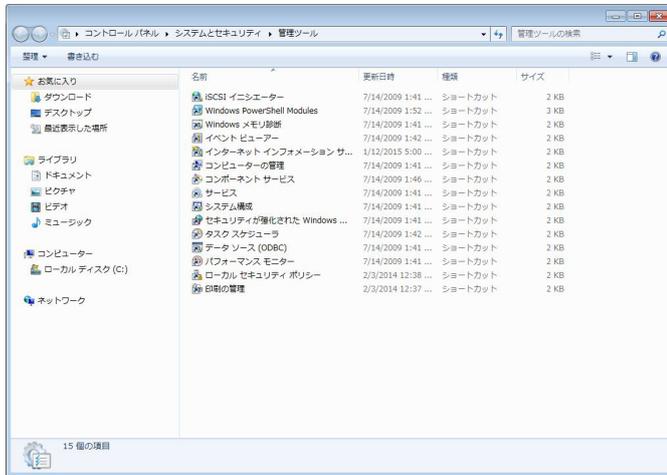


インストール／アンインストール (つづき)

STEP2

[管理ツール] を選択します。

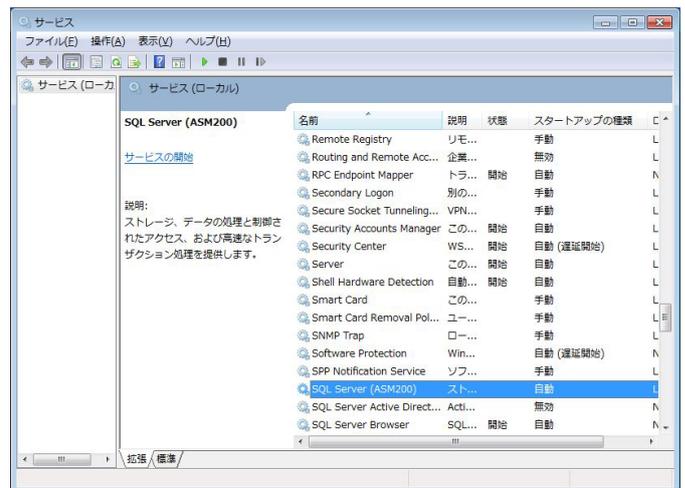
→ 「管理ツール」画面が表示されます。



STEP5

[サービスの停止] をクリックするか、右クリックメニューの [停止(O)] をクリックします。

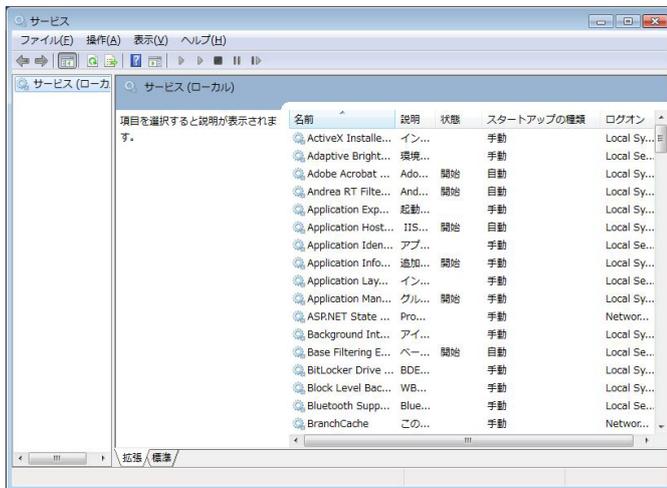
→ 「SQL Server (ASM200)」サービスが停止します。



STEP3

[サービス] をダブルクリックします。

→ サービス一覧画面が表示されます。



STEP4

サービス一覧から [SQL Server (ASM200)] をクリックします。

STEP6

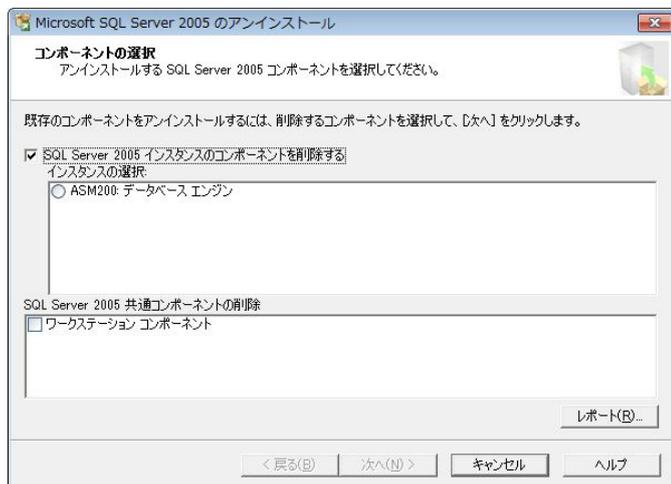
[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] を選択します。

インストール／アンインストール（つづき）

STEP7

現在インストールされているプログラムから「Microsoft SQL Server 2005」を選択し、[アンインストール] ボタンをクリックします。

→アンインストールプログラムが起動します。



STEP8

「ASM200: データベースエンジン」、「ワークステーションコンポーネント」の両方をチェックし、画面の指示にしたがってアンインストールしてください。

STEP9

同様に「Microsoft SQL Server Native Client」をアンインストールしてください。

STEP10

最後に「Microsoft SQL Server VSS Writer」、
「Microsoft SQL Server セットアップサポートファイル（英語）」をアンインストールしてください。

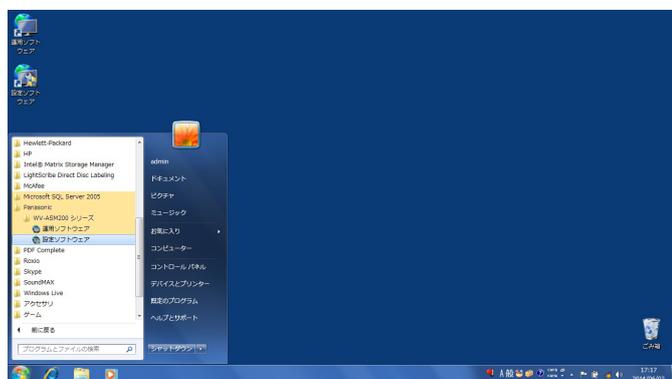
設定ソフトウェアの起動と終了

重要

- 本ソフトウェアを使用するにはライセンスの登録が必要です。ライセンスが登録されないと、本ソフトウェアは起動しません。
- 本ソフトウェアのライセンス登録時には、PCのネットワークアダプターが有効になっていることを確認してください。
- 設定ソフトウェアは、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーでのみ起動可能です。

STEP1

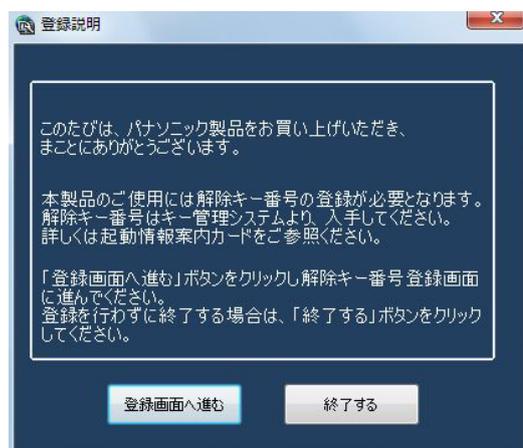
スタートメニューの [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WV-ASM200 シリーズ] - [設定ソフトウェア] を選択、またはデスクトップ上の [設定ソフトウェア] アイコンをダブルクリックし、設定ソフトウェアを起動します。



→登録説明画面が表示されます。

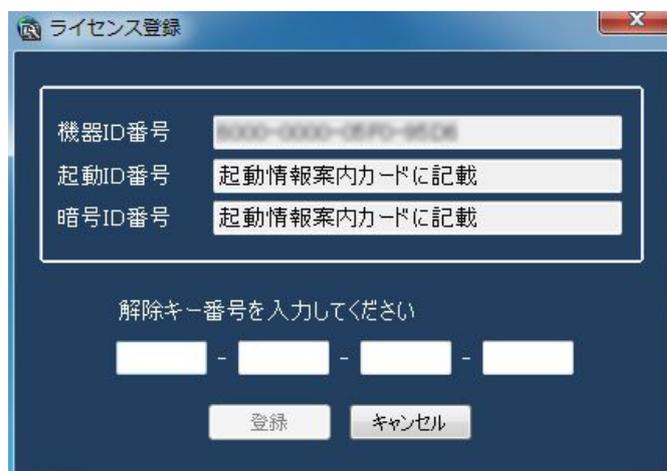
STEP2

登録説明画面に記載されている内容をお読みいただき、[登録画面へ進む] をクリックします。



STEP3

キー管理システムで取得した解除キー番号を入力します。

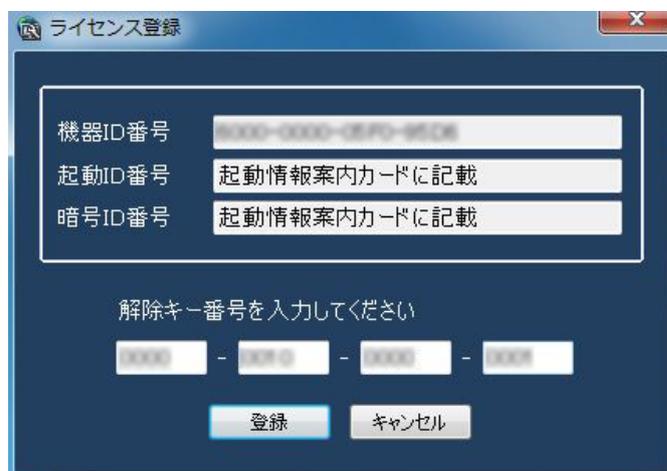


重要

- 解除キー番号は、取得時に使用した機器ID番号が表示されたPCでのみ有効です。他のPCでは利用できません。

STEP4

[登録] ボタンをクリックします。



→登録確認画面が表示されます。

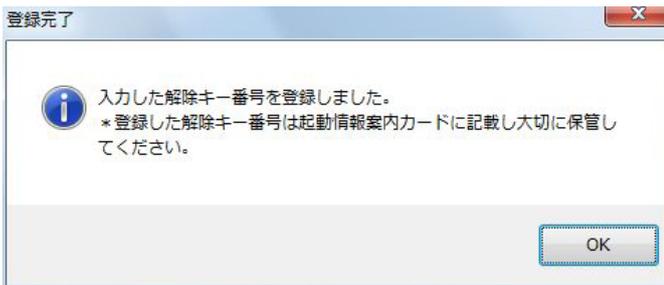
設定ソフトウェアの起動と終了 (つづき)

重要

- 機能拡張ソフトウェア（別売り）の解除キー番号は登録できません。
- 必ずご使用になるPC上で登録を行ってください。

STEP5

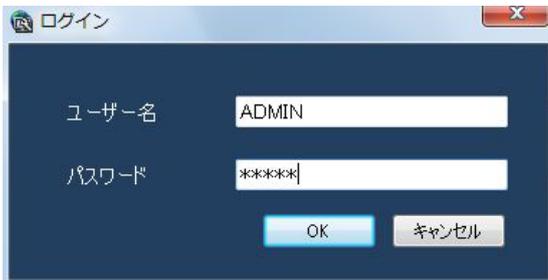
[OK] ボタンをクリックします。



STEP6

登録している「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

→インストール直後は、管理者のみ登録されています。ユーザー名「ADMIN」、パスワード「12345」を入力してください。



重要

- 設定ソフトウェアの起動は、運用ソフトウェアを終了してから行ってください。運用ソフトウェアが起動していると、設定ソフトウェアを起動できません。
- 管理者のパスワードは、セキュリティを確保するため、必ず「12345」以外に変更してください。また、定期的に変更することをおすすめいたします。パスワードの変更方法は、「管理者情報を設定する [管理者設定]」（[78ページ](#)）をお読みください。

STEP7

[OK] ボタンをクリックします。
→設定画面が表示されます。



STEP8

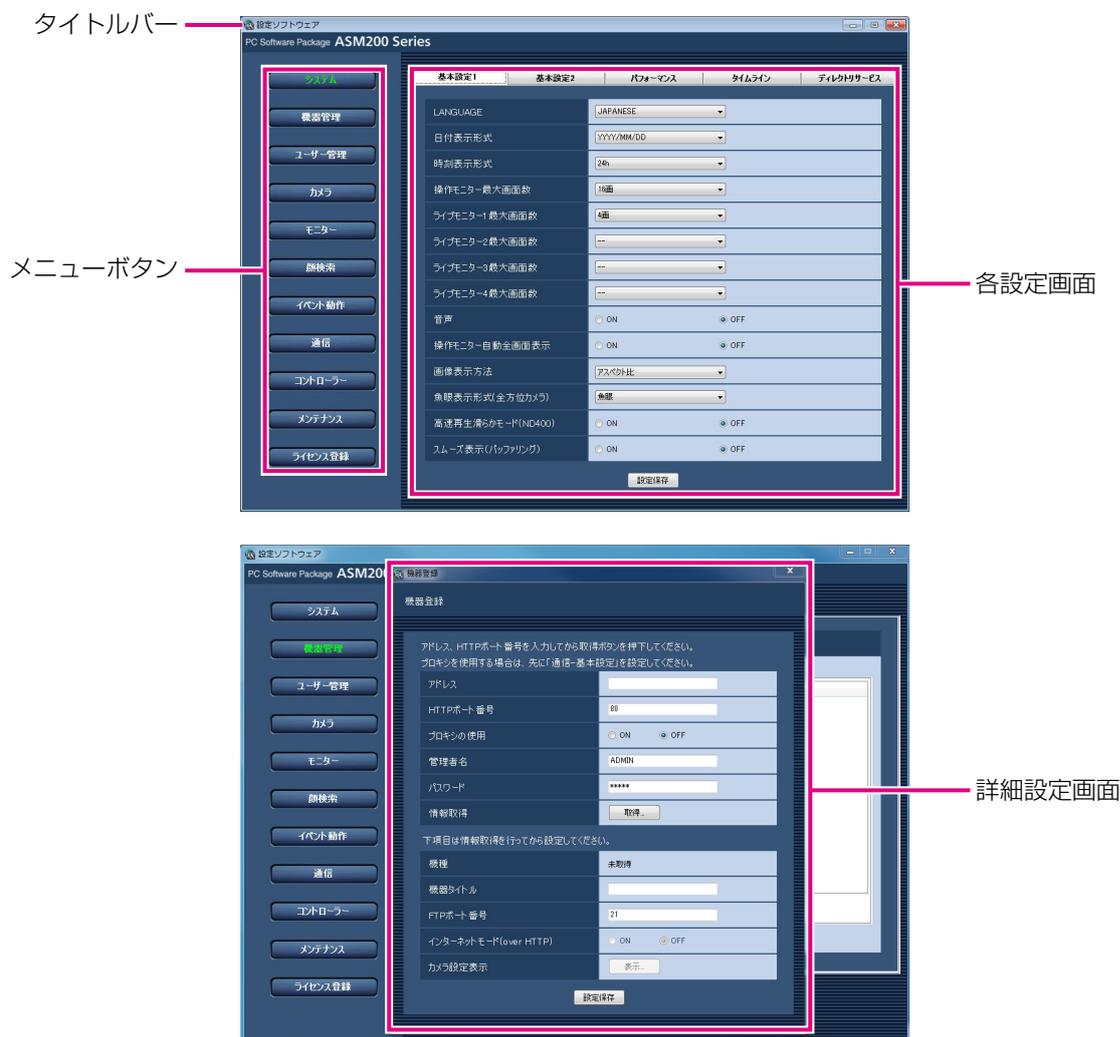
設定ソフトウェアを終了するときには、タイトルバーの [X] ボタンをクリックします。



→設定ソフトウェアが終了します。

設定画面について

設定ソフトウェアを起動すると、設定画面が表示されます。



■タイトルバー

設定ソフトウェアのタイトルが表示されます。

■メニューボタン

メニューボタンをクリックすると、各設定画面が表示されます。

■各設定画面

メニューボタンでクリックした設定メニューの設定画面が表示されます。ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

■詳細設定画面

設定画面内のボタンをクリックすると、詳細な情報を入力する詳細設定画面が表示されます。

重要

- 各設定画面で設定した内容を保存するには、必ず [設定保存] ボタンをクリックしてください。[設定保存] ボタンをクリックしないと、設定した内容は保存されません。
- 詳細設定画面で設定した内容を保存するには、必ず [設定保存] ボタンをクリックしてください。[設定保存] ボタンをクリックせずに画面を終了すると、設定した内容は保存されません。
- 設定した内容にエラーがある場合、エラー項目が赤色で表示されます。エラー項目を修正し、再設定してください。
- 設定項目には、別途機能拡張ソフトウェア WV-ASE201、WV-ASE202、WV-ASE205、WV-ASE231 を購入いただき、ライセンスを追加することにより表示される項目があります。

システムに関する設定

使用する言語、日時の表示形式、最大画面数、音声、操作モニターの自動全画面表示、画像表示方法などを設定します。

言語・日付・時刻の表示形式などを設定する [基本設定1]

[システム] ボタンをクリックし、[基本設定1] タブをクリックして、基本設定1画面を表示します。

基本設定1	基本設定2	パフォーマンス	タイムライン	ディレクタリソース
LANGUAGE	JAPANESE			
日付表示形式	YYYY/MM/DD			
時刻表示形式	24h			
操作モニター最大画面数	16画			
ライブモニター1最大画面数	4画			
ライブモニター2最大画面数	--			
ライブモニター3最大画面数	--			
ライブモニター4最大画面数	--			
音声	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
操作モニター自動全画面表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
画像表示方法	アスペクト比			
魚眼表示形式(全方位カメラ)	魚眼			
高速再生滑らかモード(ND400)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
スムーズ表示(リッパリング)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			

設定保存

■LANGUAGE

表示される言語を選択します。

- JAPANESE : 日本語
- ENGLISH : 英語
- FRANÇAIS : フランス語
- ESPAÑOL : スペイン語
- DEUTSCH : ドイツ語
- ITALIANO : イタリア語
- RUSSIAN : ロシア語
- CHINESE : 中国語
- THAI : タイ語

お買い上げ時の設定：JAPANESE

重要

- [設定保存] ボタンをクリックしただけでは、設定した内容は本ソフトウェアへ反映されません。LANGUAGEの設定内容を反映したいときは、必ず、本ソフトウェアを再起動してください。

■日付表示形式

日付の表示形式を選択します。

例) 2011年4月1日の場合

- YYYY/MM/DD : 2011/04/01
- MM/DD/YYYY : 04/01/2011
- Mmm/DD/YYYY : Apr/01/2011
- DD/MM/YYYY : 01/04/2011
- DD/Mmm/YYYY : 01/Apr/2011

お買い上げ時の設定：YYYY/MM/DD

■時刻表示形式

時刻の表示形式を選択します。

例) 午後3時00分00秒の場合

- 12 h : 03:00:00 PM
- 24 h : 15:00:00

お買い上げ時の設定：24 h

システムに関する設定（つづき）

メモ

- 「日付表示形式」「時刻表示形式」が反映されるのは、以下のとおりです。各部位については「WV-ASM200取扱説明書 運用編」をお読みください。
ステータスバー、情報表示部、アラーム通知メッセージ画面、イベント通知メッセージ画面、各種ログリスト

■操作モニター最大画面数

操作モニターの最大画面数を以下から選択します。

1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画

お買い上げ時の設定：16画

機能拡張ソフトウェアWV-ASE202のライセンス追加時は以下から選択となります。

1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画 / 25画 / 36画 / 49画 / 64画

■ライブモニター最大画面数（WV-ASE201のライセンスを追加したとき有効になります）

ライブモニターの最大画面数を以下から選択します。

-- / 1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画

お買い上げ時の設定：4画

メモ

- ライブモニターを使用しない場合は「-」を選択してください。

■ライブモニター 1最大画面数（WV-ASE201およびWV-ASE202のライセンスを追加したとき有効になります）

ライブモニター 1の最大画面数を以下から選択します。

-- / 1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画 / 25画 / 36画 / 49画 / 64画

お買い上げ時の設定：4画

■ライブモニター 2最大画面数（WV-ASE201およびWV-ASE202のライセンスを追加したとき有効になります）

ライブモニター 2の最大画面数を以下から選択します。

-- / 1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画 / 25画 / 36画 / 49画 / 64画

お買い上げ時の設定：--

■ライブモニター 3最大画面数（WV-ASE201およびWV-ASE202のライセンスを追加したとき有効になります）

ライブモニター 3の最大画面数を以下から選択します。

-- / 1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画 / 25画 / 36画 / 49画 / 64画

お買い上げ時の設定：--

■ライブモニター 4最大画面数（WV-ASE201およびWV-ASE202のライセンスを追加したとき有効になります）

ライブモニター 4の最大画面数を以下から選択します。

-- / 1画 / 3画 / 4画 / 6画 / 7画 / 9画 / 10画 / 13画 / 16画 / 25画 / 36画 / 49画 / 64画

お買い上げ時の設定：--

■音声

音声機能を使用するかどうかを選択します。

ON : 音声（送話／受話）機能を使用します。

OFF : 音声（送話／受話）機能を使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

■操作モニター自動全画面表示

ログイン直後に操作モニターを自動的に全画面表示するかどうかを選択します。スタートモニターとしてグループが設定されている場合に有効です。

ON : 全画面表示します。

OFF : 全画面表示しません。

お買い上げ時の設定：OFF

■画像表示方法

画像エリアの表示方法を選択します。

アスペクト比 : 画像のアスペクト比を維持します。

拡大縮小 : 画像エリアいっぱい拡大縮小して表示します。

等倍表示 : 画像の拡大縮小を行わず、オリジナル解像度のまま表示します。

アスペクト比 (type 2)

: 画像のアスペクト比を維持します。映像表示エリアの割付方法を見直した機能改善版です。映像をより大きいサイズで表示できますが、CPUの負荷が上がります。

お買い上げ時の設定：アスペクト比 (type 2)

システムに関する設定（つづき）

■魚眼表示形式（全方位カメラ）

全方位カメラから撮像モード「魚眼」で受信した時、表示する形式を選択します。

魚眼 : 魚眼のまま表示します。

1画PTZ : 魚眼を1画PTZに補正して表示します。

4画PTZ : 魚眼を4画PTZに補正して表示します。

お買い上げ時の設定 : 魚眼

メモ

- [魚眼表示形式（全方位カメラ）] は、ご使用になるライブモニターにより選択した結果が反映されず、「魚眼」となる場合があります。選択した結果を反映するモニターは以下のとおりです。
WV-ASE201のオプションを追加した場合
: 操作モニター / ライブモニター
WV-ASE201とWV-ASE202のオプションを追加した場合
: 操作モニター / ライブモニター 1
- [魚眼表示形式（全方位カメラ）] はご利用になる画面数により選択した結果が反映されず、「魚眼」となる場合があります。選択した結果を反映する画面数は、1画、4画表示および3A画の左、3B画の右、7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアのみとなります。
- 操作モニターの [魚眼表示メニュー] で補正形式を変更すると、以降の表示は変更した補正形式が反映されます。
- [1画PTZ]、[4画PTZ] を選択した場合でもネットワーク機器の環境や使用されているPCの性能によっては、カメラ画像を表示する際に、[魚眼] が瞬間的に表示される場合があります。

■高速再生滑らかモード（ND400）

高速再生滑らかモードを使用するかどうか選択します。

ON : 使用する

OFF : 使用しない

お買い上げ時の設定 : OFF

■スムーズ表示（バッファリング）

画像を表示する際の設定を行います。

ON : 画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。

OFF : 画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 本設定は16画面以下の操作モニターのみに有効です。
- ONの場合、画像表示に若干遅延が発生します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

システムに関する設定（つづき）

基本設定1以外のシステム形式を設定する [基本設定2]

[システム] ボタンをクリックし、[基本設定2] タブをクリックして、基本設定2画面を表示します。

基本設定1	基本設定2	パフォーマンス	タイムライン	テレコリサード
ハーフトーン(アンチエイリアシング)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
Panasonic ロゴ	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
コントラスト強調表示(RGB 0-255)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF			
描画方式	<input checked="" type="radio"/> GDI <input type="radio"/> Direct2D			
集音時音量補正(ネットワークマイク)	OFF			
PC適合診断(4Kカメラ)	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 4K			診断
操作モニター表示サイズ	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 大(200%)			
ツリー表示設定	<input checked="" type="radio"/> 機器ツリー形式 <input type="radio"/> フォルダツリー形式			編集
パネル表示/非表示バー設定	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF			
カメラ切り替え時の再生継続	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF			

設定保存

■ハーフトーン（アンチエイリアシング）

画像を表示する際、ジャギー（斜線や曲線に現れやすい輪郭のギザギザ部分）を軽減して表示するかどうかを設定します。

ON : ジャギーを軽減して表示します。

OFF : 特に画像表示に処理を施しません。

お買い上げ時の設定：OFF

OFF : 16-235のRGB信号をそのまま表示します。
お買い上げ時の設定：OFF

メモ

- 本設定は画像フォーマットが「H.264」のときのみ有効です。
- 被写体によっては高輝度部分に白とびが発生する場合があります。

メモ

- 本設定は16画面以下の操作モニターのみ有効です。
- ONの場合、CPU負荷が高くなります。動作環境によっては映像遅延が生じたり表示できなくなる場合があります。
- ONの場合、輪郭がぼやける場合があります。

■描画方式

画像を表示する際の描画方式を選択します。

GDI : Windowsの一般的な描画方式です。

Direct2D : 描画カクツキを軽減して高速に描画します。

お買い上げ時の設定：GDI

■Panasonic ロゴ

運用ソフトウェアにおいて、アプリケーションタイトルにPanasonicのロゴを表示するかどうかを設定します。

ON : ロゴを表示します。

OFF : ロゴを表示しません。

お買い上げ時の設定：OFF

■コントラスト強調表示（RGB：0-255）

画像を表示する際、コントラストを強調して表示するかどうかを設定します。

ON : 16から235のRGB信号を0から255の範囲へ伸張して表示します。

重要

- 「Direct2D」は、グラフィックドライバーを最新バージョンに更新したPCで使用してください。
- 「Direct2D」は、「スムーズ表示（バッファリング）」を「ON」に設定して使用してください。（[P.29](#)ページ）
- 「Direct2D」を使用できるのは操作モニターの16画表示までです。25画以上もしくはライブモニターでは「GDI」を使用します。

メモ

- 本設定はWindows VistaおよびWindows 7では設定できません。常にGDIとして動作します。

システムに関する設定（つづき）

■集音時音量補正（ネットワークマイク）

ネットワークマイクの音を、集音位置を指定して聞く際の、音量補正量を設定します。

OFF：補正しません。

中：音量を若干大きく補正します。

強：音量を大きく補正します。

お買い上げ時の設定：OFF

■PC適合診断（4Kカメラ）

お使いのPCがカメラが配信する4K映像の表示に適しているかどうかを診断し設定します。

[診断] ボタンをクリック後、診断結果がポップアップ画面で表示されます。

以下の条件をすべて満たした場合のみ設定変更可能となります。

- 使用しているPCがMicrosoft[®] Windows[®] 8.1のOSであること。
- 使用しているPCが64ビットOSであること。
- 使用しているPCに装着している物理メモリが8 GB以上であること。
- 使用しているPCがハードウェアデコーダー（QSV）に対応していること。
標準：最大3K（2992×2992）画像までの表示に対応します。
4K：最大4K（4000×3000）画像までの表示に対応します。

お買い上げ時の設定：標準

メモ

- この診断機能はご使用のPCについて上記機能を確認するものです。診断条件を満たした場合でも、4K映像の表示性能を保証するものではありません。
- 「標準」で3K（2992×2992）より大きい解像度を表示させた場合、解像度を落として表示させるため、実際のカメラ画像より画質が劣ります。
- 「ハードウェアデコーダー（QSV）を使用できません。」とポップアップ表示された場合は、以下の事項を確認してください。
 - CPUが「Core i7 4790以上」であること。
 - Intel HD Graphicsのバージョンが15.36.21.64.4222以上であること。
最新ドライバーは以下のURLから入手可能です。
URL：<https://downloadcenter.intel.com/ja>
→お使いのCPUに合わせたドライバーをダウンロードし、PCにインストールください。

- BIOS設定で「PC内蔵のグラフィック機能（内蔵ビデオ）」が有効であること。
→BIOS設定の機能名称については、ご使用のPCにより異なります。

■操作モニター表示サイズ

操作モニターを表示するサイズを設定します。

標準：操作モニターのウィンドウと文字を標準のサイズで表示します。

大（200%）：操作モニターのウィンドウと文字を「標準」に対して縦・横比2倍のサイズで表示します。

お買い上げ時の設定：標準

メモ

- 「大（200%）」はモニターの画面解像度を4K（3840×2160）でご使用時に適した設定となります。4K以下の解像度をご使用時は「標準」に設定してください。
なお「標準」「大（200%）」とも、Windowsの設定により画面が崩れる場合があります。Windowsの設定が以下の通りになっていることを確認してください。
 - Microsoft[®] Windows[®] 7の場合
 1. [コントロールパネル] - [ディスプレイのカスタマイズ] - [ディスプレイ] をクリックする。
 2. [画像上の文字を読みやすくします] で「小-100%」を選択する。
 3. [適用] ボタンをクリックする。
 - Microsoft[®] Windows[®] 8の場合
 1. [コントロールパネル] - [ディスプレイのカスタマイズ] - [ディスプレイ] をクリックする。
 2. [すべての項目のサイズを変更します] で「小-100%」を選択する。
 3. [適用] ボタンをクリックする。
 - Microsoft[®] Windows[®] 8.1の場合
 1. [コントロールパネル] - [ディスプレイのカスタマイズ] - [ディスプレイ] をクリックする。
 2. [すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する] のチェックボックスをONにする。
 3. [すべての項目のサイズを変更します] で「小-100%」を選択する。
 4. [適用] ボタンをクリックする。

システムに関する設定（つづき）

- 設定ソフトウェア、ライブモニター、マップモニター（WV-ASE201のライセンス適用時有効）、顔照合モニター（WV-ASE231のライセンス適用時有効）、標準フォーマット変換ウィンドウ、画像鮮明化コントロール（WV-ASE205のライセンス適用時有効）、テキスト情報表示ウィンドウ（「WV-ASM200取扱説明書 運用編」（PDF）参照）、ビューワソフト（「WV-ASM200取扱説明書 運用編」（PDF）参照）は対象外となります。
- ウィンドウ上部のタイトルバーのソフト名称、最小化ボタン、最大化ボタン、終了ボタンおよびメッセージウィンドウ、ダイアログなどのWindows固有の画面は対象外となります。
- 「大（200%）」で表示した場合、画像選択枠や画面分割線、AVMD/i-VMD情報、顔枠、集音位置、クロッピング枠、ドラッグ&ズーム枠、VMD検索枠に表示される各種線の太さが「標準」で表示した場合と異なります。
- 「大（200%）」で表示した場合、一部部品が標準画面と異なる場合がございますが、機能に違いはありません。

■ツリー表示設定

ツリー表示の形式を以下の2通りから選択できます。

機器ツリー形式 ：登録されている機器をツリー形式で表示します。

フォルダーツリー形式 ：カメラをフォルダーツリー形式で表示します。

お買い上げ時の設定：機器ツリー形式

フォルダーツリー形式で表示するフォルダーやカメラの編集は、[編集] ボタンをクリックして表示される「フォルダー編集」画面にて行います。詳しくは「フォルダーツリーを編集する」（[P.33](#)ページ）をお読みください。

■パネル表示/非表示バー設定

操作モニター上にパネルバーを表示するかどうかを設定します。

ON ：パネルバーを表示します。操作モニター上のメニューパネルと操作パネルを、このパネルバーを使って表示／非表示できます。

OFF ：パネルバーを表示しません。

お買い上げ時の設定：ON

■カメラ切り替え時の再生継続

操作モニター上でレコーダーに録画されている画像を再生中、別のカメラに切り換えたとき、再生を継続するかどうか設定します。

ON ：別のカメラの再生画像を表示します。

OFF ：別のカメラのライブ画像を表示します。

お買い上げ時の設定：ON

■[設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

システムに関する設定（つづき）

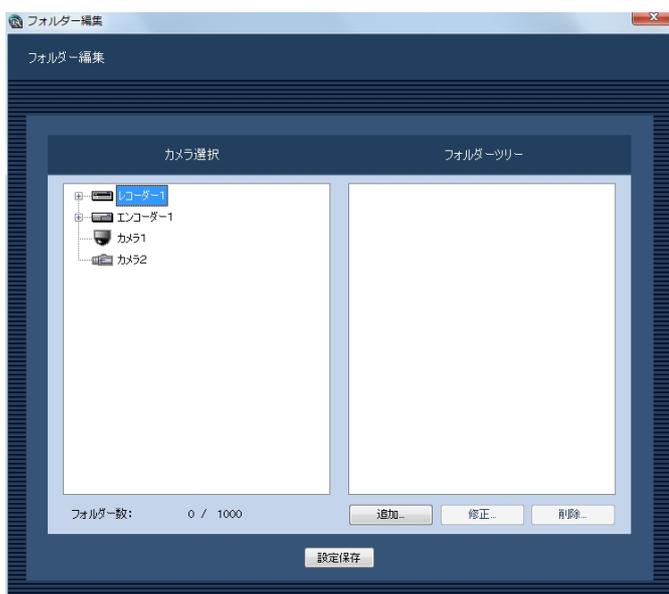
フォルダーツリーを編集する

「ツリー表示設定」（[p.32](#)ページ）で「フォルダーツリー形式」を選択している場合に表示されるフォルダーツリーを編集します。

フォルダーを追加する

STEP1

「ツリー表示設定」の[編集] ボタンをクリックします。
→フォルダー編集画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧を表示します。
フォルダーツリーに表示したいカメラをここから選択します。

■フォルダーツリー

編集中のフォルダーツリーが表示されます。
フォルダーの追加や削除、機器の追加などを行います。

■ [追加...] ボタン

新たにフォルダーを作成します。

■ [修正...] ボタン

作成済みのフォルダーのフォルダー名を修正します。

■ [削除...] ボタン

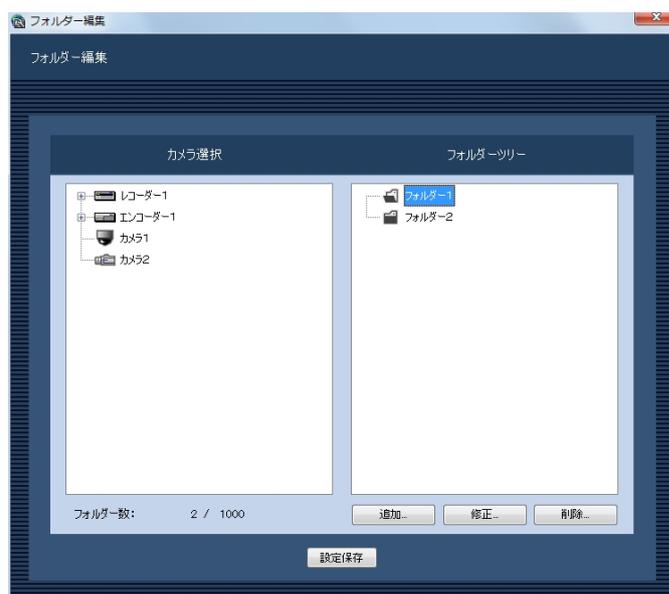
作成済みのフォルダーまたは追加したカメラを削除します。

■ [設定保存] ボタン

「フォルダーツリー」内で編集した内容を保存します。

STEP2

「フォルダーツリー」内で、フォルダーを追加したい位置をクリックします。



STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→新しいフォルダーが生成されますので、フォルダー名を入力します。



システムに関する設定（つづき）

メモ

- フォルダは「フォルダツリー」内で右クリックして表示されるポップアップメニューからも追加できます。

STEP4

[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定が保存され、フォルダ編集画面が閉じます。

メモ

- [基本設定2] タブの [設定保存] ボタンをクリックすることで、フォルダツリー表示に切り替わります。
- フォルダ名は16文字以内で入力します。半角記号の ! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~ は使用できません。
- フォルダは最大1,000個追加できます。
- フォルダ内にフォルダを追加することも可能です。最大10階層作成できます。
- 作成したフォルダは、「フォルダツリー」内でドラッグ&ドロップして移動することができます。他のフォルダ内へ移動することも可能です。移動先に同一名称のフォルダがある場合は、自動的にフォルダ名に(2)、(3)…が付与されます。

フォルダ名を修正する

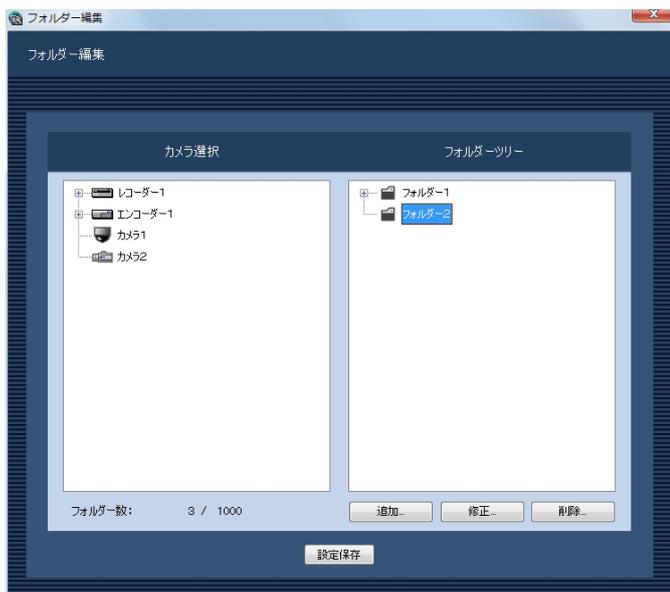
STEP1

「ツリー表示設定」の [編集] ボタンをクリックします。

→フォルダ編集画面が表示されます。

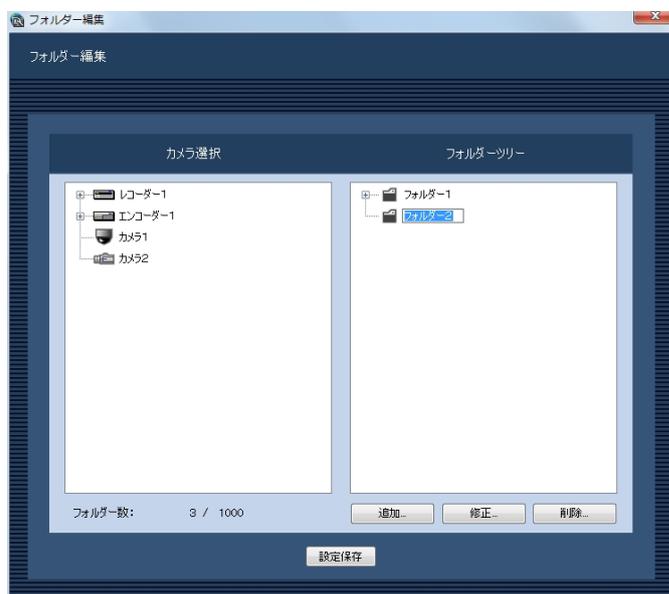
STEP2

「フォルダツリー」内で、フォルダ名を修正するフォルダをクリックします。



STEP3

[修正...] ボタンをクリックし、フォルダ名を修正します。



メモ

- フォルダ名は「フォルダツリー」内で右クリックして表示されるポップアップメニューからも修正できます。

STEP4

[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定が保存され、フォルダ編集画面が閉じます。

システムに関する設定（つづき）

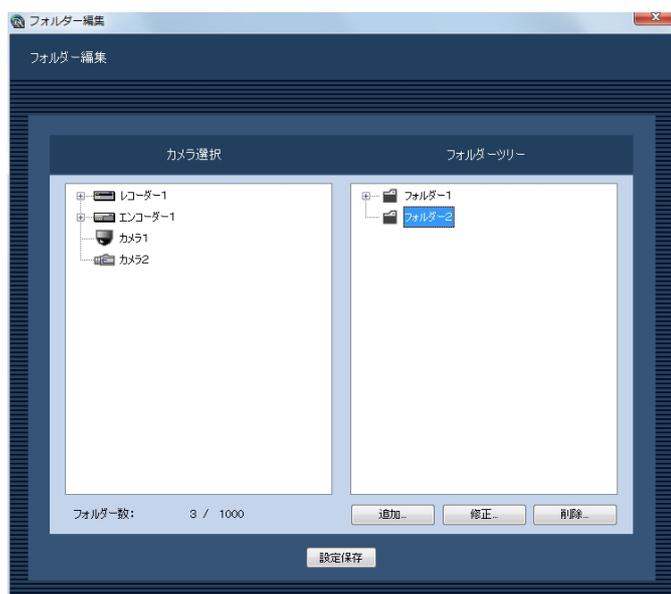
フォルダーを削除する

STEP1

「ツリー表示設定」の「編集」ボタンをクリックします。
→フォルダー編集画面が表示されます。

STEP2

「フォルダーツリー」内で、削除するフォルダーをクリックします。



STEP4

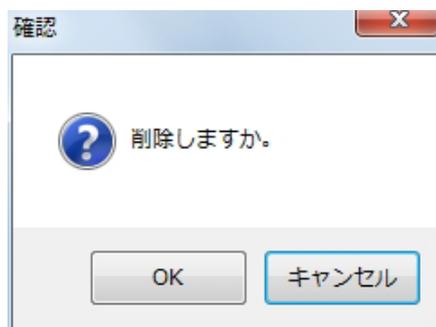
[OK] ボタンをクリックします。
→フォルダーが削除されます。

STEP5

「設定保存」ボタンをクリックします。
→設定が保存され、フォルダー編集画面が閉じます。

STEP3

「削除...」ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



メモ

- フォルダーは「フォルダーツリー」内で右クリックして表示されるポップアップメニューからも削除できます。

システムに関する設定（つづき）

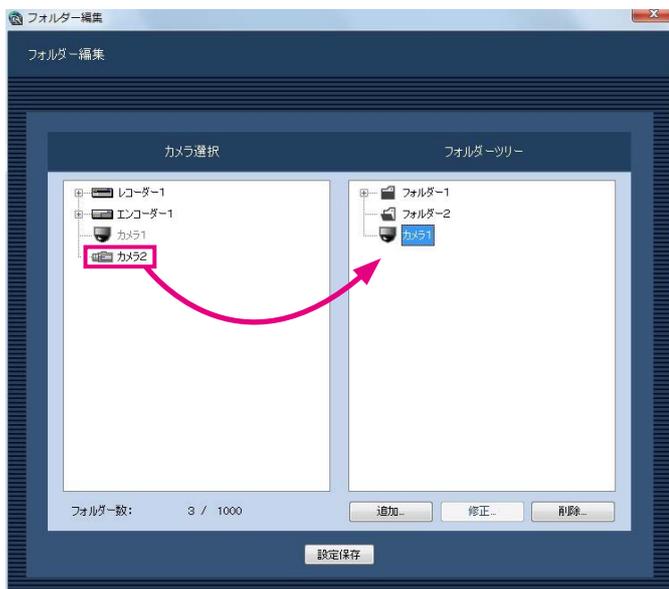
フォルダー内へカメラを追加する

STEP1

「ツリー表示設定」の「編集」ボタンをクリックします。
→フォルダー編集画面が表示されます。

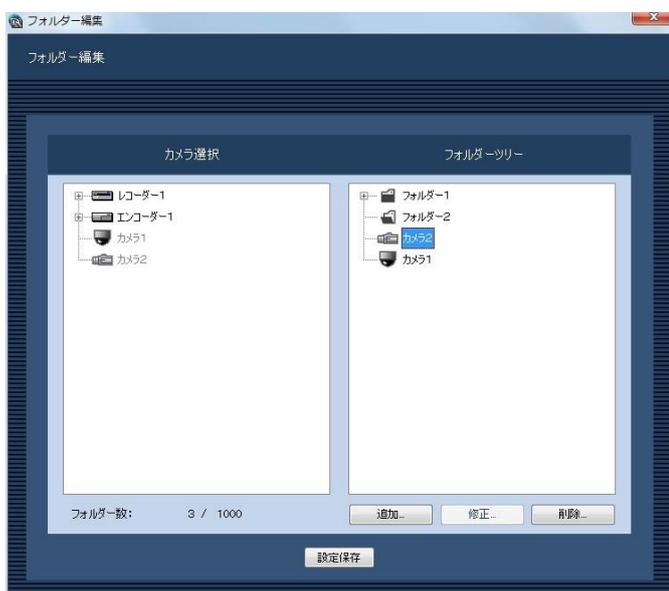
STEP2

「カメラ選択」内にある追加するカメラを「フォルダーツリー」内へドラッグ&ドロップします。または「カメラ選択」内で追加するカメラをダブルクリックします。



→カメラが追加されます。

＜カメラ上でドロップした場合＞
ドロップしたカメラの上に追加されます。



＜フォルダー上でドロップした場合＞
ドロップしたフォルダー内の一番下に追加されます。



STEP3

「設定保存」ボタンをクリックします。
→設定が保存され、フォルダー編集画面が閉じます。

メモ

- レコーダーまたはエンコーダーをドラッグ&ドロップして、レコーダー内やエンコーダー内のカメラをまとめて追加することもできます。
- 異なるフォルダーに同一のカメラを登録することができます。
- フォルダーツリーに登録できるカメラの数は最大32,000です。

システムに関する設定（つづき）

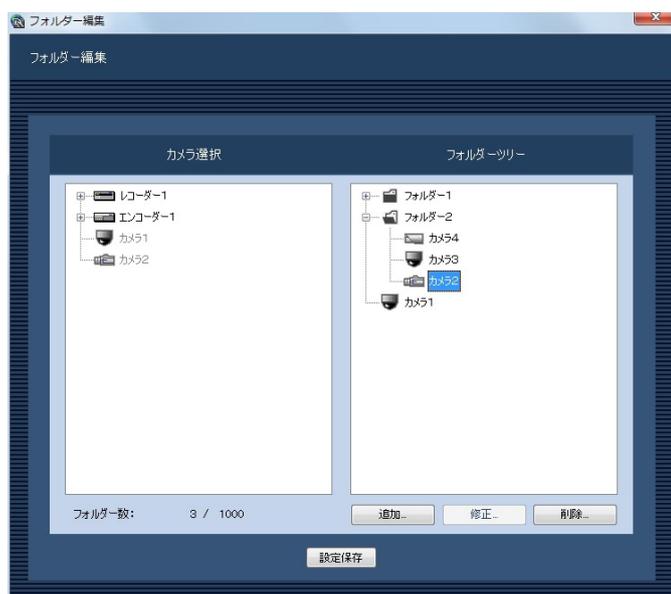
フォルダー内のカメラを削除する

STEP1

「ツリー表示設定」の「編集」ボタンをクリックします。
→フォルダー編集画面が表示されます。

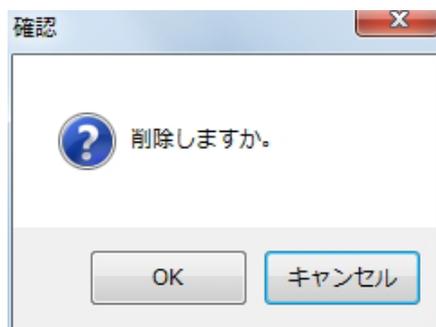
STEP2

「フォルダーツリー」内で、削除するカメラを選択します。



STEP3

「削除...」ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

「OK」ボタンをクリックします。
→カメラが削除されます。

STEP5

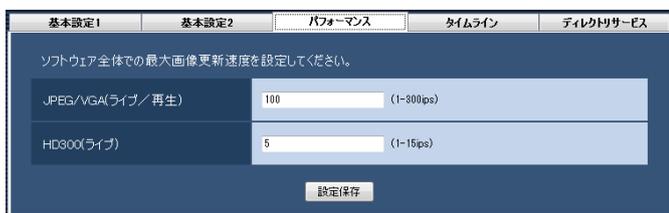
「設定保存」ボタンをクリックします。
→設定が保存され、フォルダー編集画面が閉じます。

メモ

- カメラは「フォルダーツリー」内で右クリックして表示されるポップアップメニューからも削除できます。

最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]

[システム] ボタンをクリックし、[パフォーマンス] タブをクリックして、パフォーマンス画面を表示します。ここでは、1秒間の最大画像更新速度を設定します。



メモ

- JPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度はお使いの動作環境にあわせて、設定値を変更してください。
Intel[®] Core[™] i5 : 240 ips
Intel[®] Core[™] i7 : 300 ips
(参考) Intel[®] Core[™] 2 Duo 2.66GHz : 160 ips
- 最大画像更新速度をVGA換算の画面数で割った値が、1画面あたりの最大画像更新速度になります。
例1) 最大画像更新速度が60 ipsの場合に、VGA (640×480) の映像を1画で表示すると1画面あたりの最大画像更新速度は60 ips、4画で表示すると15 ipsになります。
例2) 最大画像更新速度が120 ipsの場合に、SXVGA (1280×960、VGAで4枚換算) の映像を1画で表示すると1画面あたりの最大画像更新速度は30 ips、4画で表示すると7.5 ips になります。
- 同様に、解像度が9M (2992×2992)、8M (2816×2816)、5M (2560×1920)、QXGA (2048×1536)、SXVGA^{*1} (1280×960)、SVGA (800×600)、QVGA (320×240) の画像については、JPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度をそれぞれ入力された値に対して1/21倍、1/19倍、1/16倍、1/10倍、1/4倍、2/3倍、4倍して動作します。
※1 NP100*のスキャンモードの設定がパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。
- カメラ直接受信時は、カメラ設定画面にて設定された画像更新速度（☞48ページ）と比較し、より値の小さい方が1画面あたりの最大画像更新速度になります。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、システム画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- MPEG-4およびH.264画像については本ソフトウェアにて最大画像更新速度を制御できません。詳しくは、「MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定」（☞9ページ）をお読みください。
- レコーダーのプログラム機能の録画レートの設定によっては、正しい更新速度で画像が更新されないことがあります。
- 1台あたりのHD300に対するライブレート（ASM200の台数×HD300（ライブ））を15 ips以下に設定してください。

■JPEG/VGA（ライブ／再生）

解像度がVGA (640×480) のJPEG画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。

1 ips～300 ips

お買い上げ時の設定：200 ips

■HD300（ライブ）

HD300のライブ画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。

1 ips～15 ips

お買い上げ時の設定：5 ips

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

タイムラインを設定する [タイムライン]

[システム] ボタンをクリックし、[タイムライン] タブをクリックして、タイムライン画面を表示します。



メモ

- タイムラインの設定を変更すると、サービスが停止するため、数分程度操作ができなくなる場合があります。
- タイムラインの設定は、使用するPCの時刻をレコーダーの時刻と合わせてから設定してください。PCとレコーダーの時刻の同期が取れていない場合や、PCの時刻を途中で変更した場合は、タイムラインが正常に表示されません。この状態を解消するためには、PCの時刻をレコーダーの時刻に合わせた上で、タイムラインを初期化してください。タイムラインの初期化の方法は「タイムラインデータをセーブ／ロード／初期化する [セーブ／ロード]」（[143ページ](#)）をお読みください。

■タイムライン表示

操作モニターのHDD操作パネルでタイムラインを表示するかどうかを選択します。

ON : タイムライン再生操作パネルを表示します。

OFF : 再生操作パネルを表示します。

お買い上げ時の設定：OFF

■タイムラインDB

本ソフトウェアをインストールしたPCを、タイムラインDBを管理するマスター用PCにするかどうかを設定します。

マスター：マスター用PCとして動作します。

スレーブ：スレーブ用PCとして動作します。

お買い上げ時の設定：マスター

メモ

- 本ソフトウェアを複数台使用される際は、1台のみ「マスター」に設定してください。
- サービス「SQL Server Browser」が停止していると、タイムラインのデータを取得できません。SQL Server Browserが停止している場合は、OSのサービス画面で「開始」にしてください。
- マスターへ同時に接続するスレーブの台数は、16台までにしてください。

■録画情報取得日数

レコーダーから録画情報を取得する日数を設定します。録画情報取得日数は「タイムラインDB」を「マスター」に設定することで選択できます。

3日 : 過去3日間の録画情報を取得します。

7日 : 過去7日間の録画情報を取得します。

14日 : 過去14日間の録画情報を取得します。

30日 : 過去30日間の録画情報を取得します。

90日 : 過去90日間の録画情報を取得します。

お買い上げ時の設定：14日

メモ

- 登録しているレコーダー台数や録画イベントの数によっては、保存制限量を超えることがあり、指定する日数全ての録画情報を取得できない場合があります。

■マスターアドレス

マスターの接続先を設定します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。マスターアドレスは「タイムラインDB」を「スレーブ」に設定することで選択できます。

メモ

- マスターアドレスはWANでは接続できません。LAN内で設定してください。

ディレクトリサービスを設定する [ディレクトリサービス]

Windows Server 2012のアクティブディレクトリ機能と連携したユーザー管理を行うことができます。[システム] ボタンをクリックし、[ディレクトリサービス] タブをクリックして、ディレクトリサービス設定画面を表示します。

基本設定1	基本設定2	パフォーマンス	タイムライン	ディレクトリサービス
ディレクトリサービス	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF			
LDAPサーバのアドレス	panasonic.com			
LDAPサーバのポート番号	389			
LDAPスキーマ	Active Directory			
LDAPベース識別名	DC=panasonic,DC=com			
LDAPバインディング識別名	CN=Panasonic User,CN=Users,DC=panasonic,DC=com			
LDAPパスワード	*****			
設定保存				

■ディレクトリサービス

ディレクトリサービスを使用するかどうかを選択します。

ON : 使用する

OFF : 使用しない

お買い上げ時の設定 : OFF

■LDAPサーバのアドレス

アクティブディレクトリの動作しているWindows Serverのアドレス（IPアドレスまたはFQDN形式のホスト名）を255文字以内で入力します。

■LDAPサーバのポート番号

アクティブディレクトリサービスのポート番号を入力します。

お買い上げ時の設定 : 389

■LDAPスキーマ

LDAPスキーマを選択します。現在は「Active Directory」のみ選択できます。

■LDAPベース識別名

アクティブディレクトリサーバのドメイン名をLDAP識別名で入力します（最大512文字）。複数のLDAP相対識別名をカンマで区切って並べたものとなります。

(例) 架空のドメインpanasonic.comの場合

DC=panasonic,DC=com

■LDAPバインディング識別名

アクティブディレクトリサーバに接続するユーザー名をLDAP識別名で入力します（最大512文字）。

(例) 架空のドメインpanasonic.com内に登録されているUsersグループに属するユーザー

「Panasonic User」の場合

CN=Panasonic User,CN=Users,DC=panasonic,DC=com

■LDAPパスワード

アクティブディレクトリサーバに接続するユーザーのパスワードを入力します。パスワードは「*」で表示されます。パスワードは1文字以上128文字以内で入力します。

メモ

- アクティブディレクトリ並びにLDAPについて、Windows Server 2012の機能を十分ご理解の上で、お客様の環境に応じて正しく設定してください。
- Microsoft® Windows® Server 2012 Standard、Microsoft® Windows® Server 2012 R2 Standardに対応しております。
- アクティブディレクトリにアクセスする際、「Windows Server 2012 CAL」が必要となります。

テキスト表示を設定する [テキスト表示設定]

この設定は機能拡張ソフトウェア（WV-ASE205）のライセンスを追加した場合表示されます。

[システム] ボタンをクリックし、[テキスト表示設定] タブをクリックして、テキスト表示設定画面を表示します。



■画像鮮明化テキスト表示

画像鮮明化中であることを示すテキストを表示するかどうかを選択します。

ON : 表示する。

OFF : 表示しない。

お買い上げ時の設定：ON

メモ

- このテキストとは、画像鮮明化中であることを示す「この画像は加工されています」という映像内の表示を示します。

■表示位置

画像鮮明化中であることを示すテキストの表示位置の設定を行います。

左上 : 映像の左上に表示します。

中央上 : 映像の中央上に表示します。

右上 : 映像の右上に表示します。

左下 : 映像の左下に表示します。

中央下 : 映像の中央下に表示します。

右下 : 映像の右下に表示します。

お買い上げ時の設定：左上

■設定保存

設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定

機器の追加／修正／削除を行います。

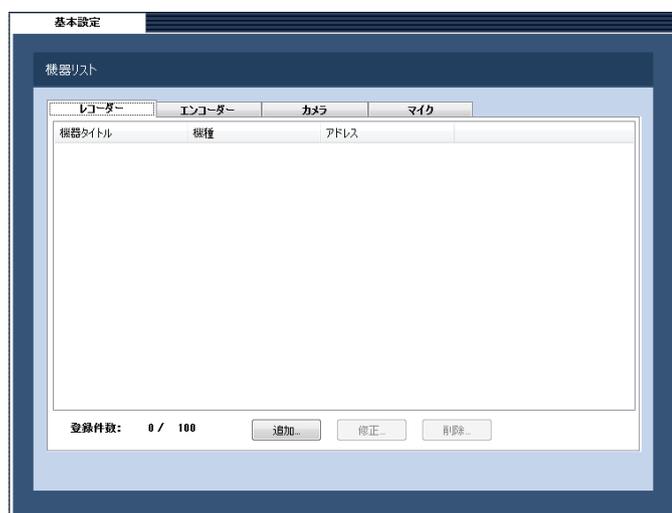
レコーダーを追加する [基本設定]

STEP 1

[機器管理] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP 2

[レコーダー] タブをクリックします。
→レコーダーの機器リスト画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録されたレコーダーのタイトル、機種、アドレスを一覧表示します。

■登録件数

登録されたレコーダーの台数を表示します。

■ [追加...] ボタン

機器登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

機器リストで選択されたレコーダーの機器登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

機器リストで選択されたレコーダーを削除します。

STEP 3

[追加...] ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

レコーダーのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。

1～65535

お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用

レコーダーに接続するとき、プロキシを使用するかどうかを選択します。

ON : プロキシを使用します。

OFF : プロキシを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

機器管理に関する設定（つづき）

重要

- カメラ直接受信時はプロキシサーバーを経由せずにライブ画像を受信します。

メモ

- プロキシのアドレスは通信画面の「基本設定」タブ（[116ページ](#)）で設定します。

■管理者名

レコーダーに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。

メモ

- 管理者名に、administrator、guest、operator、users、nogroup、shutdown、shadow、hdusersを使用することはできません。
- 機器情報の取得後、機器がHD300であると認識すると本項目は入力不可となります。
- レコーダー側の認証設定が「OFF」の場合でも、録画ダウンロード機能をご利用であれば、レコーダーに登録している管理者名と同じ内容を入力してください。

■パスワード

レコーダーに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「*」で表示されます。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。

メモ

- レコーダー側の認証設定が「OFF」の場合でも、録画ダウンロード機能をご利用であれば、レコーダーに登録しているパスワードと同じ内容を入力してください。

■ [取得...] ボタン

「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■機種

機器情報の取得時にレコーダーから取得したレコーダーの機種を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■機器タイトル

レコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

■FTPポート番号

FTPポート番号を以下の範囲で入力します。

1~65535

お買い上げ時の設定：21

重要

- ファイアウォールを有効にしている場合、「FTPポート番号」に設定したポートを使用できるように設定する必要があります。「ファイアウォールの例外設定」（[149ページ](#)）の手順で設定を行ってください。

■インターネットモード（over HTTP）

H.264およびMPEG-4画像をインターネット経由で受信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264およびMPEG-4画像を配信することができます。

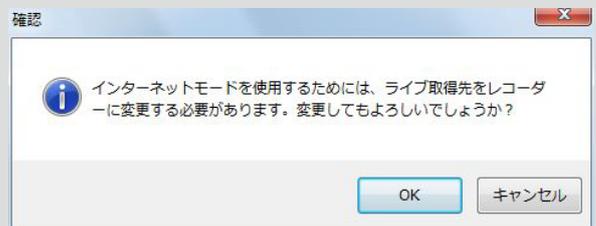
ON：HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

OFF：UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

お買い上げ時の設定：OFF

重要

- ND400（バージョン2.40以降）、HD600（バージョン2.04以降）、NV200（バージョン1.04以降）、NV250およびNV300の場合のみ設定できます。
- インターネットモードをONにすると、ライブ取得先はすべてレコーダーに変更されます。



■ [表示...] ボタン

取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定（つづき）

STEP4

「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。

機器登録

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス

HTTPポート番号

プロキシの使用 ON OFF

管理者名

パスワード

情報取得

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種

機器タイトル

FTPポート番号

インターネットモード(over HTTP) ON OFF

カメラ設定表示

STEP5

「取得...」ボタンをクリックします。

機器登録

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス

HTTPポート番号

プロキシの使用 ON OFF

管理者名

パスワード

情報取得

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種

機器タイトル

FTPポート番号

インターネットモード(over HTTP) ON OFF

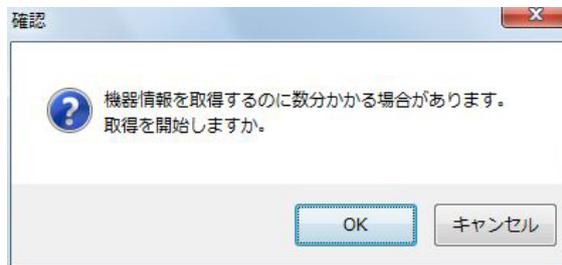
カメラ設定表示

重要

- 機器情報の取得をする前に、レコーダー本体の取扱説明書にしたがって、カメラとマイク（マイクを使用する場合）の登録を必ず行ってください。レコーダーが正しく設定されていないと、レコーダーの情報を取得できません。
- レコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。
- 連動設定するカメラとマイクは、同じレコーダーに登録してください。

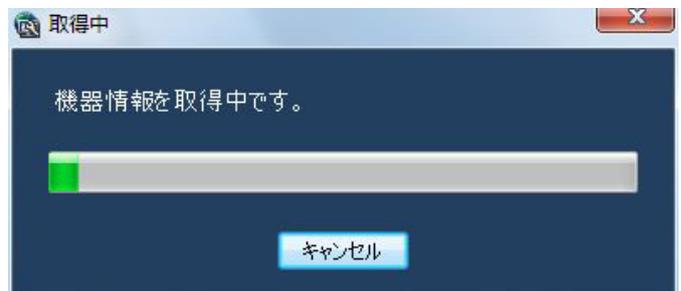
STEP6

[OK] ボタンをクリックします。



→機器情報取得中画面が表示されます。

機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. [OK] ボタンをクリックします。



→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. STEP8へ進みます。

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。



機器管理に関する設定（つづき）

メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（[P.4](#)ページ）をお読みください。
- 表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「機器登録画面の[取得...]ボタンクリック時」（[P.157](#)ページ）をお読みください。

2. [OK] ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。
4. 再度、機器情報を取得します。

STEP8

「機器タイトル」、「FTPポート番号」の機器情報を入力します。

STEP9

[表示...] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。



<ネットワークディスクレコーダーのカメラ設定画面>



<HD300のカメラ設定画面>



<HD600のカメラ設定画面>

画面の説明は以下のとおりです。

■カメラCHタブ

チャンネルを切り換えます。

メモ

- レコーダーによって表示されるタブが変わります。
- HD300、HD600はタブが表示されません。

機器管理に関する設定（つづき）

- NV200、NV250、NV300は32チャンネル分までのタブが表示されますが、未使用ならびに無効なチャンネルは、編集できません。

■CH

チャンネル番号が表示されます。

■タイトル

レコーダーから取得した機器名を表示します。表示した名称は変更できます。

機器名は24文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~ は使用できません。

メモ

- HD600やNV200、NV250、NV300、ND400でカメラタイトルに半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~ を使用していた場合、半角スペースに置き換わります。

■機種

レコーダーから取得した機器の機種を表示します。機器が設定されていないチャンネルは、「-」が表示されます。

メモ

- NV200、NV250、NV300でカメラを登録した場合、機種には「DG-」や「WJ-」や「WV-」は表示されません。
- レコーダーにマイクが登録されている場合には、チャンネル設定情報としてマイクが表示されますが、機器ツリーなどにはマイクは表示されません。
- カメラがWV-SPN631LまたはWV-SPN611Lの場合、RS485オプションを有効にし、「ライブ取得先」を「カメラ」に設定すると、「WV-SPN631L (RS485)」 「WV-SPN611L (RS485)」と表示されます。

■種別

レコーダーから取得した機器の種別と種別に該当するアイコンを表示します。

ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、ドーム型カメラ11、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2、全方位カメラ3、エアロPTZ

カメラ、ネットワークマイクの20種類あります。

お買い上げ時の設定

：NV200、NV250、NV300の場合は、カメラの機種によって異なります。ND400の場合は、「ドーム型カメラ1」、「固定カメラ1」、「全方位カメラ1」、「全方位カメラ2」、「全方位カメラ3」、「エアロPTZカメラ」のいずれかとなります。

その他のネットワークディスクレコーダーの場合は、「ドーム型カメラ1」または「固定カメラ1」になります。HD300、HD600の場合は、「ドーム型カメラ1」になります。

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。
- マイクにアイコンは表示されません。

■ライブ取得先

ライブ画像・音声の取得先を選択します。

レコーダー：レコーダーを経由してライブ画像・音声を視聴することができます。

カメラ：カメラのライブ画像を直接見ることができます（カメラ直接受信）。「カメラ」を選択した場合でも、レコーダーにカメラの登録が必要です。カメラの登録方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

お買い上げ時の設定：レコーダー

メモ

- カメラ直接受信時は、レコーダーのライブ配信設定が「OFF」の場合でもライブ画像を見ることができます。
- カメラを選択するとメッセージが表示されることがあります。表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「カメラ設定画面のライブ取得先選択時」(P.158ページ)をお読みください。
- 連動カメラのライブ取得先は、すべて「レコーダー」に変更されます。

機器管理に関する設定（つづき）

■圧縮方式

カメラの機種ごとに圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」にしないと選択できません。

M-JPEG：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定：レコーダーで設定されている内容を表示します。

レコーダーでのカメラの圧縮方式の設定方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

■解像度（JPEG）

解像度を選択します。

解像度は、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO ※1 ※2

：1画、3画、4画、6画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアの場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。それ以外の画面数の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

160×120 / 160×90

：160×120（16:9モード時は160×90）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA / 320×180 ※6

：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA / 320×180 / 320×320

：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180、1:1モード時は320×320）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

400×300

：400×300の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360 / 800×600

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360、4:3（800×600）モード時は800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360 / 640×640

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360、1:1モード時は640×640）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

800×600

：800×600の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ※3

：1280×960の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 / 1280×720

：1280×960（16:9モード時は1280×720）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 / 1280×720 / 1280×1280

：1280×960（16:9モード時は1280×720、1:1モード時は1280×1280）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1600×1200

：1600×1200の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 ※4

：1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 ※5 ※7

：2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 / 2048×2048

：2048×1536（1:1モード時は2048×2048）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

機器管理に関する設定（つづき）

2560×1920 / 2560×1440
 : 2560×1920 (16:9モード時は2560×1440) の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2816×2816
 : 2816×2816の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2992×2992
 : 2992×2992の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

3840×2160
 : 3840×2160の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

4000×3000
 : 4000×3000の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

※1 撮像モードが2メガピクセルまたは3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「VGA」の画像を表示します。

※2 全方位カメラの場合、撮像モードにより表示サイズが異なります。

● 1画/3A画の左/3B画の右

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	2992×2992
8M魚眼	2816×2816
4M魚眼	2048×2048
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	1280×960

● 4画/7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリア

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	1280×1280
8M魚眼	1280×1280
4M魚眼	1280×1280
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	1280×960

● 上記以外の画面数

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	320×320
8M魚眼	320×320
4M魚眼	320×320
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	320×240

※3 NP100*のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

※4 撮像モードが2メガピクセル「16:9」 / 3メガピクセル「16:9」 / 2M ダブルパノラマ「16:9」 / 2M パノラマ「16:9」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※5 撮像モードが3メガピクセル「4:3」 / 3M 魚眼「4:3」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※6 NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合に選択すると、エラーとなります。

※7 NP502またはNW502の撮像モードが1.3メガピクセルの場合に選択すると、エラーとなります。

お買い上げ時の設定

: 「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

メモ

● 6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130の場合は、カメラのJPEG (1) ~ (3) の解像度設定に存在しない解像度を設定した場合、JPEG (1) の解像度の画像となります。

● 9M全方位カメラ、7シリーズカメラの場合は、カメラのJPEG (1) またはJPEG (2) の解像度設定に存在しない解像度を設定した場合、JPEG (1) (JPEG (1) を選択できない場合はJPEG (2)) の解像度の画像となります。

■画像更新速度 (JPEG)

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO / 0.1 ips / 0.2 ips / 0.3 ips / 0.5 ips / 1 ips / 2 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度にしたがい適切な値を設定します。「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定

: 「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

機器管理に関する設定 (つづき)

メモ

- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなる場合があります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]」(P.38ページ)をお読みください。

■ストリーム種別 (H.264・MPEG-4)

ストリーム種別を選択します。

H.264に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。

AUTO : 1画、3A画の左、3B画の右の場合、H.264・MPEG-4 (1) のストリームを使用します。それ以外の画面数の場合、H.264・MPEG-4 (2) のストリームを使用します。
6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、7シリーズカメラ (4メガピクセルモード)、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130の場合は、4画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアがH.264・MPEG-4 (2)、6画、9画、16画、25画 (WV-ASE202が必要) および3A画、3B画、7画、10画、13画の画像サイズの小さいエリアがH.264・MPEG-4 (3)、36画、49画、64画 (WV-ASE202が必要) がH.264・MPEG-4 (4) となります。

H.264・MPEG-4 (1)
: 常にH.264・MPEG-4 (1) のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4 (2)
: 常にH.264・MPEG-4 (2) のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4 (3) ※1
: 常にH.264・MPEG-4 (3) のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4 (4) ※1
: 常にH.264・MPEG-4 (4) のストリームを使用します。

お買い上げ時の設定 : H.264・MPEG-4 (1)

※1 6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、7シリーズ

カメラ、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130のみ表示されます。

メモ

- 「H.264・MPEG-4 (1)」、「H.264・MPEG-4 (2)」、「H.264・MPEG-4 (3)」、「H.264・MPEG-4 (4)」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4 (1)」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4 (2)」、「H.264・MPEG-4 (3)」、「H.264・MPEG-4 (4)」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げるすることができます。

■インターネットモード (over HTTP)

ライブ取得先が「カメラ」時に、H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。

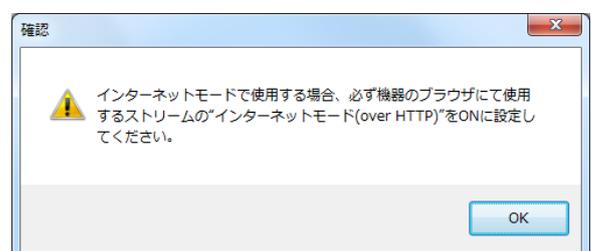
ON : HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

OFF : UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

お買い上げ時の設定 : 「ライブ取得先」が「カメラ」の場合は「OFF」、それ以外は「ー」

メモ

- 本モードは、カメラがRP-NP244、DG-NP244、RP-NP1000、DG-NP1000、RP-NP1004、DG-NP1004、DG-NS202、DG-NS202A、DG-NF282、DG-NW484、DG-NS950、DG-NW960、DG-NP304、DG-NF302、DG-NT304、DG-NT314のときは使用できません。
- インターネットモードをONにすると、[OK] ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、カメラ側の設定を「インターネットモード (over HTTP)」をONにしてください。



機器管理に関する設定（つづき）

■自動追尾

ライブ取得先が「カメラ」時に、自動追尾対象のカメラとするかどうかを選択します。

- ON : 自動追尾対象とする。
- OFF : 自動追尾対象としない。

お買い上げ時の設定：--

メモ

- 本モードはカメラがDG-SC386、DG-SW396/WV-SW396J、DG-SW396A/WV-SW396AJ、WV-SC588/WV-SC588A、WV-SW598J/WV-SW598AJ、WV-SW397/WV-SW397A/WV-SW397J/WV-SW397NJ/WV-SW397BJ、WV-SC387/WV-SC387A、BB-SW374、BB-SC364のときのみ有効となります。
- 自動追尾の対象にすると、DG-CU950にてPT操作時に「十字マーク」が表示され、[トップ]ボタンを押すと「ロックオン」機能が動作します。
- PT操作中は自動追尾は動作しません。

■アドレス

レコーダーから取得した機器のアドレスを表示します。

メモ

- インターネットモードを使用している場合、インターネットからアクセス可能なアドレスに変更しないと、正しく映像が表示されない場合があります。

■連動カメラ

マイクの場合に、レコーダーから取得した連動カメラのチャンネル番号を表示します。

■AVタイミング補正

マイクの場合に、映像と音声のタイミングを調整するかどうかを以下から選択します。

- ON : AVタイミング補正を行う。
- OFF : AVタイミング補正を行わない。

お買い上げ時の設定：ON

■ライブ画解像度（1画）

1画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。

- 録画解像度 : 録画の際の解像度で配信されます。
- QVGA : QVGAサイズで配信されます。

お買い上げ時の設定：録画解像度

■ライブ画解像度（4画）

4画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。

- 録画解像度 : 録画の際の解像度で配信されます。
- QVGA : QVGAサイズで配信されます。

お買い上げ時の設定：QVGA

メモ

- 「録画解像度」、「QVGA」選択時の配信内容（配信レート、画質など）の設定についてはHD600の取扱説明書をお読みください。
- レコーダーから配信されるレートが低い場合、映像が表示されないことがあります。シーケンスをお使いの際はライブ画解像度（1画）、ライブ画解像度（4画）の設定を「QVGA」にしてください。

■ [OK] ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP10

情報を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

メモ

- [OK] ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で[設定保存]ボタンをクリックしてください。

STEP11

[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにレコーダーが追加されます。

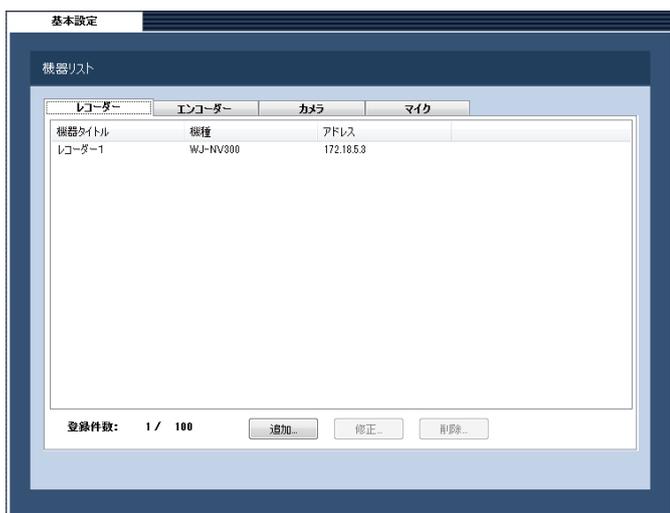
メモ

- マイクを登録しているレコーダーを追加すると、「音声」の設定（[p.28](#)ページ）が「ON」に切り換わります。

レコーダーを修正する [基本設定]

STEP1

レコーダーの機器リスト画面を表示します。
([図42ページ](#))



メモ

- マイクを登録しているレコーダーを修正すると、「音声」の設定 ([図28ページ](#)) が「ON」に切り換わります。

STEP2

機器リストから修正するレコーダーを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。



STEP3

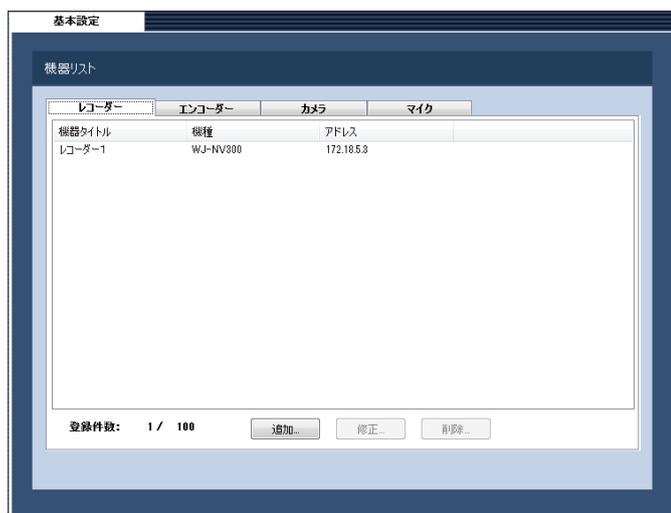
情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
各項目については「レコーダーを追加する [基本設定]」 ([図42ページ](#)) をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

レコーダーを削除する [基本設定]

STEP1

レコーダーの機器リスト画面を表示します。

([図 42](#) ページ)



STEP2

機器リストから削除するレコーダーを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

→機器情報が削除されます。

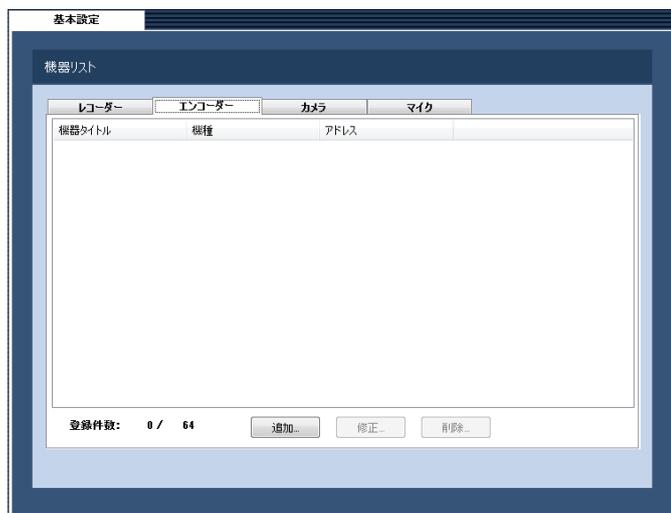
エンコーダーを追加する [基本設定]

STEP1

[機器管理] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

[エンコーダー] タブをクリックします。
→エンコーダーの機器リスト画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録されたエンコーダーのタイトル、機種、アドレスを一覧表示します。

■登録件数

登録されたエンコーダーの台数を表示します。

■ [追加...] ボタン

機器登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

機器リストで選択されたエンコーダーの機器登録画面を表示します。

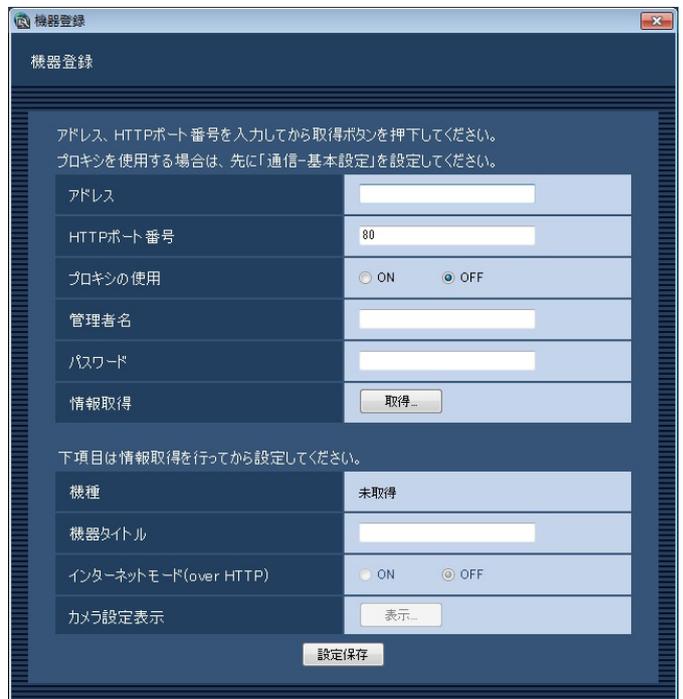
■ [削除...] ボタン

機器リストで選択されたエンコーダーを削除します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。

→機器登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

エンコーダーのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字 255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
1～65535
お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用

エンコーダーに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。

- ON : プロキシを使用します。
- OFF : プロキシを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

機器管理に関する設定（つづき）

メモ

- プロキシのアドレスは通信画面の [基本設定] タブ (116ページ) で設定します。

■管理者名

エンコーダーに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字1文字以上32文字以内で入力します。

■パスワード

エンコーダーに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「*」で表示されます。パスワードは4文字以上32文字以内で入力します。全角、半角記号「|」「&」スペースは入力できません。

■ [取得...] ボタン

「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■機種

機器情報の取得時にエンコーダーから取得したエンコーダーの機種を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■機器タイトル

エンコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

■インターネットモード (over HTTP)

H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。

ON : HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

OFF : UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

お買い上げ時の設定 : OFF

本モードは、エンコーダーがGXE500のときのみ使用できます。

インターネットモードをONにすると、[設定保存] ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、エンコーダー側の設定を「インターネットモード (over HTTP)」をONにしてください。



■ [表示...] ボタン

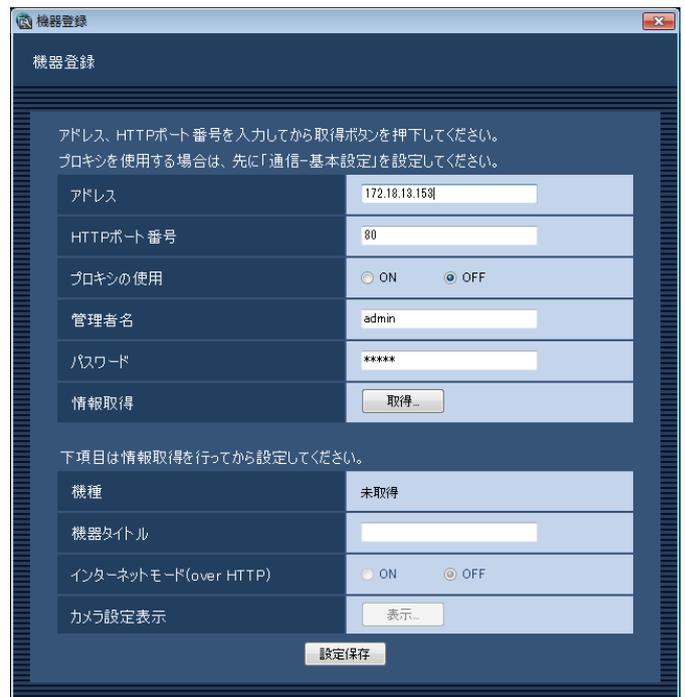
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。



機器管理に関する設定（つづき）

STEP5

[取得...] ボタンをクリックします。

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス 172.18.18.15

HTTPポート番号 80

プロキシの使用 ON OFF

管理者名 admin

パスワード *****

情報取得 取得...

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種 未取得

機器タイトル

インターネットモード(over HTTP) ON OFF

カメラ設定表示 表示...

設定保存

重要

- エンコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

[OK] ボタンをクリックします。

確認

機器情報を取得するのに数分かかる場合があります。
取得を開始しますか。

OK キャンセル

→機器情報取得中画面が表示されます。

機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

取得中

機器情報を取得中です。

キャンセル

STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. [OK] ボタンをクリックします。

取得完了

取得が完了しました。

OK

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. STEP8へ進みます。

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

取得エラー

取得に失敗しました。

OK

メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」(P.4 ページ)をお読みください。

2. [OK] ボタンをクリックします。

→取得エラー画面が閉じます。

3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

機器管理に関する設定（つづき）

STEP8

「機器タイトル」を入力します。

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス	172.18.7.3
HTTPポート番号	80
プロキシの使用	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
管理者名	admin
パスワード	*****
情報取得	取得...

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種	WJ-GXE500
機器タイトル	エンコーダー1
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
カメラ設定表示	表示...

設定保存

STEP9

[表示...] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

CH	タイトル	種別	圧縮方式	解像度(JPEG)	画像更新速度(JPEG)	ストリーム種別(H.264・MPEG-4)
1		ドーム型カメラ1	H.264	---	---	H.264・MPEG-4(I)
2		ドーム型カメラ1	H.264	---	---	H.264・MPEG-4(I)
3		ドーム型カメラ1	H.264	---	---	H.264・MPEG-4(I)
4		ドーム型カメラ1	H.264	---	---	H.264・MPEG-4(I)

OK

< GXE500のカメラ設定画面 >

CH	タイトル	種別	圧縮方式	解像度(JPEG)	画像更新速度(JPEG)	ストリーム種別(H.264・MPEG-4)
1		ドーム型カメラ1	H.264	---	---	H.264・MPEG-4(I)

OK

< GXE100のカメラ設定画面 >

CH	タイトル	種別	圧縮方式	画像更新速度(JPEG)
1		ドーム型カメラ1	MPEG-4	---
2		ドーム型カメラ1	MPEG-4	---
3		ドーム型カメラ1	MPEG-4	---
4		ドーム型カメラ1	MPEG-4	---

OK

< NT304 / NT314のカメラ設定画面 >

画面の説明は以下のとおりです。

■CH

チャンネル番号が表示されます。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } ~ は使用できません。

お買い上げ時の設定：チャンネル番号

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、ドーム型カメラ11、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2、全方位カメラ3、エアロPTZカメラの19種類あります。

お買い上げ時の設定：ドーム型カメラ1

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。

M-JPEG：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定

：H.264に対応したエンコーダーの場合は「H.264」。それ以外の場合は「MPEG-4」。

■解像度 (JPEG)

解像度を選択します。

解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO：1画、3画、4画、6画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアの場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。それ以外の画面数の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

機器管理に関する設定（つづき）

QVGA / 320×180

：QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360

：VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

お買い上げ時の設定

：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

■画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO / 0.1 ips / 0.2 ips / 0.3 ips /
0.5 ips / 1 ips / 2 ips / 3 ips / 5 ips /
10 ips / 15 ips / ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度にしたがい適切な値を設定します。

「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定

：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

メモ

- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなる場合があります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]」（[P.38](#)ページ）をお読みください。

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）

ストリーム種別を選択します。

H.264に対応したエンコーダーで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。

H.264・MPEG-4（1）：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（2）：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ

- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ [OK] ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP10

情報を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が閉じます。

メモ

- [OK] ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で [設定保存] ボタンをクリックしてください。

STEP11

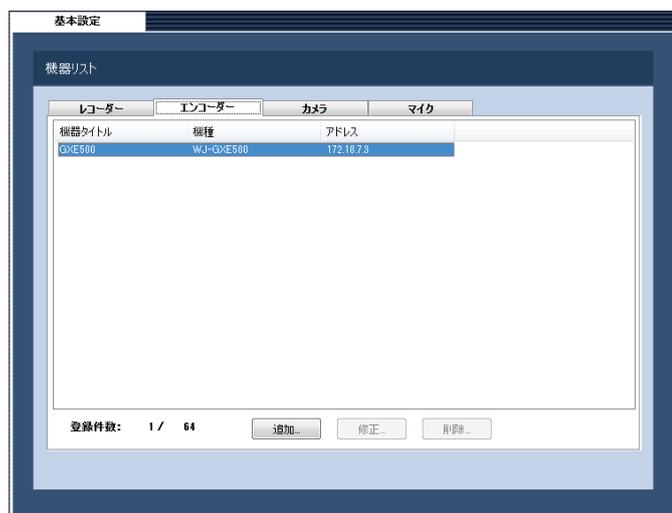
[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにエンコーダーが追加されます。

エンコーダーを修正する [基本設定]

STEP1

エンコーダーの機器リスト画面を表示します。
([図53ページ](#))

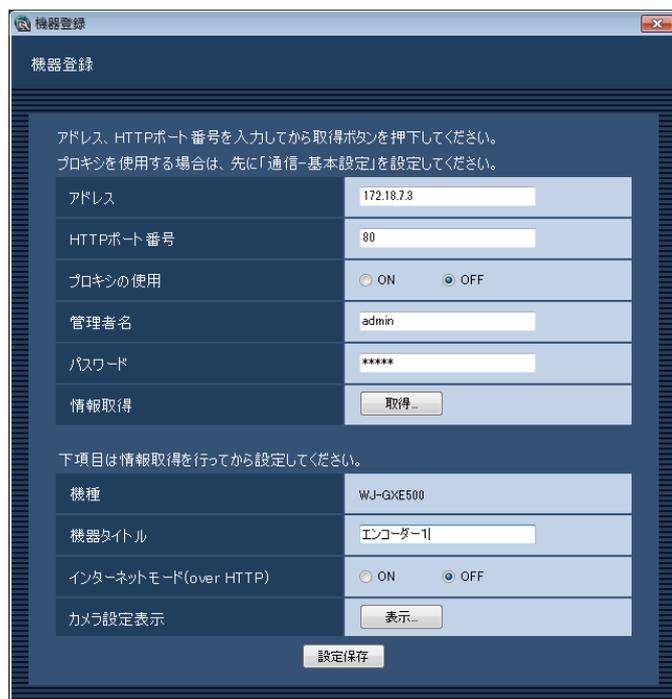


STEP3

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
各項目については「エンコーダーを追加する [基本設定]」([図53ページ](#))をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

STEP2

機器リストから修正するエンコーダーを選択し、[修正...]
ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

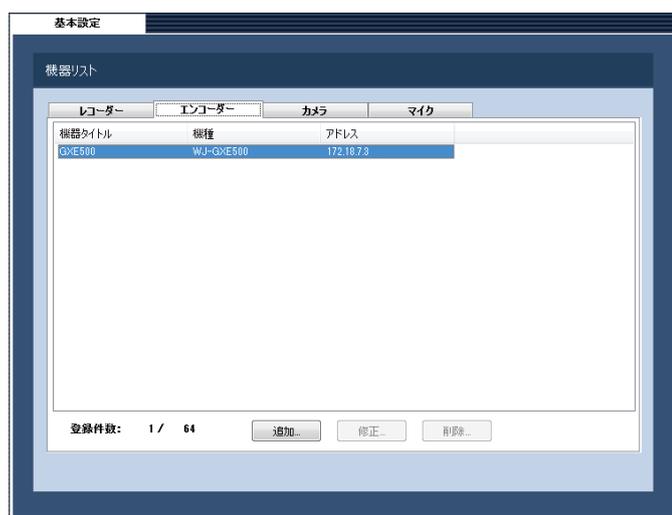


エンコーダーを削除する [基本設定]

STEP1

エンコーダーの機器リスト画面を表示します。

([図53](#)ページ)



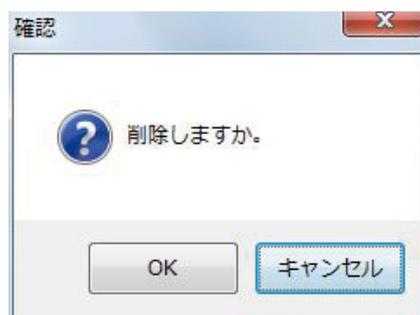
STEP2

機器リストから削除するエンコーダーを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

→機器情報が削除されます。

機器管理に関する設定（つづき）

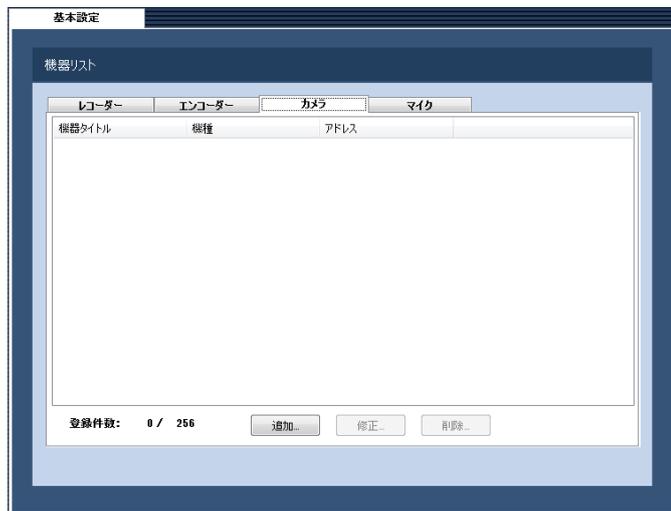
カメラを追加する [基本設定]

STEP1

[機器管理] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

[カメラ] タブをクリックします。
→カメラの機器リスト画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録されたカメラのタイトル、機種、アドレスを一覧表示します。

■登録件数

登録されたカメラの台数を表示します。

■ [追加...] ボタン

機器登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

機器リストで選択されたカメラの機器登録画面を表示します。

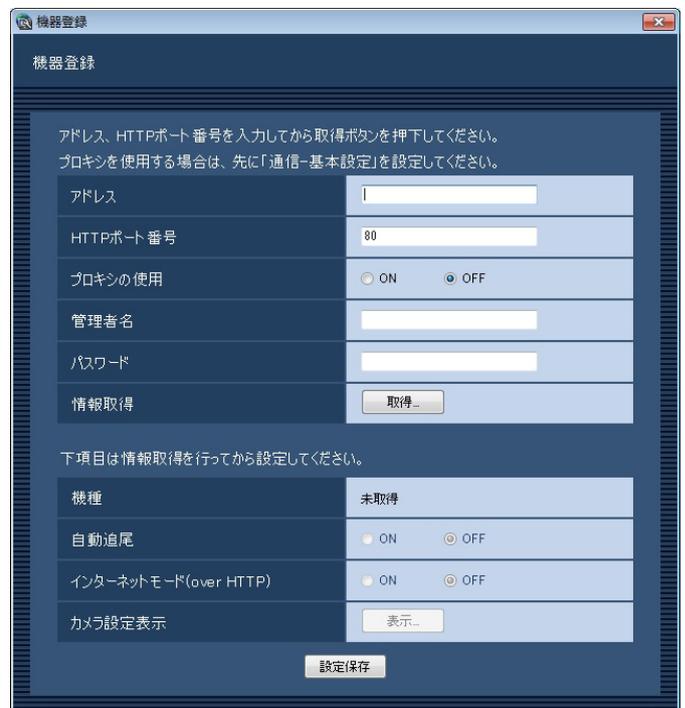
■ [削除...] ボタン

機器リストで選択されたカメラを削除します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。

→機器登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

カメラのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。

1～65535

お買い上げ時の設定：80

■プロキシの使用

カメラに接続するとき、プロキシを使用するかどうかを選択します。

ON : プロキシを使用します。

OFF : プロキシを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

機器管理に関する設定（つづき）

メモ

- プロキシのアドレスは通信画面の [基本設定] タブ (116ページ) で設定します。

■管理者名

カメラに登録されている管理者名を入力します。管理者名は半角英数字1文字以上32文字以内で入力します。

■パスワード

カメラに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「*」で表示されます。パスワードは4文字以上32文字以内で入力します。全角、半角記号「!」「&」スペースは入力できません。

■ [取得...] ボタン

「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■機種

機器情報の取得時にカメラから取得したカメラの機種を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

メモ

- WV-SPN631LまたはWV-SPN611Lで、RS485オプションを有効にしている場合は、「WV-SPN631L (RS485)」「WV-SPN611L (RS485)」と表示されます。

■自動追尾

自動追尾対象のカメラとするかどうかを選択します。

- ON : 自動追尾対象とする。
- OFF : 自動追尾対象としない。

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 本モードはカメラがDG-SC386、DG-SW396/WV-SW396J、DG-SW396A/WV-SW396AJ、WV-SC588/WV-SC588A、WV-SW598J/WV-SW598AJ、WV-SW397/WV-SW397A/WV-SW397J/WV-SW397NJ/WV-SW397BJ、WV-SC387/WV-SC387A、BB-SW374、BB-SC364のときのみ有効となります。
- 自動追尾の対象にすると、DG-CU950にてPT操作時に「十字マーク」が表示され、[トップ] ボタンを押すと「ロックオン」機能が動作します。
- PT操作中は自動追尾は動作しません。

■インターネットモード (over HTTP)

H.264およびMPEG-4画像、音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを使用するか選択します。

- ON : HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
- OFF : UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。

お買い上げ時の設定 : OFF

本モードは、カメラがRP-NP244、DG-NP244、RP-NP1000、DG-NP1000、RP-NP1004、DG-NP1004、DG-NS202、DG-NS202A、DG-NF282、DG-NW484、DG-NS950、DG-NW960、DG-NP304、DG-NF302のときは使用できません。

インターネットモードをONにすると、[設定保存] ボタン押下時に、下記ダイアログが表示されます。インターネットモードを使用している場合は、カメラ側の「インターネットモード (over HTTP)」設定をONにしてください。



■ [表示...] ボタン

取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定（つづき）

STEP4

「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」を入力します。

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス	172.18.77.149
HTTPポート番号	80
プロキシの使用	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
管理者名	admin
パスワード	*****
情報取得	取得...

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種	未取得
自動追尾	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
カメラ設定表示	表示...

設定保存

STEP5

[取得...] ボタンをクリックします。

機器登録

アドレス、HTTPポート番号を入力してから取得ボタンを押下してください。
プロキシを使用する場合は、先に「通信-基本設定」を設定してください。

アドレス	172.18.77.149
HTTPポート番号	80
プロキシの使用	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
管理者名	admin
パスワード	*****
情報取得	取得...

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種	未取得
自動追尾	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
カメラ設定表示	表示...

設定保存

重要

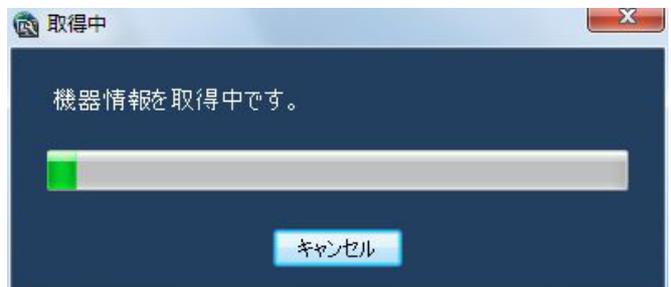
- カメラ本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

[OK] ボタンをクリックします。



→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. [OK] ボタンをクリックします。



- 取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。
2. 取得機器が固定カメラまたはPTZカメラの場合はSTEP8-1へ進みます。
全方位カメラの場合はSTEP8-2へ進みます。

機器管理に関する設定（つづき）

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。



メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」(P.4 ページ)をお読みください。

2. [OK] ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。
4. 再度、機器情報を取得します。

STEP8-1

- [表示...] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { } ~ は使用できません。
お買い上げ時の設定：1

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、ドーム型カメラ11、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2、全方位カメラ3、エアロPTZカメラの19種類あります。
お買い上げ時の設定：カメラの機種によって異なります。

メモ

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラでないと選択できません。

M-JPEG：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定

：H.264に対応したカメラの場合は「H.264」。

MPEG-4に対応したカメラの場合は「MPEG-4」。

それ以外の場合は「M-JPEG」。

メモ

- お使いになるカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■解像度 (JPEG)

解像度を選択します。

解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO *1

：1画、3画、4画、6画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアの場合、VGA (640×480) の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。それ以外の画面数の場合、QVGA (320×240) の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

機器管理に関する設定（つづき）

160×120 / 160×90

: 160×120（16:9モード時は160×90）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA : QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA / 320×180 ^{※5}

: QVGA（320×240、16:9モード時は320×180）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

400×300

: 400×300の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA : VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360

: VGA（640×480、16:9モード時は640×360）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360 / 800×600

: VGA（640×480、16:9モード時は640×360、4:3（800×600）モード時は800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

800×600

: 800×600の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 ^{※2}

: 1280×960の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 / 1280×720

: 1280×960（16:9モード時は1280×720）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1600×1200

: 1600×1200の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 ^{※3}

: 1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 ^{※4 ※6}

: 2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

お買い上げ時の設定

: 「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

※1 撮像モードが2メガピクセルまたは3メガピクセルの場合は、画面数に関わらず「VGA」の画像を表示します。

※2 NP100*のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

※3 撮像モードが2メガピクセル「16:9」 / 3メガピクセル「16:9」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※4 撮像モードが3メガピクセル「4:3」の場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※5 NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合に選択すると、エラーとなります。

※6 NP502またはNW502の撮像モードが1.3メガピクセルの場合に選択すると、エラーとなります。

メモ

●6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130の場合は、カメラのJPEG（1）～（3）の解像度設定に存在しない解像度を設定した場合、JPEG（1）の解像度の画像となります。

■画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にししないと選択できません。

AUTO / 0.1 ips / 0.2 ips / 0.3 ips /
0.5 ips / 1 ips / 2 ips / 3 ips / 5 ips /
10 ips / 15 ips / ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度にしたがい適切な値を設定します。「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定

: 「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

メモ

●ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなる場合があります。

●パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]」（[P.38](#)）をお読みください。

機器管理に関する設定（つづき）

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）

ストリーム種別を選択します。

H.264に対応したカメラで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。

AUTO : 1画、3A画の左、3B画の右の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。それ以外の画面数の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130の場合は、4画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアがH.264・MPEG-4（2）、6画、9画、16画、25画（WV-ASE202が必要）および3A画、3B画、7画、10画、13画の画像サイズの小さいエリアがH.264・MPEG-4（3）、36画、49画、64画（WV-ASE202が必要）がH.264・MPEG-4（4）となります。

H.264・MPEG-4（1）
: 常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（2）
: 常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（3）※1
: 常にH.264・MPEG-4（3）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（4）※1
: 常にH.264・MPEG-4（4）のストリームを使用します。

お買い上げ時の設定 : H.264・MPEG-4（1）

※1 6シリーズカメラ、新3シリーズカメラ、WV-SPN531、新5シリーズカメラ、WV-SFN110、WV-SFV110、WV-SFN130、WV-SFV130のみ表示されます。

メモ

●「H.264・MPEG-4（1）」、「H.264・MPEG-4（2）」、「H.264・MPEG-4（3）」、「H.264・MPEG-4（4）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

●「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」、「H.264・MPEG-4（3）」、「H.264・MPEG-4（4）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げるすることができます。

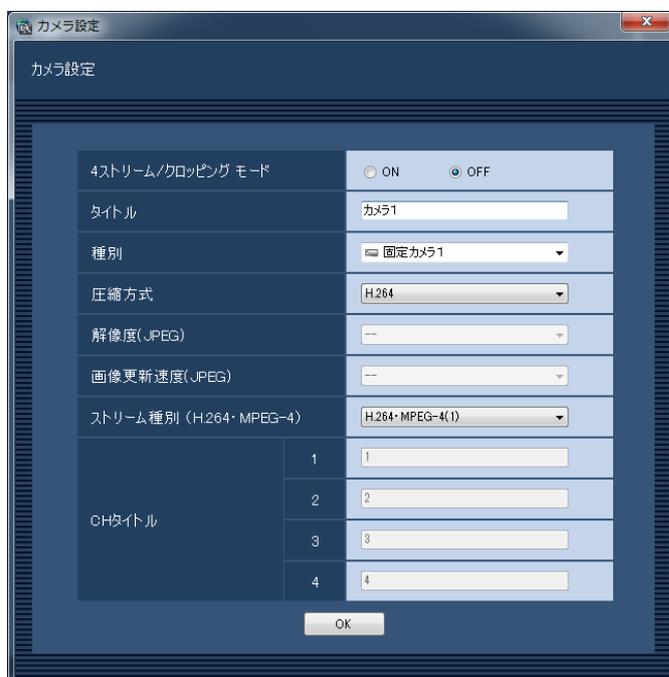
■ [OK] ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP8-2

[表示...] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■4ストリーム/クロッピングモード

4ストリームまたはクロッピングモードとして使用するかを選択します。

4ストリームモード

4ストリームモードは魚眼画像の4か所の画像を歪み補正した4つの4：3の画像を各ストリーム番号に割り当てて、H.264画像を表示する機能です。本モードをご使用になる場合は、お使いになるカメラの撮像モードを「VGA 4ストリーム」に設定する必要があります。

ON : 4ストリームモードを使用します。

OFF : 4ストリームモードを使用しません。

機器管理に関する設定（つづき）

クロッピングモード

クロッピングモードは全景画像を4か所の画像に切り出し4つの16：9の画像を各ストリーム番号に割り当てて、H.264/JPEG画像を表示する機能です。本モードをご使用になる場合は、お使いになるカメラの撮像モードを「クロッピング [16:9] (30 fpsモード)」に設定する必要があります。

- ON : クロッピングモードを使用します。
- OFF : クロッピングモードを使用しません。

お買い上げ時の設定：OFF

メモ

- 使用するカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。
半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

お買い上げ時の設定：1

■種別

カメラの種別と種別に該当するアイコンを表示します。
ドーム型カメラ1、ドーム型カメラ2、ドーム型カメラ3、ドーム型カメラ4、ドーム型カメラ5、ドーム型カメラ6、ドーム型カメラ7、ドーム型カメラ8、ドーム型カメラ9、ドーム型カメラ10、ドーム型カメラ11、固定カメラ1、固定カメラ2、固定カメラ3、固定カメラ4、全方位カメラ1、全方位カメラ2、全方位カメラ3、エアロPTZカメラの19種類あります。

お買い上げ時の設定

- ：カメラの機種によって異なります。

■圧縮方式

圧縮方式を選択します。

- M-JPEG : ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。
- H.264 : ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定

- ：H.264に対応したカメラの場合は「H.264」。

メモ

- 使用するカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■解像度 (JPEG)

解像度を選択します。

解像度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO *¹

- ：1画、3画、4画、6画および7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリアの場合、VGA (640×480) の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。それ以外の画面数の場合、QVGA (320×240) の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA / 320×180

- ：QVGA (320×240、16:9モード時は320×180) の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QVGA / 320×180 / 320×320

- ：QVGA (320×240、16:9モード時は320×180、1:1モード時は320×320) の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

VGA / 640×360

- ：VGA (640×480、16:9モード時は640×360) の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA / 640×360 / 640×640

- ：VGA (640×480、16:8モード時は640×360、1:1モード時は640×640) の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

800×600

- ：800×600の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 / 1280×720

- ：1280×960 (16:9モード時は1280×720) の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1280×960 / 1280×720 / 1280×1280

- ：1280×960 (16:9モード時は1280×720、1:1モード時は1280×1280) の画像を各表示数の表示サイズに合わせて見ることができます。

1920×1080 *²

- ：1920×1080の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2048×1536 *³

- ：2048×1536の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

機器管理に関する設定（つづき）

2048×1536 / 2048×2048

：2048×1536（1:1モード時は2048×2048）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2560×1920 / 2560×1440

：2560×1920（16:9モード時は2560×1440）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2816×2816

：2816×2816の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

2992×2992

：2992×2992の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

3840×2160

：3840×2160の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

4000×3000

：4000×3000の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

お買い上げ時の設定

：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

※1 撮像モードにより、表示サイズが異なります。

●1画/3A画の左/3B画の右

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	2992×2992
8M魚眼	2816×2816
4M魚眼	2048×2048
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	1280×960

●4画/7画、10画、13画の画像サイズの大きいエリア

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	1280×1280
8M魚眼	1280×1280
4M魚眼	1280×1280
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	1280×960

●上記以外の画面数

撮像モード	表示サイズ
9M魚眼	320×320
8M魚眼	320×320
4M魚眼	320×320
3M魚眼	2048×1536
1.3M魚眼	320×240

※2 撮像モードが2Mダブルパノラマ「16:9」 / 2Mパノラマ「16:9」またはダブルパノラマ / パノラマの場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

※3 撮像モードが3M魚眼 [4:3] / 4画PTZ / 1画PTZの場合以外は、設定とは異なる解像度の画像となるか、エラーとなります。

メモ

●9M全方位カメラ、7シリーズカメラの場合は、カメラのJPEG（1）またはJPEG（2）の解像度設定に存在しない解像度を設定した場合、JPEG（1）（JPEG（1）を選択できない場合はJPEG（2））の解像度の画像となります。

■画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にししないと選択できません。

AUTO / 0.1 ips / 0.2 ips / 0.3 ips / 0.5 ips / 1 ips / 2 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度にしたがい適切な値を設定します。「ALL」を選択すると30 ipsで設定します。

お買い上げ時の設定

：「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「-」。

メモ

●ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなる場合があります。

●パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する [パフォーマンス]」（[P.38](#)）をお読みください。

機器管理に関する設定（つづき）

■ストリーム種別（H.264・MPEG-4）

ストリーム種別を選択します。

「圧縮方式」を「H.264」にしないと選択できません。

AUTO : 1画、3A画の左、3B画の右の場合、
H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。それ以外の画面数の場合、
H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
7シリーズカメラ（4メガピクセルモード）
の場合は、4画および7画、10画、13画
の画像サイズの大きいエリアがH.264・
MPEG-4（2）、6画、9画、16画、25画
（WV-ASE202が必要）および3A画、3B
画、7画、10画、13画の画像サイズの小
さいエリアがH.264・MPEG-4（3）、
36画、49画、64画（WV-ASE202が必要）
がH.264・MPEG-4（4）となります。

H.264・MPEG-4（1）

: 常にH.264・MPEG-4（1）のストリー
ムを使用します。

H.264・MPEG-4（2）

: 常にH.264・MPEG-4（2）のストリー
ムを使用します。

お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

メモ

- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。
- 「4ストリーム/クロッピングモード」を「OFF」にした場合に「AUTO」を選択することができます。

■CHタイトル

カメラのチャンネル名を入力します。

CHタイトルは、「4ストリーム/クロッピングモード」
を「ON」にしないと変更できません。

チャンネル名は16文字以内で入力します。半角記号の！
\$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

お買い上げ時の設定：チャンネル番号

■ [OK] ボタン

カメラ設定画面を閉じます。

STEP9

情報を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が閉じます。

メモ

- [OK] ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で [設定保存] ボタンをクリックしてください。

STEP10

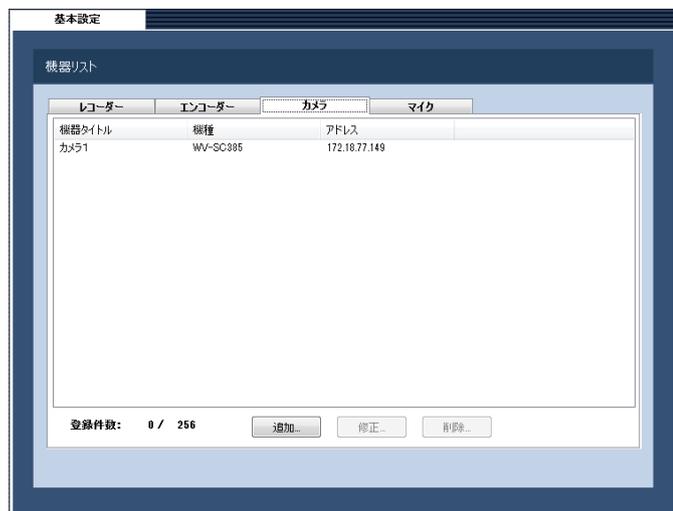
[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにカメラが追加されます。

カメラを修正する [基本設定]

STEP1

カメラの機器リスト画面を表示します。（[p.60](#)ページ）



STEP3

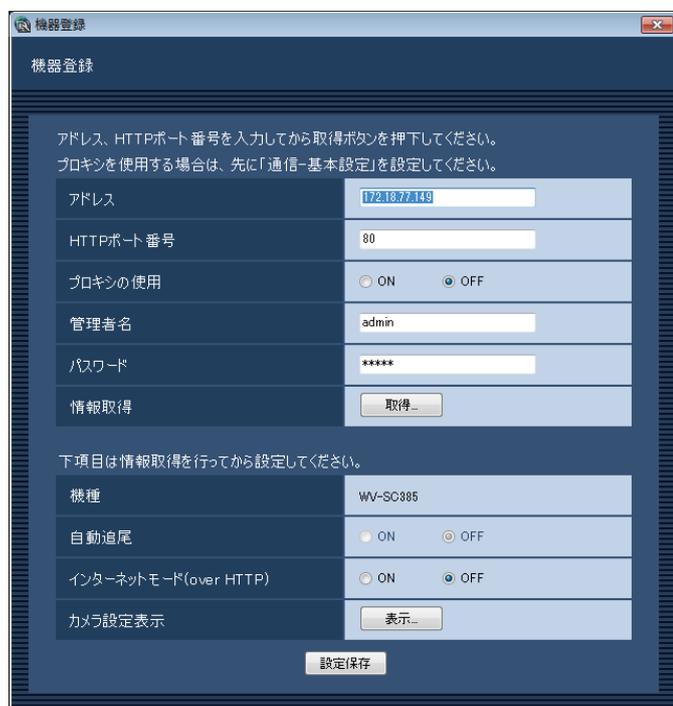
情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「カメラを追加する [基本設定]」（[p.60](#)ページ）をお読みください。

→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

STEP2

機器リストから修正するカメラを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。

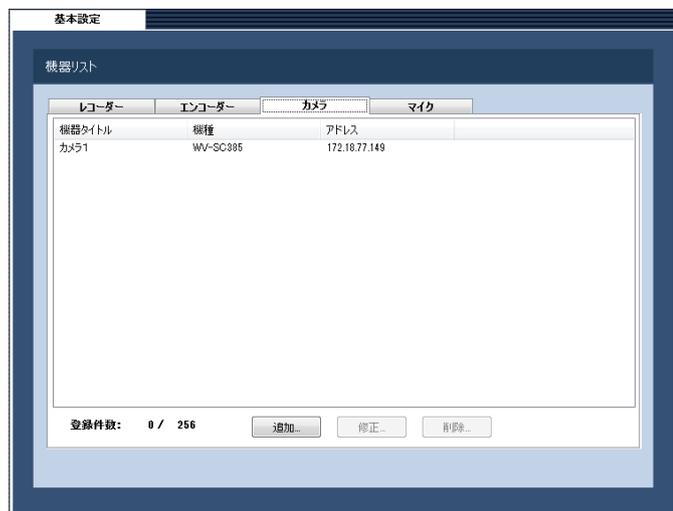
→機器登録画面が表示されます。



カメラを削除する [基本設定]

STEP1

カメラの機器リスト画面を表示します。(P.60ページ)

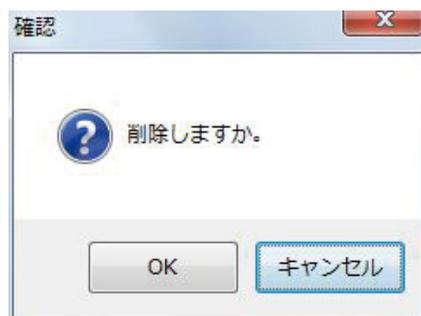


STEP2

機器リストから削除するカメラを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

マイクを追加する [基本設定]

メモ

- マイクを追加する前に、カメラ本体とマイク本体の取扱説明書にしたがってカメラ本体とマイク本体の設定（運動カメラの設定を含みます）を行ったうえで、「カメラを追加する [基本設定]」（60ページ）を実行しておいてください。

STEP1

[機器管理] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

[マイク] タブをクリックします。
→マイクの機器リスト画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録されたマイクのタイトル、機種、アドレス、運動カメラを一覧表示します。

■登録件数

登録されたマイクの台数を表示します。

■ [追加...] ボタン

機器登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

機器リストで選択されたマイクの機器登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

機器リストで選択されたマイクを削除します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

マイクのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。

1～65535

お買い上げ時の設定：80

機器管理に関する設定（つづき）

■プロキシの使用

マイクに接続するとき、プロキシを使用するかどうかを選択します。

ON : プロキシを使用します。

OFF : プロキシを使用しません。

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- プロキシのアドレスは通信画面の [基本設定] タブ (116ページ) で設定します。

■管理者名

マイクに登録されている管理者名を入力します。管理者名は1文字以上32文字以内で入力します。全角、半角記号「!」「&」「:」「;」「¥」スペースは入力できません。

■パスワード

マイクに登録されている管理者のパスワードを入力します。パスワードは「*」で表示されます。パスワードは4文字以上32文字以内で入力します。全角、半角記号「!」「&」スペースは入力できません。

■ [取得...] ボタン

「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に
入力した条件で機器情報を取得します。

■機種

機器情報の取得時にマイクから取得したマイクの機種
を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示
されます。

■機器タイトル

マイク名を16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

■インターネットモード (over HTTP)

音声受信でHTTPポートを使用するかUDPポートを
使用するか選択します。

ON : HTTPポートを使用して音声を受信します。

OFF : UDPポートを使用して音声を受信します。

お買い上げ時の設定 : OFF

インターネットモードをONにすると、[設定保存] ボタン
押下時に、下記ダイアログが表示されます。イン
ターネットモードを使用している場合は、マイク側の
「インターネットモード (over HTTP)」設定をONに
してください。



■連動カメラ

機器情報の取得時にマイクから取得した連動カメラの
タイトルを表示します。機器情報の取得前は「未設定」
と表示されます。連動カメラを変更したい場合はリス
トから選択してください。

■AVタイミング補正

AVタイミング補正を使用するか選択します。

ON : AVタイミング補正を使用します。

OFF : AVタイミング補正を使用しません。

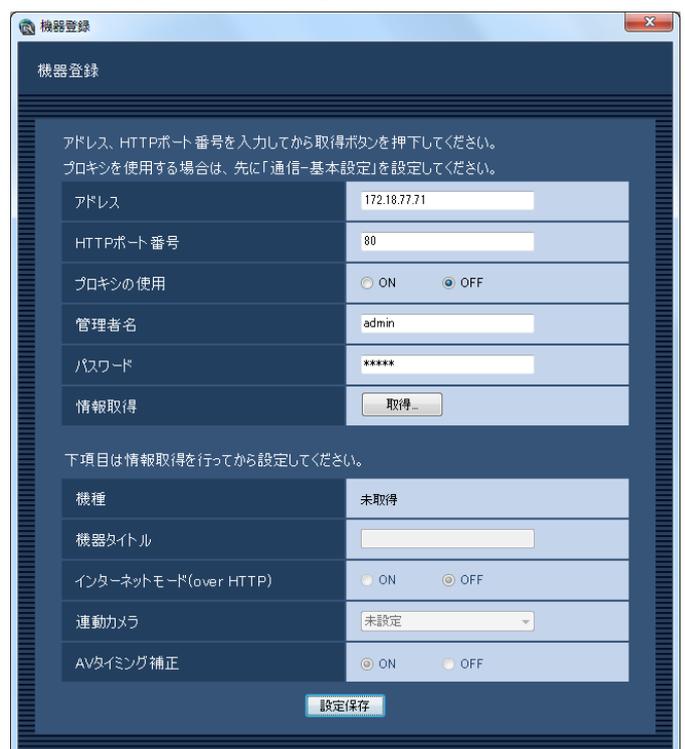
お買い上げ時の設定 : ON

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、
「管理者名」、「パスワード」を入力します。



機器管理に関する設定（つづき）

STEP5

[取得...] ボタンをクリックします。

アドレス	172.18.77.71
HTTPポート番号	80
プロキシの使用	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
管理者名	admin
パスワード	*****
情報取得	取得...

下項目は情報取得を行ってから設定してください。

機種	未取得
機器タイトル	
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
運動カメラ	未設定
AVタイミング補正	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF

設定保存

重要

- マイク本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

STEP6

[OK] ボタンをクリックします。

確認

機器情報を取得するのに数分かかる場合があります。
取得を開始しますか。

OK キャンセル

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

取得中

機器情報を取得中です。

キャンセル

STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. [OK] ボタンをクリックします。

取得完了

取得が完了しました。

OK

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. STEP8へ進みます。

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

取得エラー

取得に失敗しました。

OK

メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」(P.4ページ)をお読みください。

機器管理に関する設定（つづき）

2. [OK] ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。
4. 再度、機器情報を取得します。

STEP8

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにマイクが追加されます。

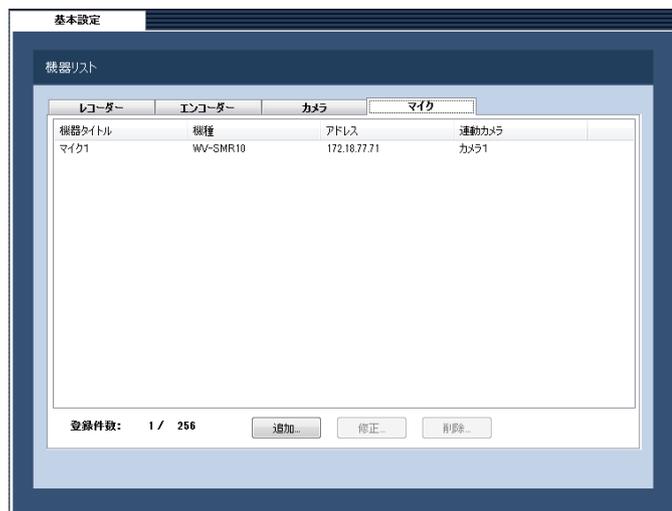
メモ

- カメラとマイクが連動設定されている場合はマイクからの音声を使用し、連動設定されていない場合はカメラからの音声を使用します。
 - 連動カメラとして設定されているカメラが削除された場合、連動カメラの設定は自動的に「未設定」に戻ります。カメラを再登録して、マイクの機器情報を再度取得し直してください。
 - 連動カメラの「4ストリーム/クロッピングモード」を「ON」にした場合、自動的に連動設定が解除されます。
 - 「音声」の設定（[p.28](#)ページ）が「ON」に切り換わります。
-

マイクを修正する [基本設定]

STEP1

マイクの機器リスト画面を表示します。(※71ページ)



STEP3

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「マイクを追加する [基本設定]」(※71ページ)をお読みください。

→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

メモ

- 「音声」の設定 (※28ページ) が「ON」に切り換わります。

STEP2

機器リストから修正するマイクを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。

→機器登録画面が表示されます。



マイクを削除する [基本設定]

STEP1

マイクの機器リスト画面を表示します。(参照 71ページ)

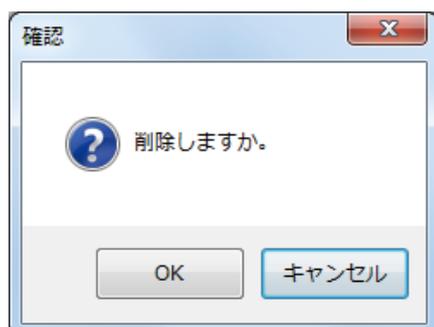


STEP2

機器リストから削除するマイクを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

ユーザー管理に関する設定

本ソフトウェアのログイン方法とユーザーの追加／修正／削除、各ユーザーのレベル設定などユーザー情報を設定します。

ユーザー認証・オートログインユーザー・パスワード有効期限を設定する [基本設定]

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、[基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。ここでは、ログイン時、ユーザー認証を行うかオートログインするかの設定と、パスワードの有効期限を設定するか／しないかを設定します。有効期限を設定する場合、パスワードの有効期間を設定します。



■ユーザー認証

ユーザー認証を行うかどうかを選択します。

ユーザー認証ON : ユーザー認証を行います。

ユーザー認証OFF (オートログイン)
: ユーザー認証を行いません。

シングルサインオン : Windowsにログオンしたドメインユーザーで自動ログインします。

お買い上げ時の設定 : ユーザー認証ON

メモ

- ローカルのWindowsユーザーではシングルサインオンできません。LDAPユーザーまたはLDAPグループを登録したうえで、LDAPユーザーまたはLDAPグループに属するユーザーにてドメインにログオンしてください。

■オートログインユーザー

ユーザー認証をしない場合、どのユーザーで自動的にログインするか選択します。この設定は、「ユーザー認証」を「ユーザー認証OFF (オートログイン)」にしないと設定できません。

オートログインユーザーは、登録済みのローカルユーザーと管理者から選択できます。オートログインユーザーが、削除された場合、オートログインユーザーが管理者に切り換わります。

お買い上げ時の設定 : ADMIN

■パスワード有効期限

パスワードの有効期限を設定するかどうかを選択します。有効期限を過ぎると、運用ソフトウェアにログインするたびにパスワード変更要求画面が表示されます。

ON : パスワードに有効期限を設定します。

OFF : パスワードに有効期限を設定しません。

お買い上げ時の設定 : ON

■パスワード有効期間

パスワードの有効期間を以下から選択します。この設定は「パスワード有効期限」を「ON」にしないと選択できません。

31日 / 92日 / 184日

お買い上げ時の設定 : 92日

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

管理者情報を設定する [管理者設定]

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、[管理者設定] タブをクリックして、管理者設定画面を表示します。ここでは、管理者の名称、パスワード、スタートモニターを設定します。

基本設定	管理者設定	レベル設定	ユーザー設定
管理者名	ADMIN		
パスワード	*****		
レベル	管理者		
表示可能カメラ	全カメラ表示		
スタートモニター	<input checked="" type="radio"/> グループ <input type="radio"/> シーケンス		

設定保存

■管理者名

管理者名を入力します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。

管理者名は重複できません。

お買い上げ時の設定：ADMIN

■パスワード

パスワードを入力します。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。

お買い上げ時の設定：12345

重要

- パスワードは、セキュリティを確保するため、定期的に変更してください。

■レベル

ユーザーレベルを表示します。管理者は変更できません。「管理者」と表示されます。

■表示可能カメラ

管理者は登録されているすべてのカメラが表示でき、「全カメラ表示」と表示されます。

管理者は変更できません。

■スタートモニター

ログイン直後に操作モニターに表示するライブ画像の表示種別を選択します。

グループ：グループで表示します。

シーケンス：シーケンスで表示します。

お買い上げ時の設定：グループ

<「グループ」を選択した場合>

グループ設定画面（[88ページ](#)）で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。グループの登録方法については、「グループを設定する [グループ設定]」（[88ページ](#)）をお読みください。

お買い上げ時の設定：--

<「シーケンス」を選択した場合>

シーケンス設定画面（[92ページ](#)）で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する [シーケンス設定]」（[92ページ](#)）をお読みください。

お買い上げ時の設定：--

メモ

- シーケンス間隔については、運用ソフトウェアで設定された値で動作します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

ユーザーレベルを設定する [レベル設定]

[ユーザー管理] ボタンをクリックし、[レベル設定] タブをクリックして、レベル設定画面を表示します。ここでは、ログインするユーザーのレベルを設定します。ユーザーレベルは、LV1～LV5に分類されます。LV1は、ユーザーレベルを設定できるすべての操作が可能です。LV2～LV5については、管理者が任意でユーザーレベルを設定できます。

重要

- LV1のユーザーレベルは変更できません。



STEP1

各レベルで操作できる機能を選択します。

→チェックボックスが空欄の機能は、ユーザーが操作できません。

各機能の内容については以下の「ユーザーレベルを設定できる機能について」をお読みください。

STEP2

各レベル操作を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。

→設定を完了します。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

ユーザーレベルを設定できる機能について

機能	説明
設定参照	設定ソフトウェアで設定した内容を確認できます。
アラーム復帰／エラー復帰	レコーダーのアラーム動作およびエラー動作を解除できます。
印刷／静止画保存	ライブ画像および再生画像を印刷、静止画保存できます。
ファイル変換	レコーダーからダウンロードしたn3rファイルをmp4ファイルに変換できます。
ダウンロード	録画画像を手動でダウンロードできます。
マニュアル録画	マニュアル録画を開始／停止できます。
検索／再生／レコーダー操作	録画画像の検索／再生／レコーダー操作ができます。
プリセット登録	プリセット登録できます。
SDメモリーカード操作	カメラのSDメモリーカードを操作することができます。
カメラ制御	カメラを制御できます。
マイク設定	マイクの集音操作ができます。
音声（送話）	音声機能の送話を行うことができます。
アラームログ参照	アラームログを確認できます。
機器障害ログ参照	機器障害ログを確認できます。
ネットワーク障害ログ参照	ネットワーク障害ログを確認できます。
人物情報 登録 ^{※1}	人物情報を登録できます。
アラーム参照／顔検索 ^{※1}	アラームを確認できます。顔検索を行うことができます。
顔アラーム削除 ^{※1}	顔検索モニターにて顔照合アラームを削除できます。
顔アラーム検索一覧出力 ^{※1}	顔検索モニターにてアラーム検索結果をHTML出力できます。
画像鮮明化パラメーター設定 ^{※2}	画像鮮明化の詳細なパラメーターを設定できます。

重要

- 「設定参照」は「LV1」のみ設定できます。
- 「カメラ制御」を非選択にすると、連動して「プリセット登録」「SDメモリーカード操作」が非選択になります。
- 「検索／再生／レコーダー操作」を非選択にすると、連動して「マニュアル録画」が非選択になります。
- 「カメラ制御」および「検索／再生／レコーダー操作」を非選択にすると、連動して「マイク設定」が非選択になります。
- 「マイク設定」を選択すると、連動して「カメラ制御」および「検索／再生／レコーダー操作」が選択されます。
- 「顔アラーム検索一覧出力」を選択すると、連動して「アラーム参照／顔検索」が選択されます。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

お買い上げ時の設定：

項目	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5
設定参照	○				
アラーム復帰／エラー復帰	○				
印刷／静止画保存	○	○			
ファイル変換	○	○			
ダウンロード	○	○			
マニュアル録画	○				
検索／再生／レコーダー操作	○	○	○		
プリセット登録	○	○	○	○	
SDメモリーカード操作	○	○			
カメラ制御	○	○	○	○	
マイク設定	○	○	○	○	
音声（送話）	○	○	○	○	
アラームログ参照	○	○	○	○	
機器障害ログ参照	○	○	○	○	
ネットワーク障害ログ参照	○	○	○	○	
人物情報 登録※ ¹	○				
アラーム参照／顔検索※ ¹	○	○	○		
顔アラーム削除※ ¹	○	○			
顔アラーム検索一覧出力※ ¹	○	○			
画像鮮明化パラメーター設定※ ²	○				

※¹ WV-ASE231のライセンスを追加したとき有効となります。

※² WV-ASE205のライセンスを追加したとき有効となります。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

登録ユーザーを管理する [ユーザー設定]

本ソフトウェアを使用するユーザーを追加／修正／削除できます。ユーザーはローカルユーザー、LDAPユーザー、LDAPグループの合計で32人まで登録できます。

ユーザーを追加する

STEP1

[ユーザー管理] ボタンをクリックします。



STEP2

[ユーザー設定] タブをクリックします。
→ユーザー設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■登録ユーザー

登録されたユーザー名とユーザータイプ（ローカルユーザー、LDAPユーザー、LDAPグループ）を一覧表示します。

■登録件数

登録されたユーザーの人数を表示します。

■ [追加...] ボタン

ユーザー登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

登録ユーザーリストで選択されたユーザーのユーザー登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

登録ユーザーリストで選択されたユーザーを削除します。

■ [検索...] ボタン

ユーザー／グループ選択画面を表示します。

メモ

- 「ディレクトリサービス」の設定が「OFF」の場合はクリックできません。

STEP3

＜ローカルユーザーを追加する場合＞

[追加...] ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。



メモ

- すでに32人登録済みの場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

画面の説明は以下のとおりです。

■ユーザー名

ユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
ユーザー名は重複できません。

■パスワード

パスワードを入力します。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。

メモ

- パスワードはセキュリティを確保するために定期的に変更してください。

■レベル

ユーザーレベルを以下から選択します。
LV1 / LV2 / LV3 / LV4 / LV5
お買い上げ時の設定：LV2

■表示可能カメラ

[カメラ設定...] ボタンをクリックすると、表示可能カメラ設定画面を表示します。表示可能カメラの設定方法については、「表示可能なカメラを設定する」(P.86 ページ)をお読みください。

■スタートモニター

ログイン直後に操作モニターで表示するライブ画像の表示種別を選択します。
グループ : グループで表示します。
シーケンス : シーケンスで表示します。
お買い上げ時の設定：グループ

<「グループ」を選択した場合>

グループ設定画面 (P.88ページ) で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。グループの登録方法については、「グループを設定する [グループ設定]」(P.88ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：--

<「シーケンス」を選択した場合>

シーケンス設定画面 (P.92ページ) で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。シーケンスの登録方法については、「シーケンスを

設定する [シーケンス設定]」(P.92ページ)をお読みください。

お買い上げ時の設定：--

メモ

- シーケンス間隔については、運用ソフトウェアで設定された値で動作します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

<LDAPユーザーまたはLDAPグループを追加する場合>

1. [検索...] ボタンをクリックします。
→ユーザー/グループ選択画面が表示されます。



メモ

- すでに32人登録済みの場合は、「検索...」 ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■検索ユーザー名

検索するための文字列を入力します。ワイルドカードによる指定が可能です。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

■ [検索] ボタン

アクティブディレクトリに対して、指定された文字列で検索します。

メモ

- 「検索ユーザー名」が空白のときはクリックできません。

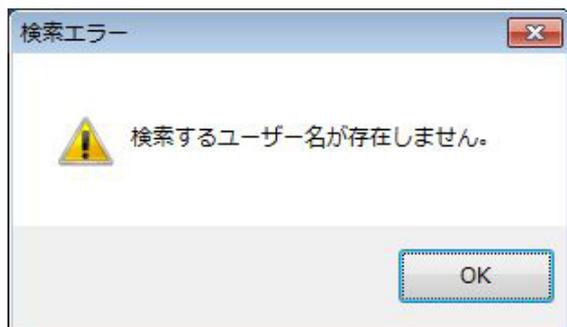
アクティブディレクトリに対して検索できない場合、以下の画面が表示されます。



この画面が表示された場合は、以下を確認してください。

- アクティブディレクトリが正しく設定されている。
- アクティブディレクトリが動作している。
- ネットワークが接続されている。

検索した結果1件もヒットしなかった場合、以下の画面が表示されます。



■ユーザー一覧

検索後、ヒットしたユーザー一覧が表示されます。

■グループ一覧

検索後、ヒットしたグループ一覧が表示されます。

2. 登録したいユーザーまたはグループを1つ選択して、[選択] ボタンをクリックします。

→ユーザー登録画面が表示されます。



メモ

- 63文字を超えるユーザーまたはグループを選択しても登録できません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ユーザー名

選択したユーザーまたはグループが自動で設定されます。ユーザー名は編集できません。

■パスワード

空欄で表示されます。パスワードは入力できません。

■レベル

ユーザーレベルを以下から選択します。

LV1 / LV2 / LV3 / LV4 / LV5

お買い上げ時の設定：LV2

■表示可能カメラ

[カメラ設定...] ボタンをクリックすると、表示可能カメラ設定画面を表示します。表示可能カメラの設定方法については、「表示可能なカメラを設定する」(86ページ)をお読みください。

■スタートモニター

ログイン直後に操作モニターで表示するライブ画像の表示種別を選択します。

グループ : グループで表示します。

シーケンス : シーケンスで表示します。

お買い上げ時の設定：グループ

ユーザー管理に関する設定（つづき）

＜「グループ」を選択した場合＞

グループ設定画面（[88ページ](#)）で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。グループの登録方法については、「グループを設定する [グループ設定]」（[88ページ](#)）をお読みください。
お買い上げ時の設定：--

＜「シーケンス」を選択した場合＞

シーケンス設定画面（[92ページ](#)）で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「-」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する [シーケンス設定]」（[92ページ](#)）をお読みください。
お買い上げ時の設定：--

メモ

- シーケンス間隔については、運用ソフトウェアで設定された値で動作します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

メモ

- 同一名称のローカルユーザー、LDAPユーザー、LDAPグループは登録できません。
- LDAPグループとして登録すると、グループに属する全ユーザーは全て同一のユーザーレベルでログイン可能となります。
- LDAPグループに属するユーザーと同一名称のローカルユーザーまたはLDAPユーザーが登録されている場合、ローカルユーザーまたはLDAPユーザーのユーザーレベルが優先されません。

ユーザーを修正する

STEP1

ユーザー設定画面を表示します。（[82ページ](#)）



STEP2

登録ユーザーリストから修正するユーザーを選択し、「修正...」ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。



STEP3

情報を入力し、「設定保存」ボタンをクリックします。各項目については「ユーザーを追加する」（[82ページ](#)）をお読みください。
→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

ユーザーを削除する

STEP1

ユーザー設定画面を表示します。（[82ページ](#)）



STEP2

登録ユーザーリストから削除するユーザーを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→ユーザー情報が削除されます。

重要

- オートログインユーザーとして選択されているユーザーのユーザー情報を削除すると、自動的にオートログインユーザーを管理者へ変更します。

表示可能なカメラを設定する

ユーザーごとに表示可能なカメラを設定します。

STEP1

ユーザー設定画面を表示します。（[82ページ](#)）



STEP2

ユーザーを追加する場合は [追加...] ボタン、ユーザーを修正する場合は [修正...] ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。



ユーザー管理に関する設定（つづき）

STEP3

[カメラ設定...] ボタンをクリックします。
→表示可能カメラ設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧をツリーで表示します。ユーザーが運用ソフトウェアにログインした場合に表示する機器を選択します。チェックボックスが空欄の場合は表示されません。

お買い上げ時の設定は、すべての機器が選択されています。

■ [全選択] ボタン

カメラ選択リストの機器のすべてを選択します。

■ [OK] ボタン

表示可能カメラ設定画面を閉じます。

STEP4

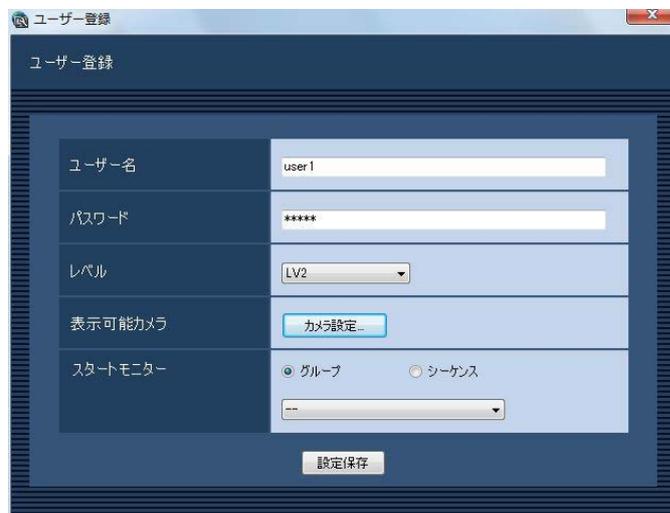
情報を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
→表示可能カメラ設定画面を閉じ、ユーザー登録画面に戻ります。

メモ

- [OK] ボタンをクリックして表示可能カメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。表示可能カメラ設定画面を閉じた後、ユーザー登録画面で [設定保存] ボタンをクリックしてください。

STEP5

ユーザー登録画面の [設定保存] ボタンをクリックします。



→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

重要

- カメラ直接受信時は、レコーダーのカメラパーティショニング設定でライブ画像が表示できない状態であっても、本ソフトウェアで表示可能な設定になっていれば、ライブ画像を表示します。

カメラに関する設定

カメラのグループとシーケンス動作に関する設定を行います。

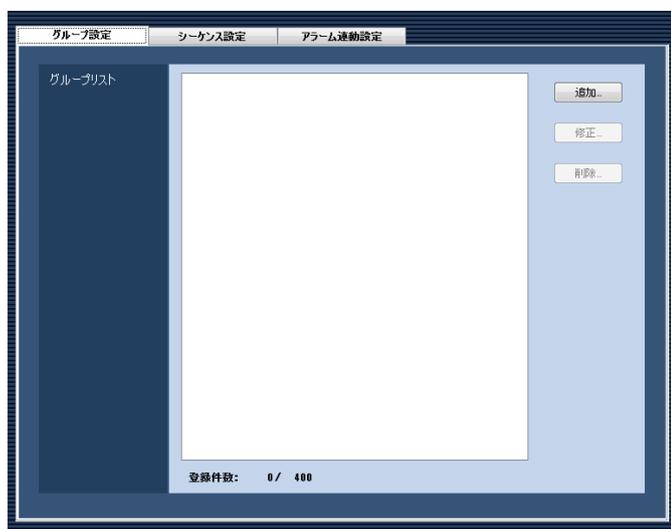
グループを設定する [グループ設定]

表示できる画面数とよく使用するカメラを組み合わせ、1つのグループとして登録できます。1つのグループには最大16台（機能拡張ソフトウェアWV-ASE202のライセンスを追加した場合は、64台）のカメラを登録できます。グループは400件まで登録できます。

グループを追加する

STEP1

[カメラ] ボタンをクリックします。



画面の説明は以下のとおりです。

■グループリスト

登録されたグループを一覧表示します。

■ [追加...] ボタン

グループ登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

グループリストで選択されたグループのグループ登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

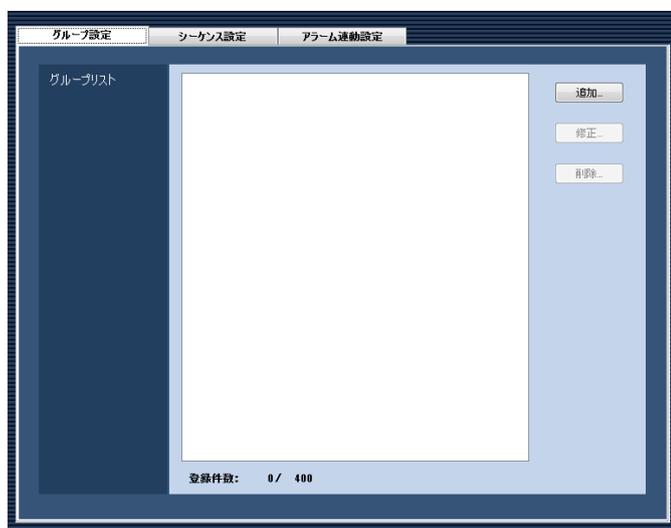
グループリストで選択されたグループを削除します。

■登録件数

登録されたグループの件数を表示します。

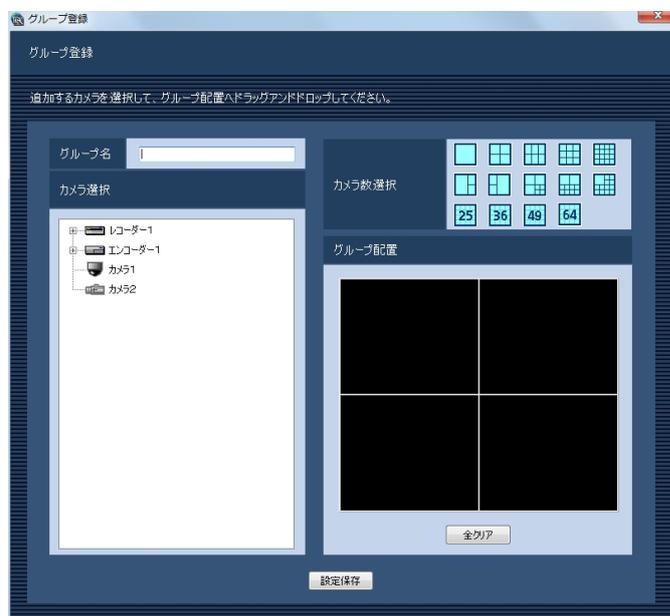
STEP2

[グループ設定] タブをクリックします。
→グループ設定画面が表示されます。



STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→グループ登録画面が表示されます。



カメラに関する設定（つづき）

メモ

- すでに400件登録済みの場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■グループ名

グループ名を入力します。グループ名は16文字以内で入力します。半角記号の!\$% '<=>@[¥]^_`{|} `は使用できません。グループ名は重複できません。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧をツリーで表示します。

■カメラ数選択

「グループ配置」に表示するカメラ数をアイコンから選択します。

カメラ数選択に表示されるアイコンは以下のとおりです。

アイコン表示	内容
	1画表示します。
	4画表示します。
	6画表示します。
	9画表示します。
	16画表示します。
	3A画表示します。
	3B画表示します。
	7画表示します。
	10画表示します。
	13画表示します。

以下はWV-ASE202ライセンス追加時有効となります。

アイコン表示	内容
	25画表示します。

	36画表示します。
	49画表示します。
	64画表示します。

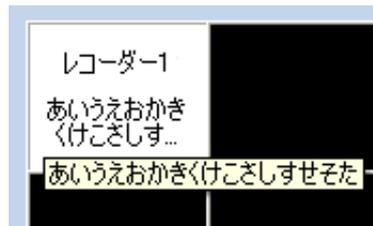
お買い上げ時の設定：4画

■グループ配置

グループに登録するカメラを表示します。「カメラ選択」からレコーダーアイコン、エンコーダーアイコン、カメラアイコンのいずれかをドラッグ&ドロップしてカメラを配置します。カメラが登録されると、機器名とカメラ名が表示されます。

メモ

- レコーダー、エンコーダーまたは4ストリーム/クロッピングモードに設定したカメラをドラッグ&ドロップした場合、1CHから順に表示します。
- グループ配置エリアに機器名とカメラ名の文字が表示しきれない場合、マウスカーソルを「グループ配置」のエリアに合わせると、自動的にチップヘルプで情報を表示します。
例) あいうえおかきくけこさしす...⇒
あいうえおかきくけこさしすせそた



- レコーダーに登録されていないカメラの場合、グループ配置エリアの機器名には「-」が表示されます。
- グループ配置エリアを右クリックすると「クリア」メニューが表示されます。「クリア」メニューを選び、そのエリアの設定をクリアすることができます。

■ [全クリア] ボタン

「グループ配置」の設定をクリアします。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

カメラに関する設定（つづき）

STEP4

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。グループリストにグループが追加されます。

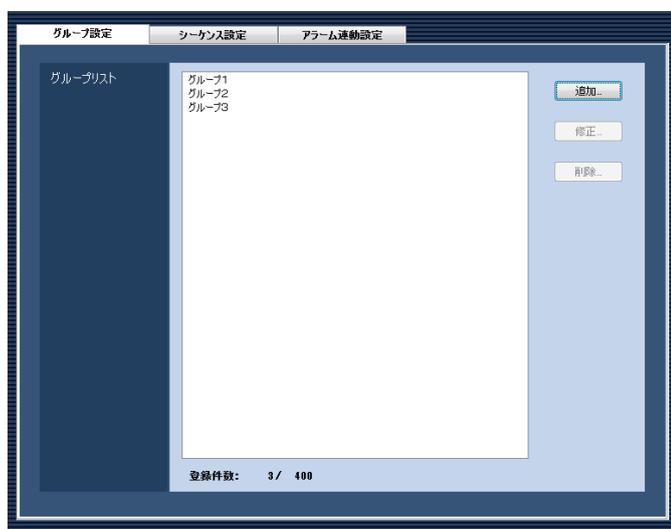
重要

- 1つのグループに同一カメラを重複して設定できません。

グループを修正する

STEP1

グループ設定画面を表示します。(P.88ページ)

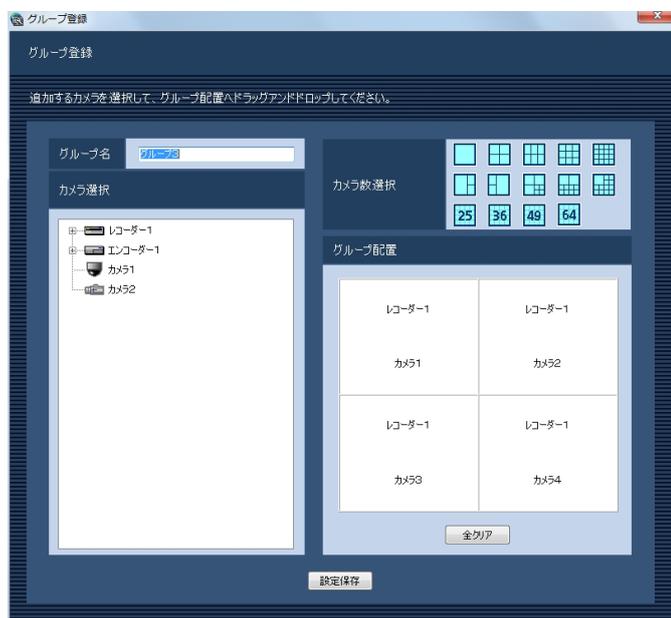


STEP3

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「グループを追加する」(P.88ページ)をお読みください。
→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。

STEP2

グループリストから修正するグループを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。
→グループ登録画面が表示されます。



カメラに関する設定（つづき）

グループを削除する

STEP1

グループ設定画面を表示します。（[88ページ](#)）

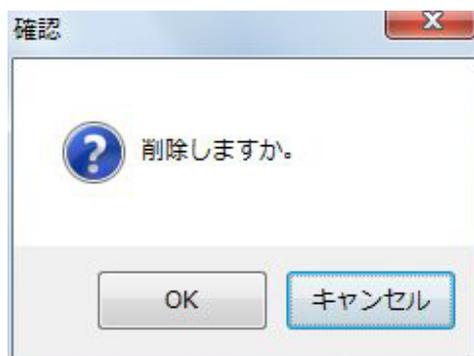


STEP2

グループリストから削除するグループを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→グループ情報が削除されます。

メモ

- スタートモニターとして設定されているグループを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「-」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

カメラに関する設定（つづき）

シーケンスを設定する [シーケンス設定]

グループを1つのシーケンスに登録できます。1つのシーケンスには最大64グループを登録できます。シーケンスは10件まで登録できます。

シーケンスを追加する

STEP1

[カメラ] ボタンをクリックします。



■シーケンスリスト

登録されたシーケンスを一覧表示します。

■ [追加...] ボタン

シーケンス登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

シーケンスリストで選択されたシーケンスのシーケンス登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

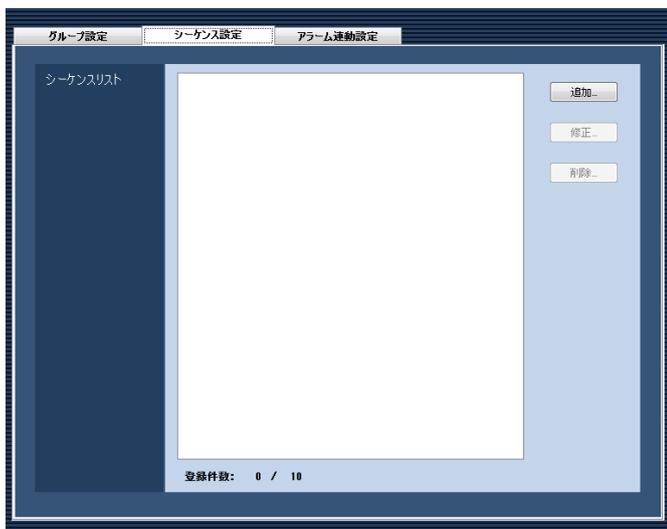
シーケンスリストで選択されたシーケンスを削除します。

■登録件数

登録されたシーケンスの件数を表示します。

STEP2

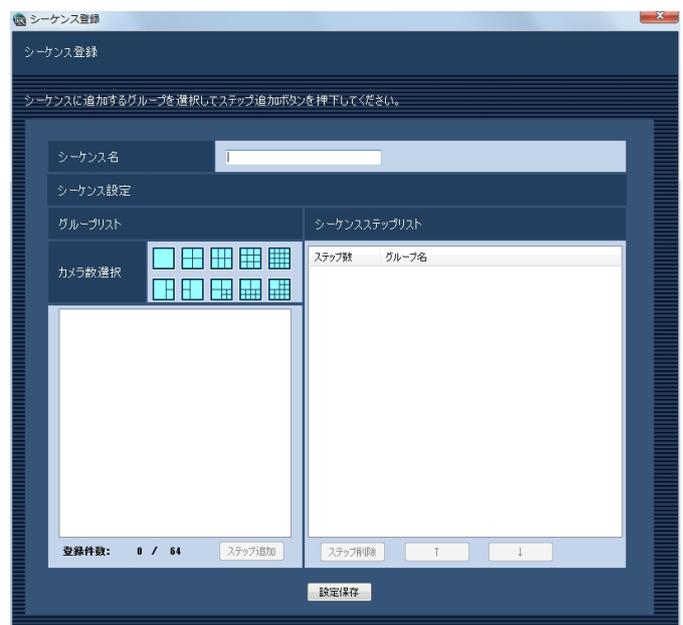
[シーケンス設定] タブをクリックします。
→シーケンス設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→シーケンス登録画面が表示されます。



カメラに関する設定（つづき）

メモ

- すでに10件登録済みの場合は、「追加...」ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■シーケンス名

シーケンス名を入力します。シーケンス名は16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。
シーケンス名は重複できません。

■グループリスト

シーケンスに登録できるグループの一覧を表示します。

■カメラ数選択

グループリストに表示するグループのカメラ数を選択します。

- 1画 : 1画のグループを表示します。
- 4画 : 4画のグループを表示します。
- 6画 : 6画のグループを表示します。
- 9画 : 9画のグループを表示します。
- 16画 : 16画のグループを表示します。
- 3A画 : 3A画のグループを表示します。
- 3B画 : 3B画のグループを表示します。
- 7画 : 7画のグループを表示します。
- 10画 : 10画のグループを表示します。
- 13画 : 13画のグループを表示します。

お買い上げ時の設定 : 1画

■登録件数

「シーケンスステップリスト」に登録されているグループの件数を表示します。

■ [ステップ追加] ボタン

「グループリスト」で選択したグループを「シーケンスステップリスト」に追加します。

メモ

- 同一シーケンスで同一グループを重複設定できません。
- すでに64件登録済みの場合、「ステップ追加」ボタンをクリックできません。

■シーケンスステップリスト

登録されているグループ一覧を表示します。

■ [ステップ削除] ボタン

「シーケンスステップリスト」で選択したグループをシーケンスリストから削除します。

■ [↑] ボタン

「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ上に移動します。

■ [↓] ボタン

「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ下に移動します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

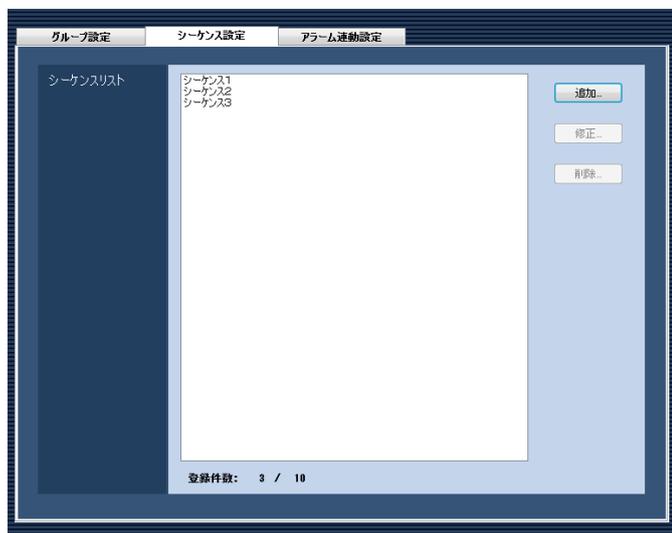
情報を入力し、「設定保存」ボタンをクリックします。
→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。
シーケンスリストにシーケンスが追加されます。

カメラに関する設定（つづき）

シーケンスを修正する

STEP1

シーケンス設定画面を表示します。（[p.92](#)ページ）



STEP3

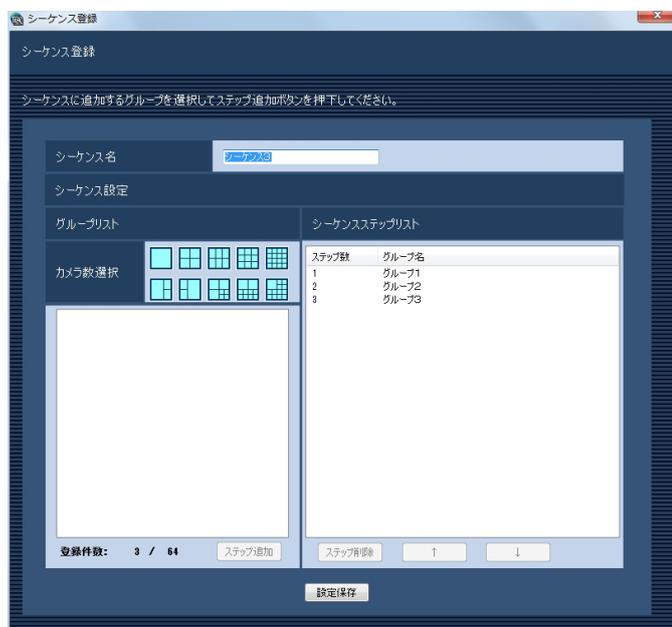
情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「シーケンスを追加する」（[p.92](#)ページ）をお読みください。

→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。

STEP2

シーケンスリストから修正するシーケンスを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。

→シーケンス登録画面が表示されます。

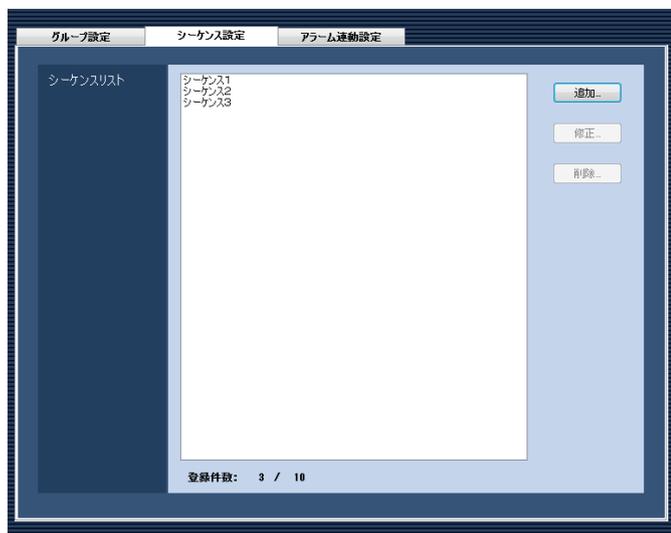


カメラに関する設定（つづき）

シーケンスを削除する

STEP1

シーケンス設定画面を表示します。（[p.92](#)ページ）



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→シーケンス情報が削除されます。

メモ

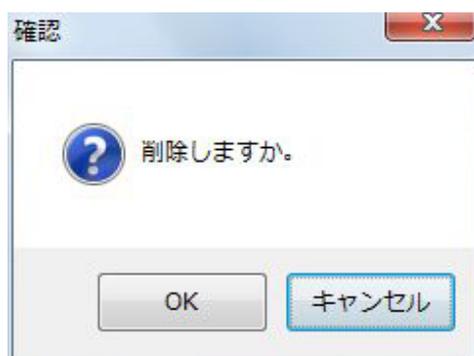
- スタートモニターとして設定されているシーケンスを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「-」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

STEP2

シーケンスリストから削除するシーケンスを選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



アラーム連動を設定する [アラーム連動設定]

ライブモニターを使用する設定で、「アラーム設定」の「自動ライブ切り換え」が「ON」の場合は、アラーム通知を受信するとライブモニターをアラームモードに切り換えてライブ画像を表示します。初期状態ではアラームが発生したチャンネルのライブ映像を表示しますが、以下に記載のアラーム連動設定を行うことでライブモニター 1へグループ設定した複数カメラを表示することができます。アラーム連動は512件まで登録できます。

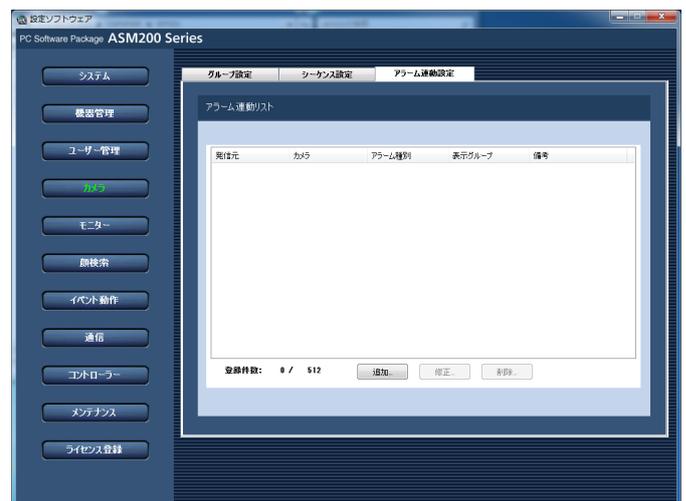
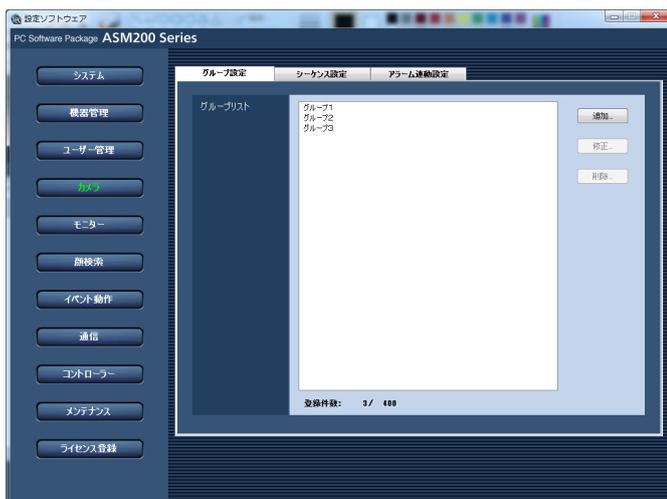
メモ

- ライブモニターへのアラーム表示については「WV-ASM200取扱説明書 運用編」中に記載の「ライブモニターへのアラーム表示」をお読みください。

アラーム連動を追加する

STEP 1

[カメラ] ボタンをクリックします。



画面の説明は以下のとおりです。

■アラーム連動リスト

登録されたアラーム連動リストを一覧表示します。

■ [追加...] ボタン

アラーム連動設定画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

アラーム連動リストで選択されたアラーム連動のアラーム連動設定画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

アラーム連動リストで選択されたアラーム連動を削除します。

STEP 2

[アラーム連動設定] タブをクリックします。

→アラーム連動設定画面が表示されます。

カメラに関する設定（つづき）

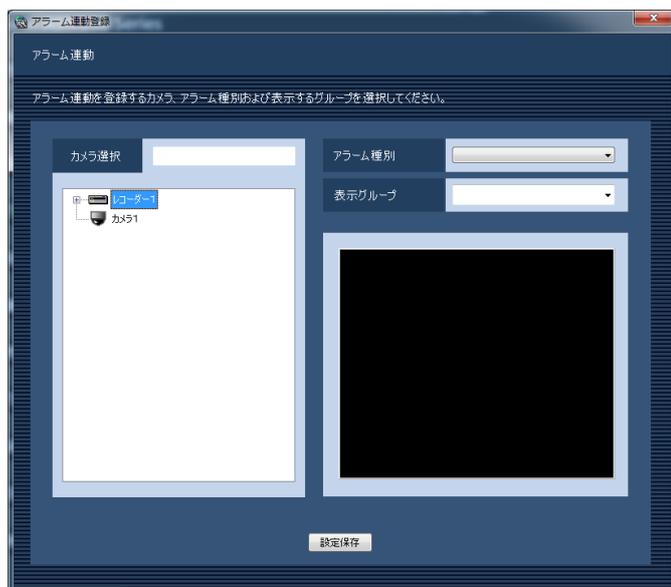
■登録件数

登録されたアラーム連動の件数を表示します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。

→アラーム連動設定登録が表示されます。



メモ

- 既に512件登録済みの場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。
- グループ表示連動で設定されたグループ表示の画面数がライブモニター 1の最大画面数より大きい場合はアラーム連動表示を行えません。ライブモニター 1の最大画面数以内の画面数で設定したグループを表示グループとして選択するようにしてください。

画面の説明は以下のとおりです。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧をツリーで表示します。アラーム連動登録を行う機器をマウスクリックにより1つ選択してください。

■アラーム種別

アラーム連動登録を行うアラーム種別を一覧から選択してください。

■表示グループ

アラーム連動登録を行う表示グループを一覧から選択してください。グループはグループ設定で登録されたグループリストから選択できます。事前にグループ設定により登録しておく必要があります。

選択されたグループの内容を画面下部に表示します。



メモ

- 本画面でグループ設定を行うことはできません。選択したグループの内容確認のみ行えます。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

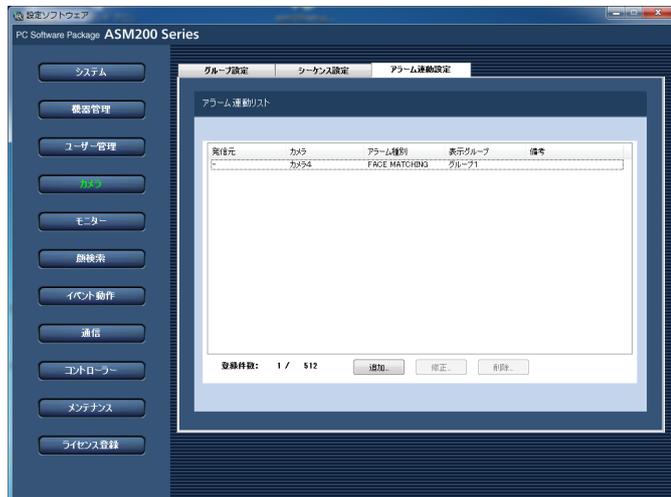
情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、アラーム連動設定登録画面が閉じます。アラーム連動リストにアラーム連動が追加されます。

カメラに関する設定（つづき）

アラーム連動を修正する

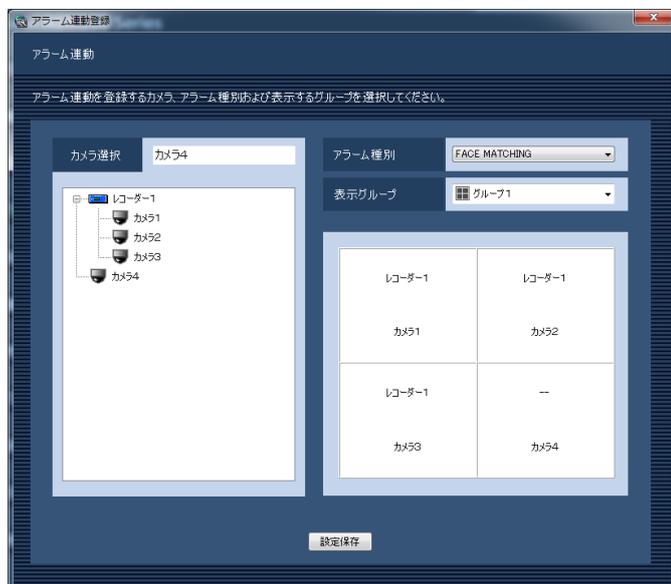
STEP1

アラーム連動設定画面を表示します。（[p.96](#)ページ）



STEP2

アラーム連動リストから修正するアラーム連動を選択し、[修正...] ボタンをクリックします。
→アラーム連動設定画面が表示されます。



STEP3

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。
各項目については「アラーム連動を追加する」（[p.96](#)ページ）をお読みください。
→設定が保存され、アラーム連動設定画面が閉じます。

カメラに関する設定（つづき）

アラーム連動を削除する

STEP1

アラーム連動設定画面を表示します。（[p.96](#)ページ）



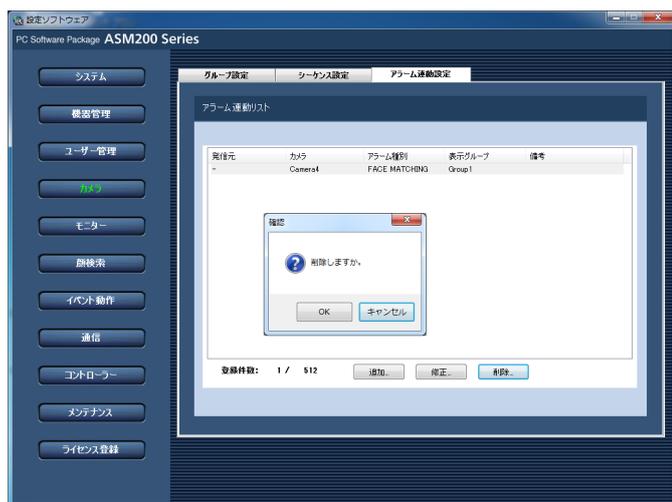
STEP2

アラーム連動リストから削除するアラーム連動を選択します。

STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

→アラーム連動情報が削除されます。

モニターに関する設定

ライブモニターやマップモニターを設定します。

ライブモニターを設定する [ライブモニター]

重要

- 機能拡張ソフトウェアWV-ASE201のライセンスが登録されている必要があります。

[モニター] ボタンをクリックし、[ライブモニター] タブをクリックして、ライブモニター画面を表示します。



■スタートモニター

ライブモニター表示直後にライブモニターに表示するライブ画像の表示種別を選択します。

グループ : グループで表示します。

シーケンス : シーケンスで表示します。

お買い上げ時の設定：グループ

<「グループ」を選択した場合>

グループ設定画面 (P88ページ) で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「-」のみ表示されます。ライブモニターでは黒画表示されません。

グループの登録方法については、「グループを設定する [グループ設定]」 (P88ページ) をお読みください。

お買い上げ時の設定：--

<「シーケンス」を選択した場合>

シーケンス設定画面 (P92ページ) で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「-」のみ表示されます。ライブモニターでは、黒画表示されます。

シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する [シーケンス設定]」 (P92ページ) をお読みください。

お買い上げ時の設定：--

メモ

- 機能拡張ソフトウェアWV-ASE202のライセンスを登録すると、No.1 ~ No.4の4つのライブモニターのスタートモニターを設定することができます。

■シーケンス間隔

シーケンス間隔を以下から選択します。本設定は「スタートモニター」を「シーケンス」にしないと選択できません。

3秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / 35秒 / 40秒 / 45秒 / 50秒 / 55秒 / 1分

お買い上げ時の設定：3秒

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

モニターに関する設定（つづき）

マップを設定する [マップモニター]

重要

- 機能拡張ソフトウェアWV-ASE201のライセンスが登録されている必要があります。

マップモニターを使用する場合は、使用するマップを登録する必要があります。マップは100件まで登録できます。ここではマップの追加／修正／削除について説明します。

マップを追加する

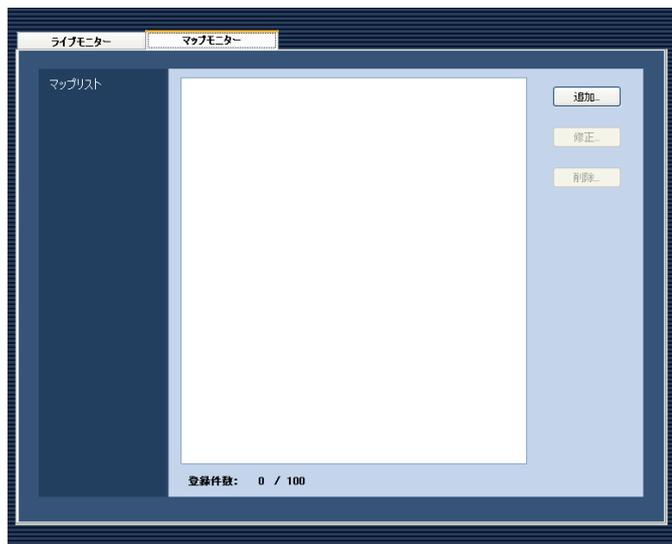
STEP1

[モニター] ボタンをクリックします。



STEP2

[マップモニター] タブをクリックします。
→マップモニター画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■マップリスト

登録されたマップを一覧表示します。

■登録件数

登録されたマップの件数を表示します。

■ [追加...] ボタン

マップ登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

マップリストで選択されたマップのマップ登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

マップリストで選択されたマップを削除します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→マップ登録画面が表示されます。



メモ

- すでに100件登録済みの場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

モニターに関する設定（つづき）

画面の説明は以下のとおりです。

■マップ名

マップ名を入力します。マップ名は16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。マップ名は重複できません。

■マップ選択

[選択...] ボタンをクリックすると、マップ選択画面が表示されます。マップに登録する画像ファイルを選択します。

■カメラ選択

登録されている機器の一覧をツリーで表示します。

■登録件数（カメラ選択）

マップ上に登録されたカメラの件数を表示します。カメラは64件まで登録することができます。

■マップ選択

登録されているマップの一覧を表示します。

■登録件数（マップ選択）

マップ上に登録されたマップの件数を表示します。マップは20件まで登録することができます。

■マップ表示エリア

画像ファイルを表示します。

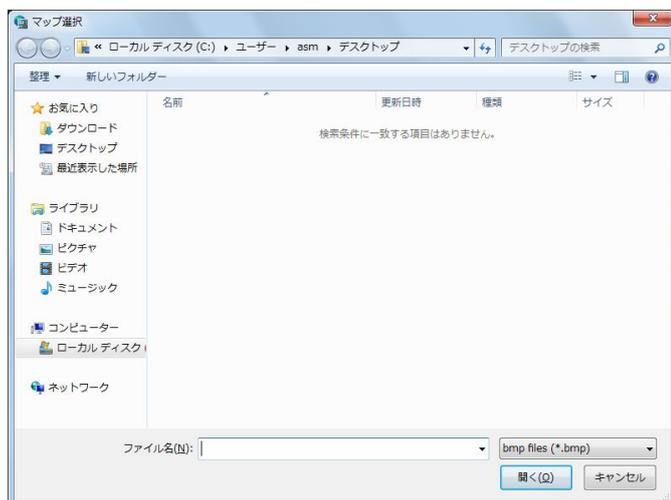
■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

[選択...] ボタンをクリックします。

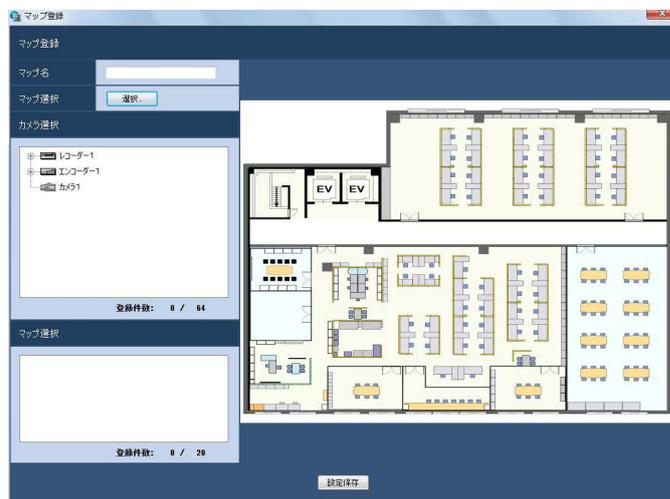
→マップ選択画面が表示されます。



STEP5

表示したい画像ファイルを選択し、[開く(O)] ボタンをクリックします。

→マップ表示エリアに選択した画像ファイルが表示されます。



STEP6

「カメラ選択」で配置したいカメラをマップ表示エリアへドラッグ&ドロップしてカメラアイコンを配置します。

「マップ選択」で配置したいマップをマップ表示エリアへドラッグ&ドロップしてマップアイコンを配置します。

メモ

- カメラアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、カメラを調整できます。詳しくは、「カメラアイコンの設定を変更する」(P.104ページ)をお読みください。
- すでにカメラアイコンが64件登録済みの場合、カメラアイコンをドラッグ&ドロップできません。
- すでにマップアイコンが20件登録済みの場合、マップアイコンをドラッグ&ドロップできません。

STEP7

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。

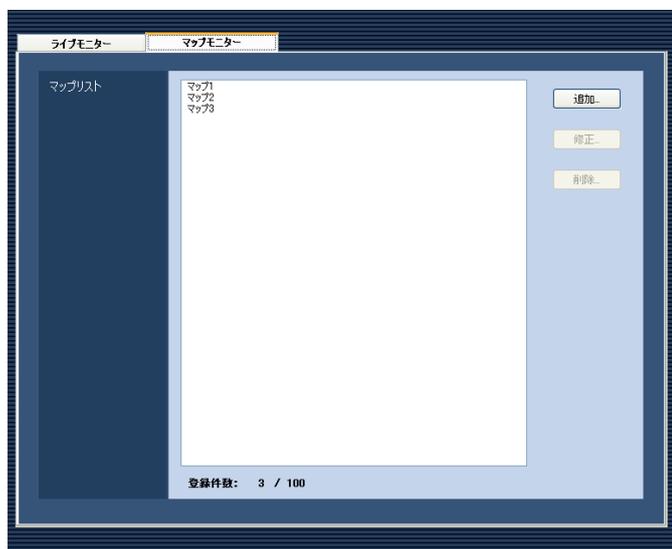
→設定が保存され、マップ登録画面が閉じます。「マップリスト」にマップが追加されます。

モニターに関する設定（つづき）

マップを修正する

STEP1

マップモニター画面を表示します。(☞101ページ)



STEP2

マップリストから修正するマップを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。

→マップ登録画面が表示されます。



STEP3

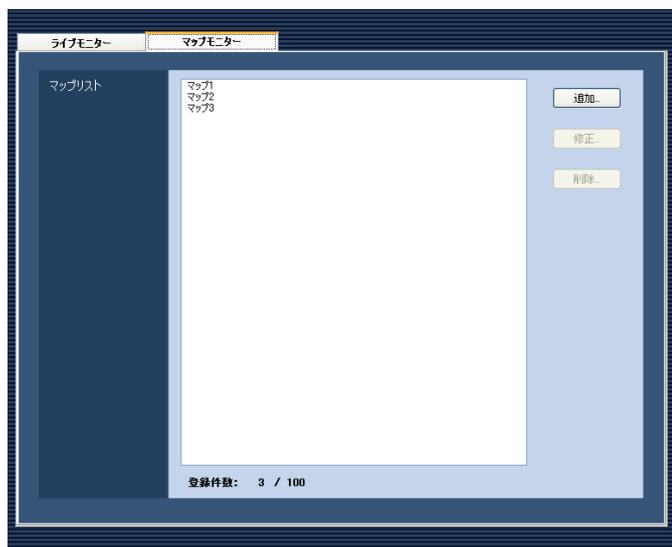
情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「マップを追加する」(☞101ページ)をお読みください。

→設定が保存され、マップ登録画面が閉じます。

マップを削除する

STEP1

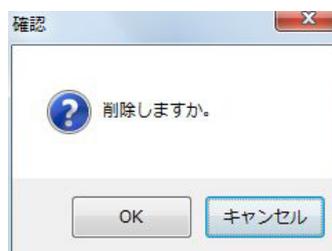
マップモニター画面を表示します。(☞101ページ)



STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。

→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

→マップ情報が削除されます。

STEP2

マップリストから削除するマップを選択します。

重要

- 削除対象のマップが別のマップにマップアイコンとして登録されている状態で、[OK] ボタンをクリックした場合、マップアイコンを削除します。

モニターに関する設定（つづき）

カメラアイコンの設定を変更する

マップに登録されたカメラアイコンの向きを調整したり、標準添付のカメラアイコンをユーザーが用意したカメラアイコンに変更したり、削除できます。

登録されているカメラアイコンを右クリックすると、ポップアップメニュー [カメラアイコン向き]、[カメラアイコン選択]、[カメラアイコン削除] が表示されます。



■カメラアイコン向き

選択されたカメラアイコン上で、ポップアップメニュー [カメラアイコン向き] にカーソルを合わせ下記の方法を選択すると、カメラアイコンの向きを変更することができます。

- 上 : 選択されたカメラアイコンの向きを上に変更します。
- 下 : 選択されたカメラアイコンの向きを下に変更します。
- 左 : 選択されたカメラアイコンの向きを左に変更します。
- 右 : 選択されたカメラアイコンの向きを右に変更します。
- 左上 : 選択されたカメラアイコンの向きを左上に変更します。
- 右上 : 選択されたカメラアイコンの向きを右上に変更します。
- 左下 : 選択されたカメラアイコンの向きを左下に変更します。
- 右下 : 選択されたカメラアイコンの向きを右下に変更します。

メモ

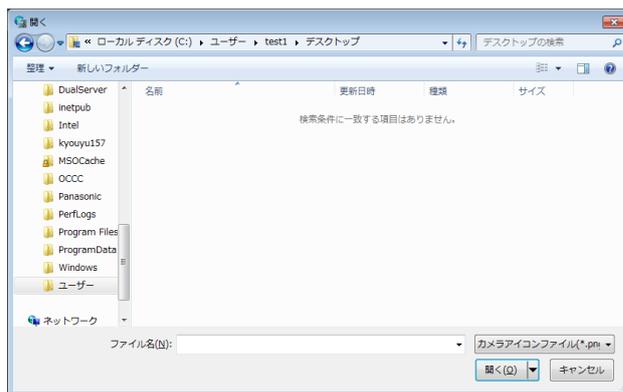
- ユーザーが用意したカメラアイコンに変更した場合、カメラアイコンの向きは変更できません。

■カメラアイコン選択

選択されたカメラアイコン上で、ポップアップメニュー [カメラアイコン選択] を選択すると、カメラアイコンをユーザーの作成した任意のアイコンに変更することができます。

STEP 1

カメラアイコン選択メニューを選択します。
→ファイルを開く画面が表示されます。



STEP 2

変更するアイコンファイルを選択して、[開く(O)] ボタンをクリックします。
→マップ表示エリアのカメラアイコンが変更されます。

メモ

- 読み込み可能なファイルの種類はPNGファイルです。
- 16x16ピクセルより小さいファイルまたは128x128ピクセルより大きいファイルは読み込めません。
- アラーム発生時または障害発生時、マップ上のアイコン表示状態は標準添付されているカメラアイコンとは異なります。
- 一度変更したカメラアイコンは元に戻せません。いったん削除して再度カメラアイコンを配置してください。

■カメラアイコン削除

選択されたカメラアイコン上で、ポップアップメニュー [カメラアイコン削除] を選択すると、カメラアイコンを削除することができます。

顔検索に関する設定

重要

- 機能拡張ソフトウェアWV-ASE231のライセンスが登録されている必要があります。

顔検索サーバーを追加する

事前準備

顔検索サーバーを追加する前に、以下の準備および設定を行ってください。

- (1) 顔検索に使用するカメラをASM200へ登録。検索結果などから録画映像再生を行う場合は、接続するカメラをレコーダーへ登録し、そのレコーダーをASM200へ登録します。
- (2) 接続する顔検索サーバーへカメラを登録。登録する際、カメラのGUIDを以下の形式で登録してください。
GUID形式：「00000000-0000-0000-0000- [カメラのIPアドレス12桁]」
(例) 登録するカメラIPアドレスが「192.168.0.10」である場合、GUIDを「00000000-0000-0000-0000-192168000010」で登録。
- (3) 顔検索サーバーを稼働状態にします。

STEP1

[顔検索] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

[サーバー設定] タブをクリックします。
→顔検索サーバーの機器リスト画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■機器リスト

登録された顔検索サーバーのタイトル、機種、アドレスを一覧表示します。

■登録件数

登録された顔検索サーバーの台数を表示します。

■ [追加...] ボタン

機器登録画面を表示します。

■ [修正...] ボタン

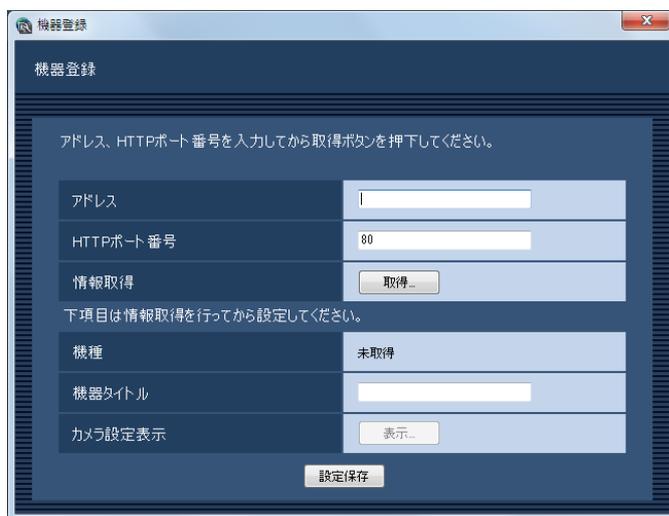
機器リストで選択された顔検索サーバーの機器登録画面を表示します。

■ [削除...] ボタン

機器リストで選択された顔検索サーバーを削除します。

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大台数を登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

顔検索に関する設定（つづき）

画面の説明は以下のとおりです。

■アドレス

顔検索サーバーのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。

■HTTPポート番号

HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。

1～65535

お買い上げ時の設定：80

■ [取得...] ボタン

「アドレス」「HTTPポート番号」に入力した条件で機器情報を取得します。

■機種

機器情報の取得時に顔検索サーバーから取得した顔検索サーバーの機種を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■機器タイトル

顔検索サーバー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の! \$ % ' < = > @ [¥] ^ _ ` { | } は使用できません。

■ [表示...] ボタン

取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP4

「アドレス」「HTTPポート番号」を入力します。

STEP5

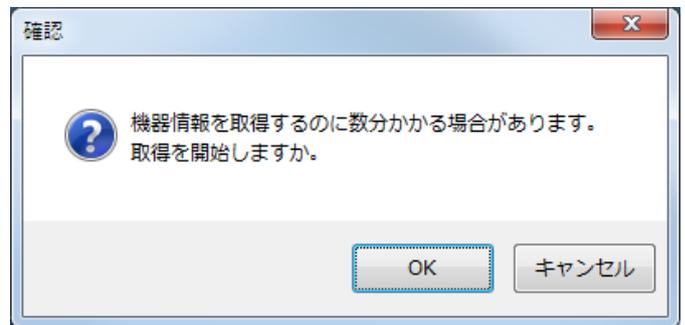
[取得...] ボタンをクリックします。

重要

- 機器情報の取得をする前に、顔検索サーバー本体のセットアップメニューの「ネットワークカメラ設定」を必ず行ってください。顔検索サーバーが正しく設定されていないと、顔検索サーバーの情報を取得できません。
- 顔検索サーバー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

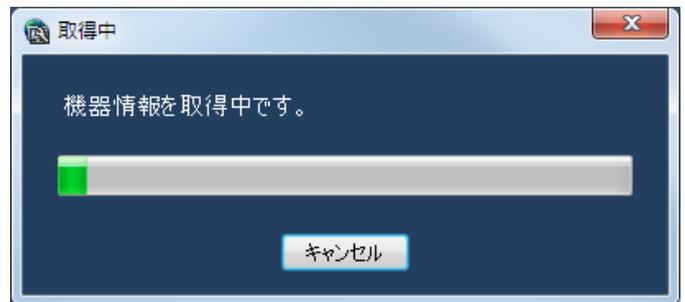
STEP6

[OK] ボタンをクリックします。



→機器情報取得中画面が表示されます。

機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

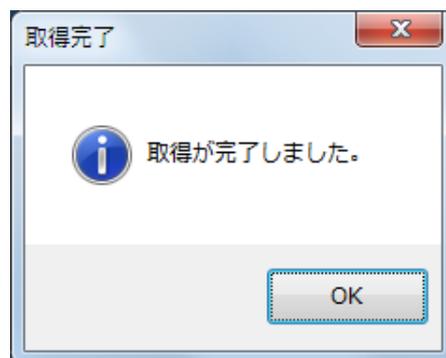


STEP7

画面表示を確認し、次のSTEPに進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. [OK] ボタンをクリックします。



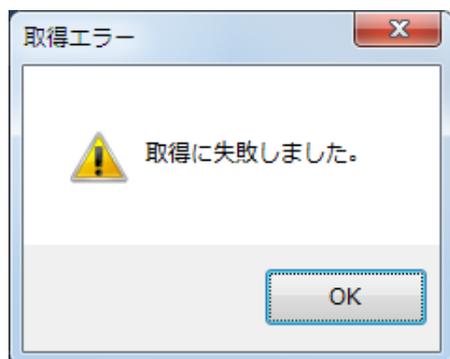
→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. STEP8へ進みます。

顔検索に関する設定（つづき）

<機器情報の取得が失敗した場合>

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。



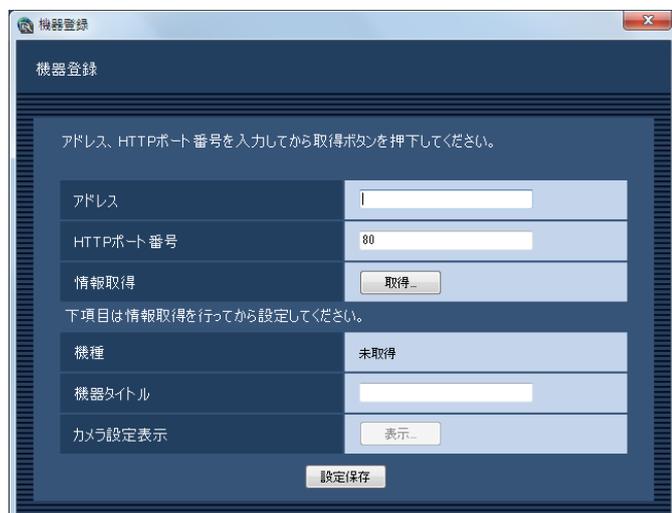
メモ

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」(P.4 ページ)をお読みください。
- 表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「機器登録画面の「取得...」ボタンクリック時」(P.157ページ)をお読みください。

2. [OK] ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。
4. 再度、機器情報を取得します。

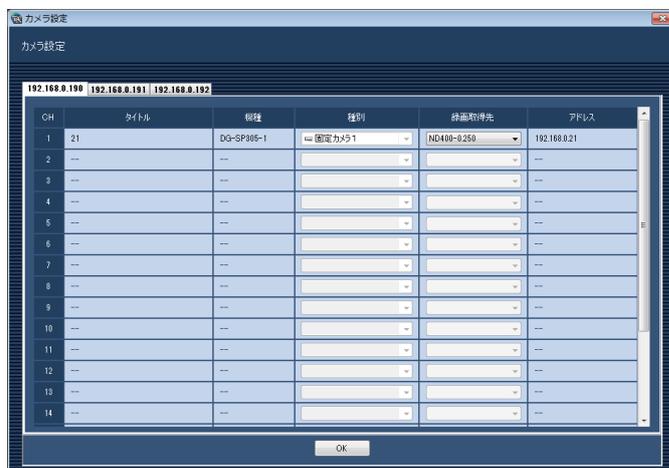
STEP8

「機器タイトル」を入力します。



STEP9

- [表示...] ボタンをクリックします。
→ カメラ設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■子サーバータブ

子サーバーごとに情報を切り換えます。
本タブには子サーバーのIPアドレスが表示されます。

■CH

チャンネル番号が表示されます。

■タイトル

顔検索サーバーが使用するカメラ名を表示します。表示名は“録画取得先”として設定した機器の名称を表示します。表示した名称は変更できません。

■機種

顔検索サーバーが使用するカメラ機種を表示します。機種は“録画取得先”として設定した機種を表示します。表示した機種は変更できません。

■種別

顔検索サーバーが使用するカメラの種別とアイコンを表示します。種別は“映像取得先”として設定した機器の情報を表示します。表示したアイコンは変更できません。

顔検索に関する設定（つづき）

■録画取得先

顔検索サーバーから取得したカメラと、ASM200に登録済みのカメラまたはレコーダー登録カメラとのひも付けを行います。顔検索サーバーから取得したカメラIPアドレス情報と一致する候補から機器を選択できます。ASM200のカメラおよびレコーダー設定手順にしたがって事前に機器を登録しておく必要があります。顔検索モニターの操作により録画映像の再生を行う場合は、この設定でレコーダー登録カメラを選択してください。

■アドレス

顔検索サーバーから取得したカメラのアドレスを表示します。

STEP10

[設定保存] ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。機器リストにカメラが追加されます。

顔検索サーバーを修正する

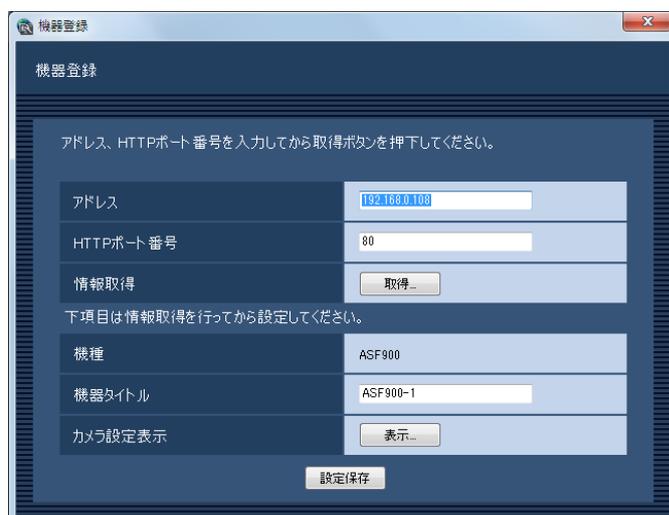
STEP1

顔検索サーバーの機器リスト画面を表示します。
([105ページ](#))



STEP2

機器リストから修正する顔検索サーバーを選択し、[修正...] ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。



STEP3

情報を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。各項目については「顔検索サーバーを追加する」([105ページ](#))をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

顔検索に関する設定（つづき）

顔検索サーバーを削除する

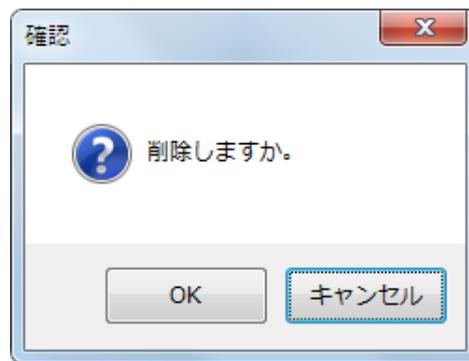
STEP1

顔検索サーバーの機器リスト画面を表示します。
([105ページ](#))



STEP3

[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

STEP2

機器リストから削除する顔検索サーバーを選択します。

顔検索モニターの動作設定をする

STEP1

[顔検索] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP2

[動作設定] タブをクリックします。
→顔検索モニターの動作設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■顔検索モニター 初期画面

顔検索モニターの起動直後に表示する画面の種別を選択します。

アラーム : アラーム画面で表示します。

アラーム検索 : アラーム検索画面で表示します。

顔検索 : 顔検索画面で表示します。

年齢・性別 : 年齢・性別で表示します。

お買い上げ時の設定 : 顔検索

■顔検索モニター自動起動

顔検索モニターが表示されていない状態で顔検索サーバーからアラームを受信した場合、顔検索モニターを自動で起動するかどうかを選択します。

ON : 自動起動します。

OFF : 自動起動しません。

お買い上げ時の設定 : ON

顔検索に関する設定（つづき）

■年齢・性別タブ

年齢・性別、人数の統計グラフを表示するかどうかを選択します。

ON : 表示します。

OFF : 表示しません。

お買い上げ時の設定：OFF

■重要人物一覧表示

顔検索モニターのアラーム通知画面に常時表示設定した顔画像を表示するかどうか選択します。

ON : 表示します。

OFF : 表示しません。

お買い上げ時の設定：OFF

■顔アラーム削除確認画面

顔照合アラーム削除時に、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ON : 確認画面を表示します。

OFF : 確認画面を表示しません。

お買い上げ時の設定：ON

メモ

- 顔照合アラーム削除確認画面で「今後、このメッセージを表示しない」にチェックした場合、この設定は自動的に「OFF」に切り換わります。

■【設定保存】ボタン

設定された内容を保存します。

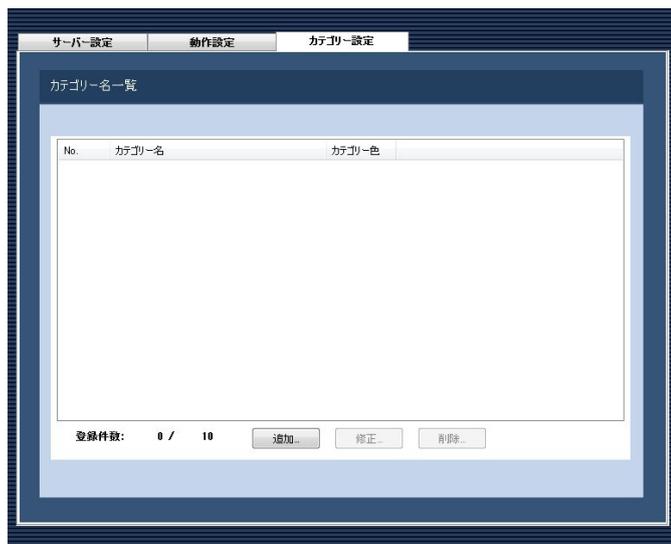
カテゴリー名を追加する

STEP 1

[顔検索] ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

STEP 2

[カテゴリー設定] タブをクリックします。
→カテゴリー名一覧画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■カテゴリー名一覧リスト

登録されたカテゴリー名の番号、カテゴリー名、カテゴリー色を一覧表示します。

■登録件数

登録されたカテゴリー数を表示します。
カテゴリーは10件まで登録できます。

■【追加...】ボタン

カテゴリー名登録画面を表示します。

■【修正...】ボタン

カテゴリー名一覧リストで選択されたカテゴリー名を、カテゴリー名登録画面で表示します。

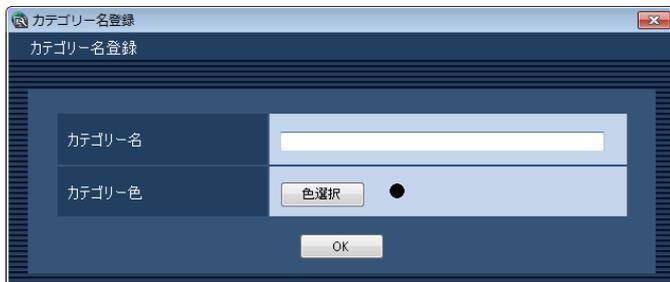
■【削除...】ボタン

カテゴリー名一覧リストで選択されたカテゴリー名を削除します。

顔検索に関する設定（つづき）

STEP3

[追加...] ボタンをクリックします。
→カテゴリ名登録画面が表示されます。



メモ

- すでに最大数のカテゴリを登録している場合は、[追加...] ボタンをクリックできません。

STEP4

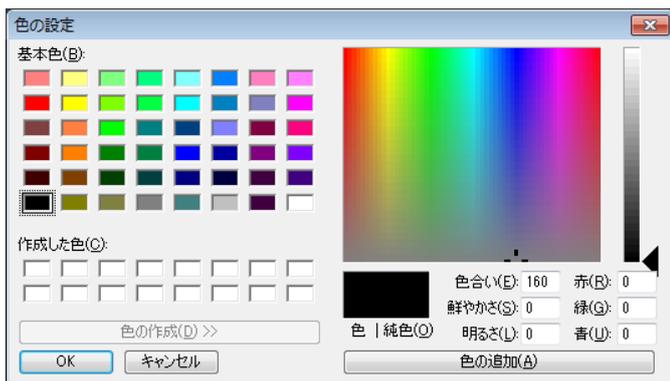
カテゴリ名を入力します。

メモ

- カテゴリ名は最大16文字まで入力可能です。

STEP5

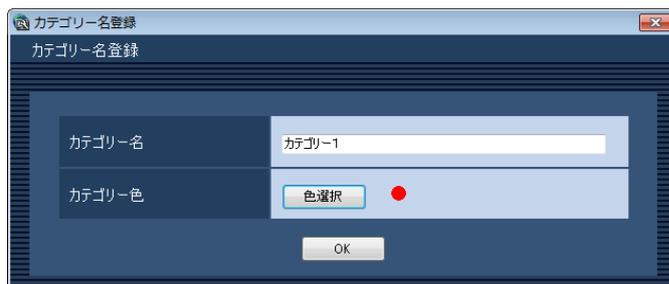
カテゴリに色を設定するため、[色選択] ボタンをクリックします。
→色の設定画面が表示されます。



設定したい基本色を選択または色の追加を行い、[OK] ボタンをクリックします。

→カテゴリ名登録画面に戻ります。

[色選択] ボタンの右側に、設定した色が○で表示されます。



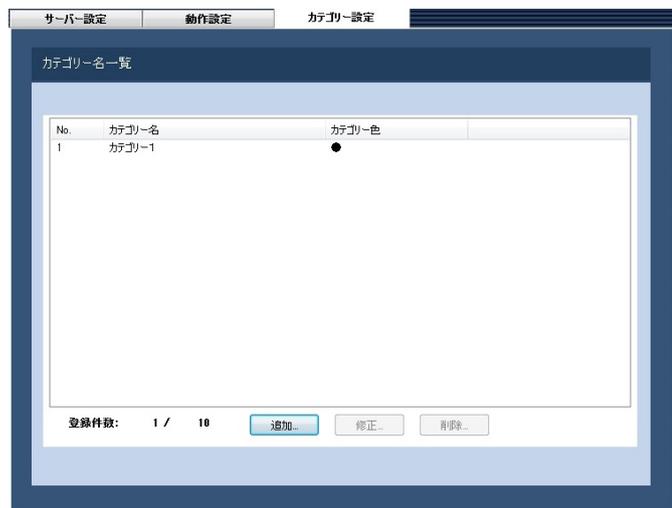
STEP6

[OK] ボタンをクリックします。
→入力内容が保存され、カテゴリ名登録画面が閉じます。カテゴリ名一覧リストにカテゴリ名が追加されます。

カテゴリ名を修正する

STEP1

カテゴリ名一覧画面を表示します。（[110ページ](#)）



STEP2

カテゴリ名一覧リストから修正するカテゴリ名を選択し、[修正...] ボタンをクリックします。
→カテゴリ名登録画面が表示されます。



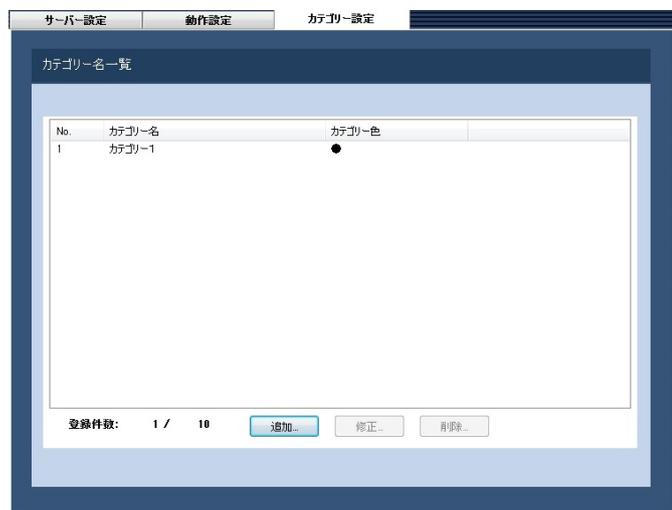
STEP3

カテゴリ名を編集し、[OK] ボタンをクリックします。
→編集内容が保存され、カテゴリ名登録画面が閉じます。カテゴリ名一覧リストに編集したカテゴリ名が表示されます。

カテゴリ名を削除する

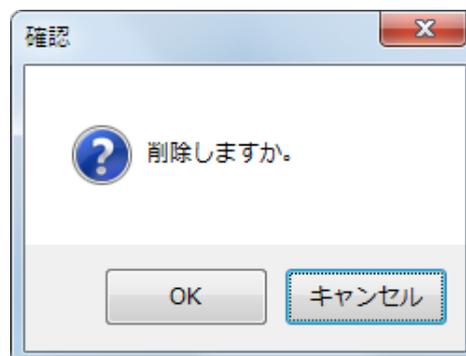
STEP1

カテゴリ名一覧画面を表示します。（[110ページ](#)）



STEP2

カテゴリ名一覧リストから削除するカテゴリ名を選択し、[削除...] ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。
→カテゴリ名が削除されます。

イベント動作に関する設定

アラーム発生、または障害発生時の動作について設定します。監視中の異常については、以下の「アラーム発生時の動作を設定する [アラーム設定]」をお読みください。レコーダー/エンコーダー/カメラ/マイクなど接続機器の異常および、ネットワークの異常については「障害発生時の動作を設定する [障害設定]」(P.115ページ)をお読みください。

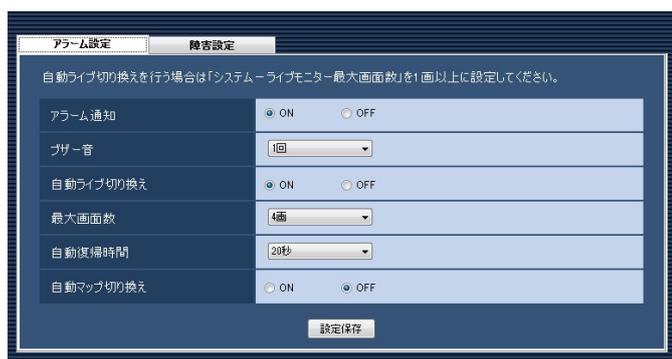
アラーム発生時の動作を設定する [アラーム設定]

アラーム発生時の動作には、メッセージを表示する、アラーム発生音を鳴らす、アラームが発生したカメラのライブ画像へ表示画面を自動的に切り換える、の3つがあります。

メモ

- 機器からのアラーム通知を受信する場合は、「独自アラーム設定」を設定してください。詳しくは「通信に関する設定」(P.116ページ)および、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

アラーム設定は、[イベント動作] ボタンをクリックし、[アラーム設定] タブをクリックして、アラーム設定画面を表示して行います。



■アラーム通知

アラーム発生時、画面にアラームメッセージを表示するかどうかを選択します。

- ON : メッセージを表示します。
- OFF : メッセージを表示しません。

お買い上げ時の設定 : ON

■ブザー音

アラーム発生時、アラーム発生音を鳴らすかどうかを選択します。

- OFF : アラーム発生音を鳴らしません。
- 1回 : アラーム発生音を1回鳴らします。
- 連続 : アラーム発生音を連続で鳴らします。

お買い上げ時の設定 : 1回

メモ

- ブザー音の出力時間は設定できません。

■自動ライブ切り換え (WV-ASE201のライセンスを追加したとき有効になります)

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えるかどうかを選択します。

- ON : 自動ライブ切り換えします。
- OFF : 自動ライブ切り換えしません。

お買い上げ時の設定 : OFF

メモ

- 「自動ライブ切り換え」を「ON」に設定する場合は、「ライブモニター最大画面数」を「-」以外に設定してください。設定については「システムに関する設定」(P.27ページ)をお読みください。

イベント動作に関する設定（つづき）

■最大画面数（WV-ASE201のライセンスを追加したとき有効になります）

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えたときに表示する画面数を選択します。この設定は「自動ライブ切り換え」を「ON」にしないと選択できません。

- 1画 : 1画を表示します。
- 3A画 : 3A分割表示します。
- 3B画 : 3B分割表示します。
- 4画 : 4分割表示します。
- 6画 : 6分割表示します。
- 7画 : 7分割表示します。
- 9画 : 9分割表示します。
- 10画 : 10分割表示します。
- 13画 : 13分割表示します。
- 16画 : 16分割表示します。

以下はWV-ASE202ライセンス追加時有効となります。

- 25画 : 25分割表示します。
- 36画 : 36分割表示します。
- 49画 : 49分割表示します。
- 64画 : 64分割表示します。

お買い上げ時の設定：4画

■自動復帰時間（WV-ASE201のライセンスを追加したとき有効になります）

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えた後、元のカメラ画像に復帰するまでの時間を以下から選択します。

OFF / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 5分

お買い上げ時の設定：20秒

メモ

- 「OFF」に設定した場合、自動復帰しません。復帰方法について詳しくは、「WV-ASM200取扱説明書 運用編」をお読みください。

■自動マップ切り換え（WV-ASE201のライセンスを追加したとき有効になります）

アラーム発生時、アラームが発生したカメラが登録されているマップに切り換えるかどうかを選択します。

- ON : 自動マップ切り換えします。
- OFF : 自動マップ切り換えしません。

お買い上げ時の設定：OFF

メモ

- 「ON」に設定した場合でも、アラームが連続して（1秒以内）発生した場合はマップ切り換えを行いません。

■【設定保存】ボタン

設定された内容を保存します。

イベント動作に関する設定（つづき）

障害発生時の動作を設定する [障害設定]

機器障害およびネットワーク障害発生時の動作について設定します。障害発生時の動作として、メッセージを表示する、障害発生音を鳴らす、の2つがあります。

メモ

- 機器障害通知を受信する場合は、「独自アラーム設定」を設定してください。詳しくは「通信に関する設定」(116ページ) および、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

障害設定は、[イベント動作] ボタンをクリックし、[障害設定] タブをクリックして、障害設定画面を表示して行います。



■障害表示

障害発生時、障害メッセージを表示するかどうかを選択します。

ON : メッセージを表示します。

OFF : メッセージを表示しません。

お買い上げ時の設定 : ON

■ブザー音

障害発生時、障害発生音を鳴らすかどうかを選択します。

OFF : 障害発生音を鳴らしません。

1回 : 障害発生音を1回鳴らします。

連続 : 障害発生音を連続で鳴らします。

お買い上げ時の設定 : 1回

メモ

- ブザー音の出力時間は設定できません。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

通信に関する設定

本ソフトウェアの通信関連を設定します。

通信環境を設定する [基本設定]

[通信] ボタンをクリックし、[基本設定] タブをクリックして、基本設定画面を表示します。ここでは、プロキシやFTP通信関連を設定します。



■プロキシのアドレス

プロキシのアドレスを入力します。アドレスは「.」（ピリオド）および「-」（ハイフン）を含む半角英数字255文字以内で入力します。

■プロキシのポート番号

プロキシのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1～65535です。

■FTPモード

FTPモードをアクティブ／パッシブのどちらかに設定します。

お買い上げ時の設定：アクティブ

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

メモ

- 機器登録画面の「プロキシの使用」項目を「ON」にしても、本画面で「プロキシのアドレス」と「プロキシのポート番号」を入力しないと通信できません。
 - プロキシ機能を利用する場合は、HTTPプロキシサーバーをご使用ください。なお、ダウンロード機能はレコーダーのFTP機能を使用していますが、HTTPプロキシサーバー経由で使用できます。
-

アラーム通知に対する受信ポート番号を設定する [独自アラーム設定]

[通信] ボタンをクリックして、[独自アラーム設定] タブをクリックして、独自アラーム設定画面を表示します。ここでは、アラーム、または障害発生を受信するポート番号を設定します。



■受信

発生したアラームや障害情報を受信するかどうかを選択します。

ON : 受信します。

OFF : 受信しません。

お買い上げ時の設定：ON

■受信ポート番号

独自アラーム受信時に使用するポート番号を入力します。入力可能な範囲は1～65535です。

お買い上げ時の設定：1818

重要

- Windows Vista、Windows 7でファイアウォールを有効にしている場合、「受信ポート番号」で設定したポートを使用できるように設定する必要があります。「ファイアウォールの例外設定」(P.149ページ)の手順にしたがってファイアウォールの例外設定を行ってください。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

コントローラーに関する設定

システムコントローラーからカメラ選択、グループ選択、シーケンス選択をする場合、あらかじめ、使用したいカメラ、グループ、シーケンスに対して、カメラ番号、グループ番号、シーケンス番号の設定が必要になります。

重要

- 機能拡張ソフトウェアWV-ASE201のライセンスが登録されている必要があります。

カメラ番号を設定する [カメラ番号設定]

あらかじめ機器登録されているカメラ名※に対してカメラ番号を設定します。

※カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

カメラ番号を手動設定する

STEP1

[コントローラー] ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■ [自動付与] ボタン

リスト表示されている順にカメラ番号を1から連番で自動付与します。

■ [全クリア] ボタン

リストに表示されているカメラ番号をすべてクリアします。

■ [ファイル出力] ボタン

リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP2

設定したいカメラ名のリストを選択し、カメラ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。



STEP3

設定したいカメラ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

STEP4

[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定（つづき）

カメラ番号を自動設定する

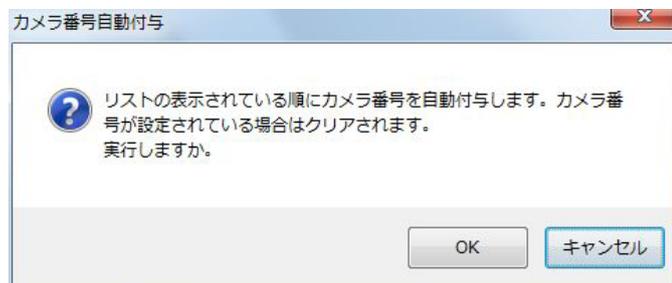
STEP1

カメラ番号設定画面を表示します。（[図 118](#)ページ）



STEP2

[自動付与] ボタンをクリックします。
→カメラ番号自動付与確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。
→表示しているリスト順にカメラ番号を自動的に付与します。



STEP4

[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定 (つづき)

カメラ番号リストをファイル出力する

STEP1

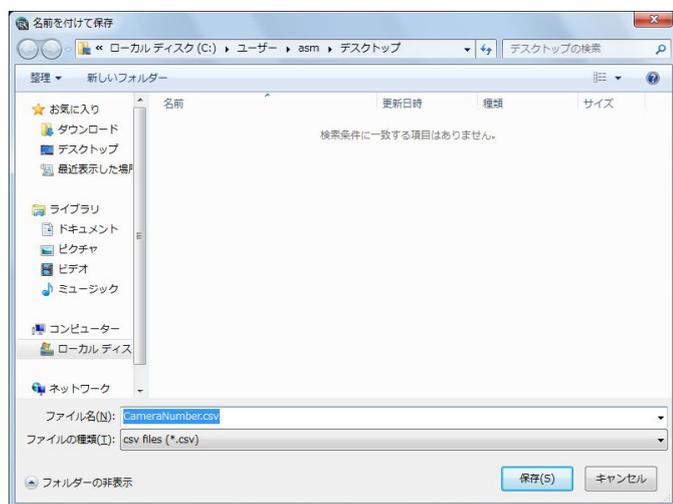
カメラ番号設定画面を表示します。(※118ページ)



STEP2

[ファイル出力] ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP3

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。

→カメラ番号リストをCSV形式で保存します。

コントローラーに関する設定（つづき）

グループ番号を設定する [グループ番号設定]

あらかじめグループ登録されているグループ名に対してグループ番号を設定します。

グループ番号を手動設定する

STEP1

[コントローラー] ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。



STEP2

[グループ番号設定] タブをクリックします。
→グループ番号設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■ [自動付与] ボタン

リスト表示されている順にグループ番号を1から連番で自動付与します。

■ [全クリア] ボタン

リストに表示されているグループ番号をすべてクリアします。

■ [ファイル出力] ボタン

リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP3

設定したいグループ名のリストを選択し、グループ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。



STEP4

設定したいグループ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

STEP5

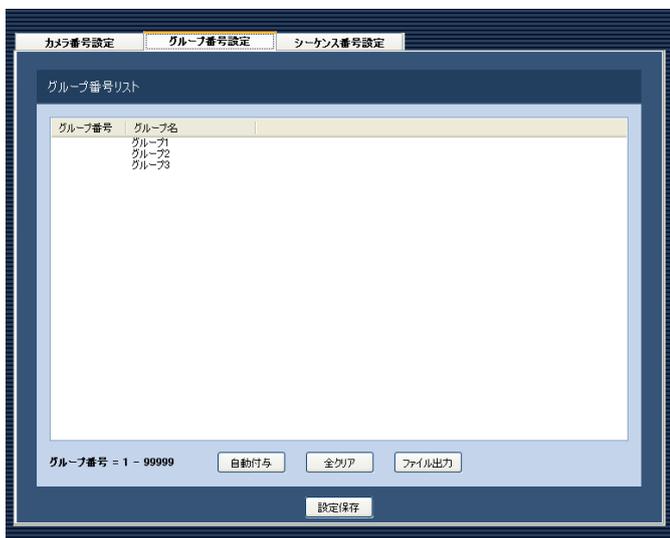
[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定（つづき）

グループ番号を自動設定する

STEP1

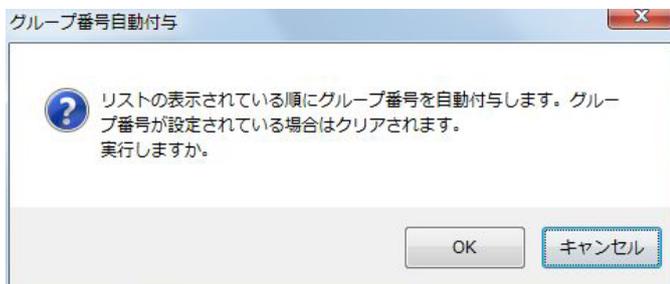
グループ番号設定画面を表示します。（[121ページ](#)）



STEP2

[自動付与] ボタンをクリックします。

→グループ番号自動付与確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→表示しているリスト順にグループ番号を自動的に付与します。



STEP4

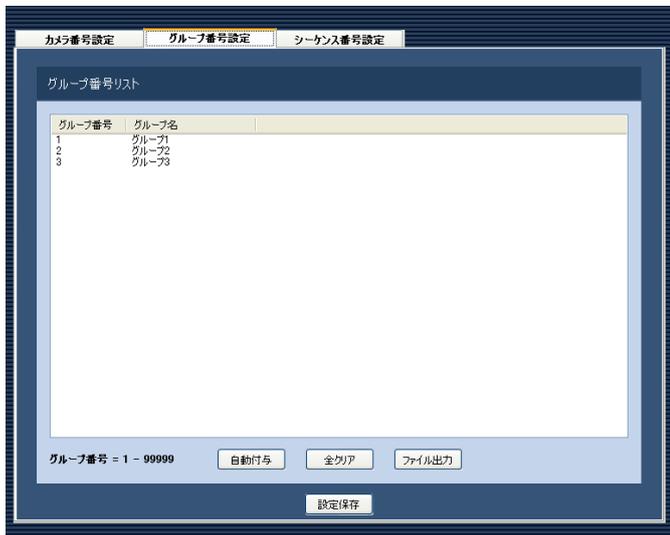
[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定 (つづき)

グループ番号リストをファイル出力する

STEP1

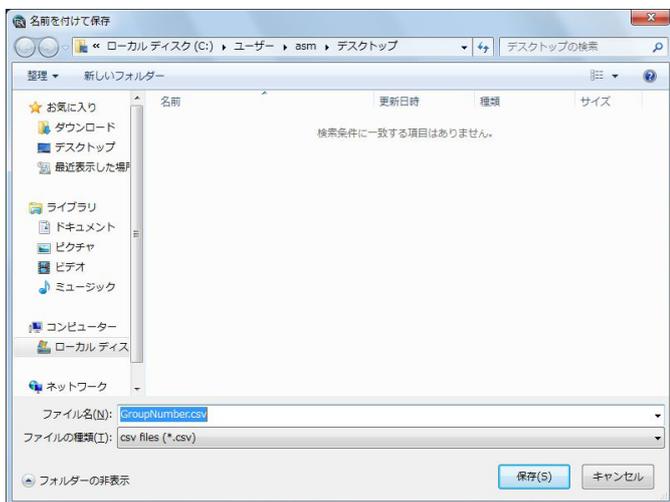
グループ番号設定画面を表示します。(121ページ)



STEP2

[ファイル出力] ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP3

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。

→グループ番号リストをCSV形式で保存します。

コントローラーに関する設定（つづき）

シーケンス番号を設定する [シーケンス番号設定]

あらかじめシーケンス登録されているシーケンス名に対してシーケンス番号を設定します。

シーケンス番号を手動設定する

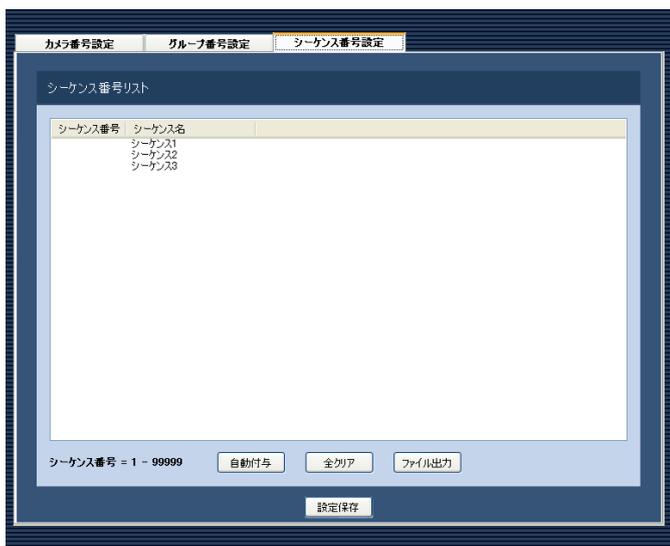
STEP1

[コントローラー] ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。



STEP2

[シーケンス番号設定] タブをクリックします。
→シーケンス番号設定画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■ [自動付与] ボタン

リスト表示されている順にシーケンス番号を1から連番で自動付与します。

■ [全クリア] ボタン

リストに表示されているシーケンス番号をすべてクリアします。

■ [ファイル出力] ボタン

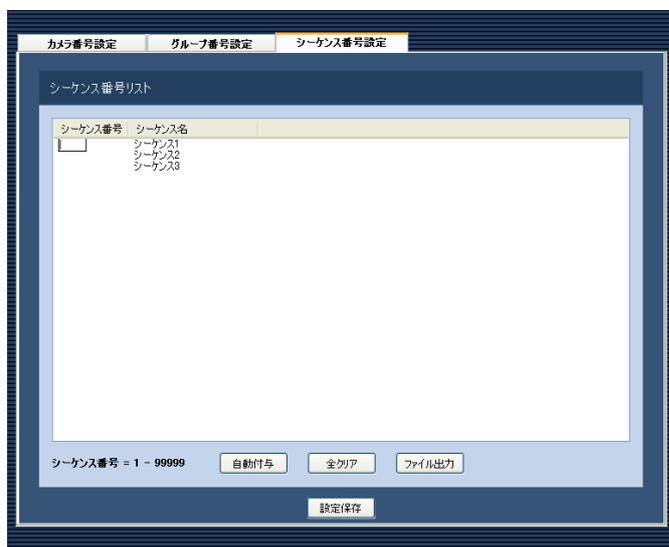
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■ [設定保存] ボタン

設定された内容を保存します。

STEP3

設定したいシーケンス名のリストを選択し、シーケンス番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。



STEP4

設定したいシーケンス番号を入力します。
入力可能な範囲は1~99999です。

STEP5

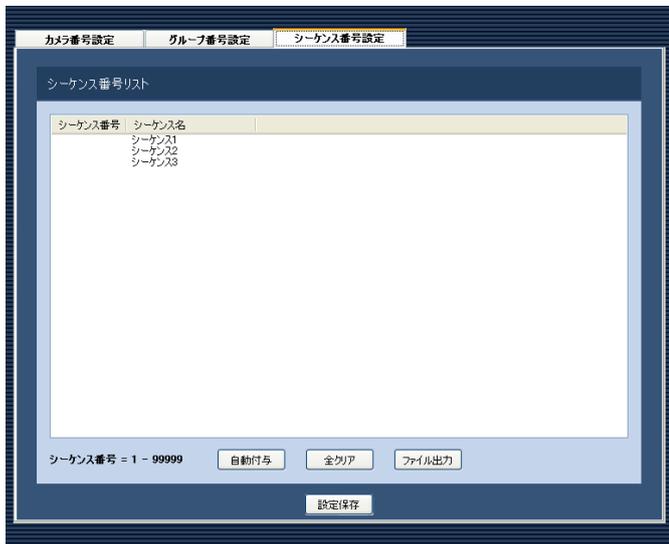
[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定（つづき）

シーケンス番号を自動設定する

STEP1

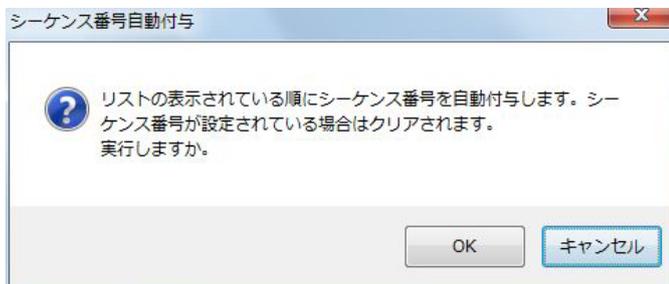
シーケンス番号設定画面を表示します。(124ページ)



STEP2

[自動付与] ボタンをクリックします。

→シーケンス番号自動付与確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→表示しているリスト順にシーケンス番号を自動的に付与します。



STEP4

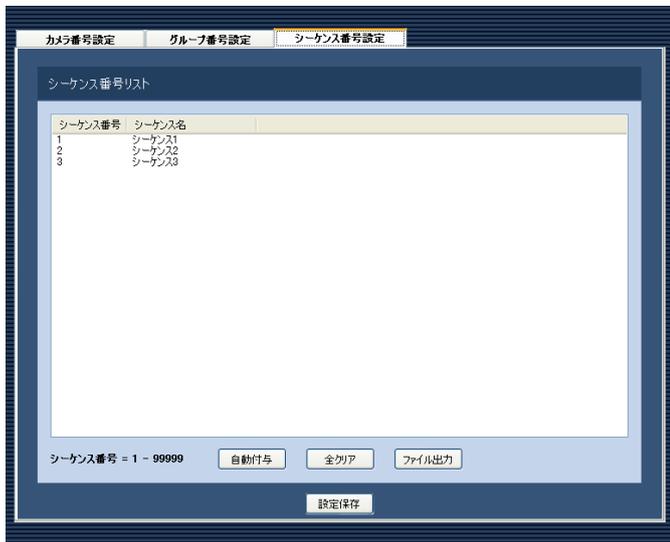
[設定保存] ボタンをクリックします。

コントローラーに関する設定 (つづき)

シーケンス番号リストをファイル出力する

STEP1

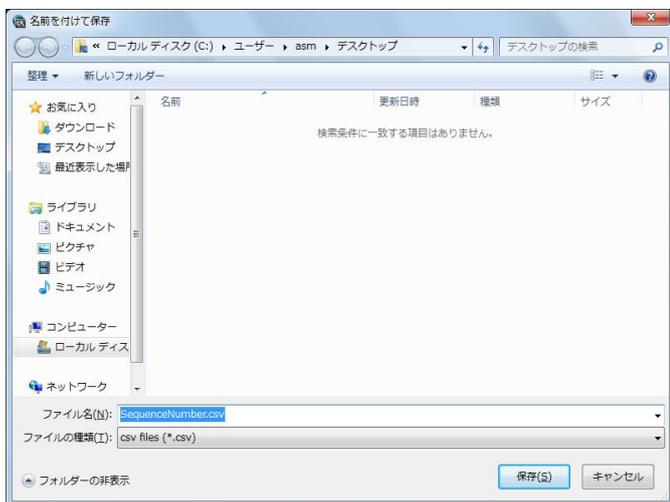
シーケンス番号設定画面を表示します。(124ページ)



STEP2

[ファイル出力] ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP3

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。

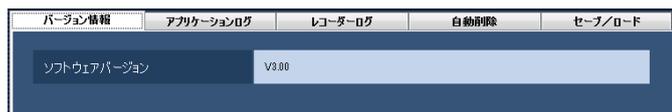
→シーケンス番号リストをCSV形式で保存します。

メンテナンスに関する設定

アプリケーションログの表示／保存と、設定ソフトウェアの設定内容のセーブ／ロード／初期化について説明します。

バージョン情報を表示する [バージョン情報]

[メンテナンス] ボタンをクリックし、[バージョン情報] タブをクリックして、バージョン情報画面を表示します。



■ソフトウェアバージョン

本ソフトウェアのバージョンを表示します。

アプリケーションログを表示／保存する [アプリケーションログ]

本ソフトウェアで記録されたアプリケーションログを条件を絞り込んで検索し表示／保存できます。ログ種別によって、表示される項目は異なります。ログを表示するログリスト画面の説明と、記録される主なログ内容については「アプリケーションログリストの説明」(P.130ページ)をお読みください。表示できるログ種別と記録する内容は以下のとおりです。

アラームログ	: 機器から独自アラームで送信されてくるアラーム情報の履歴
機器障害ログ	: 機器から独自アラームで送信されてくる障害情報の履歴
ネットワーク障害ログ	: 本ソフトウェアと機器とのネットワーク障害履歴
システムログ	: 本ソフトウェアのシステム情報履歴
操作ログ	: 本ソフトウェアの操作履歴

メモ

- アプリケーションログは最大登録件数までログを記録します。最大登録件数を超えると、古い日時のログから削除します。ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」(P.130ページ)をお読みください。

アプリケーションログを表示する

各種のログを表示するには、ログ種別を選択して表示します。

STEP1

[メンテナンス] ボタンをクリックします。

メンテナンスに関する設定（つづき）

STEP2

[アプリケーションログ] タブをクリックします。
→アプリケーションログ画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■ログ種別

表示するログ種別を以下から選択します。

- アラームログ／機器障害ログ／
 - ネットワーク障害ログ／システムログ／操作ログ
- お買い上げ時の設定：アラームログ

■期間指定

検索条件として期間を指定するかどうかを選択します。

- する：指定します。
- しない：指定しません。

お買い上げ時の設定：しない

■開始日時

参照する期間の開始日時を選択します。

■終了日時

参照する期間の終了日時を選択します。

■ [表示] ボタン

選択期間内のログを検索し、ログリストに検索結果を表示します。

■ [一括...] ボタン

「ログ種別」で選択したログのすべてのログを、CSV形式で保存します。

■ [期間指定...] ボタン

「ログ種別」で選択したログの「開始日時」～「終了日時」で指定した期間分のログをCSV形式で保存します。

■ [リスト...] ボタン

ログリストに表示されているログを、CSV形式で保存します。

■ログリスト

ログの内容を表示します。ログリストは1000件まで表示できます。

メモ

- ログ種別によって、リストに表示される内容が異なります。詳しくは、「アプリケーションログリストの説明」(130ページ)をお読みください。

■検索該当件数

検索条件に該当するログ件数を表示します。

■リスト件数

現在、「ログリスト」に表示されているログの件数を表示します。

STEP3

アプリケーションログの参照期間を選択し、[表示] ボタンをクリックします。

→ログリストが表示されます。



メンテナンスに関する設定（つづき）

アプリケーションログを保存する

ログリストに表示されたログは任意のディレクトリにCSV形式で保存できます。保存方法は以下のとおりです。

- 一括保存 : すべて保存します。
- 期間指定保存 : 指定した期間内分保存します。
- リスト保存 : ログリストに表示されたログを保存します。

STEP 1

アプリケーションログ画面を表示します。



STEP 2

アプリケーションログの参照期間を選択し、[表示] ボタンをクリックします。各項目については「アプリケーションログを表示する」(P.127ページ)をお読みください。

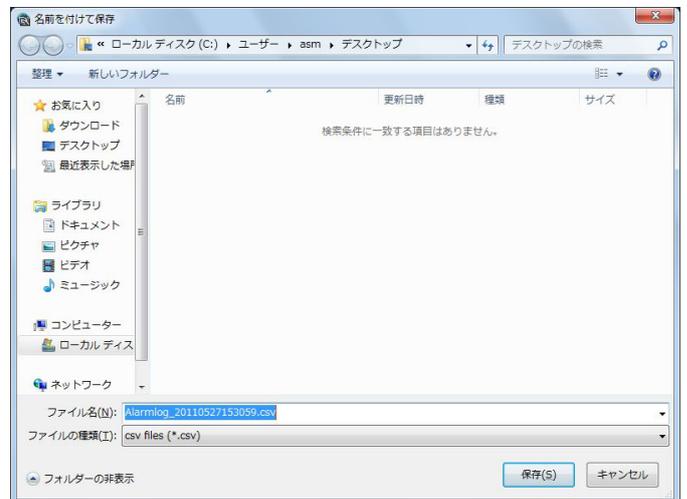
→ログリストが表示されます。



STEP 3

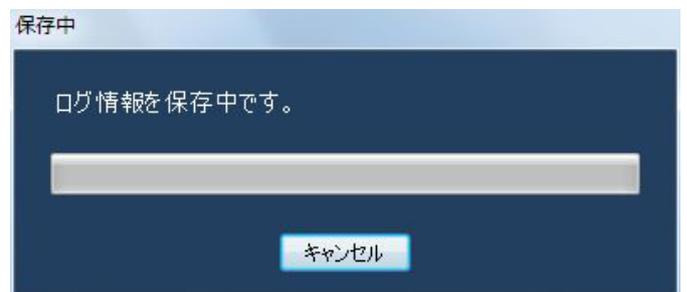
[一括...] ボタン、[期間指定...] ボタン、[リスト...] ボタンから、対象となる保存方法のボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP 4

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。→アプリケーションログ情報保存中画面が表示されます。



保存が終了すると、自動的にアプリケーションログ情報保存中画面を閉じ、アプリケーションログ画面に戻ります。

メモ

- ログを保存するとき、保存対象のログが10000件を超えている場合、ファイルを分割して保存します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

アプリケーションログリストの説明

アラームログ

アラームログはアラーム発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は30000件、最大表示件数は1000件です。

日時	内容	発信元	カメラ
2011/07/26 22:36:15	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:36:03	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:32:47	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:32:35	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:29:51	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:29:49	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:29:21	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:29:10	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:28:10	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:28:48	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:25:14	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:24:52	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:24:39	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:23:23	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:22:38	VMD ALARM	--	SP306
2011/07/26 22:22:25	VMD ALARM	--	SP306

■日時

アラームの発生日時を表示します。

■内容

アラーム内容を表示します。

■発信元

アラームが発生した機器名を表示します。

メモ

- アラームが発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

アラームが発生したカメラ名を表示します。

メモ

- アラームが発生した機器が、カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

機器障害ログ

機器障害ログは機器障害発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は1000件、最大表示件数は1000件です。

日時	内容	発信元	カメラ
2011/07/27 14:41:59	CAM 5 COMMUNICATION RECOVERED	ND400	SP305
2011/07/27 14:41:59	CAM 39 COMMUNICATION RECOVERED	ND400	nd400-39 sp305j
2011/07/27 14:41:59	CAM 17 COMMUNICATION RECOVERED	ND400	nd400-11 sp305
2011/07/27 14:09:33	CAM 21 COMMUNICATION RECOVERED	ND400	nd400-24 exe-1
2011/07/27 14:08:54	CAM 21 COMMUNICATION ERROR	ND400	nd400-24 exe-1
2011/07/27 14:07:44	CAM 39 COMMUNICATION ERROR	ND400	nd400-39 sp305j
2011/07/27 14:07:35	CAM 17 COMMUNICATION ERROR	ND400	nd400-11 sp305
2011/07/27 14:07:24	CAM 5 COMMUNICATION ERROR	ND400	SP305

■日時

機器障害の発生日時を表示します。

■内容

機器障害内容を表示します。

■発信元

機器障害が発生した機器名を表示します。

メモ

- 機器障害が発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

機器障害が発生したカメラ名を表示します。

メモ

- 機器障害が発生した機器が、カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

ネットワーク障害ログ

ネットワーク障害ログはネットワーク障害発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は1000件、最大表示件数は1000件です。

The screenshot shows a software interface for configuring and viewing network failure logs. At the top, there are tabs for 'バージョン情報', 'アプリケーションログ', 'レコーダーログ', '自動削除', and 'セブ/ロード'. The 'レコーダーログ' tab is active. Below the tabs, there are several sections:

- ログ種別:** A dropdown menu set to 'ネットワーク障害ログ'.
- 期間指定:** Radio buttons for 'する' (selected) and 'しない'.
- 参照期間/表示:** Fields for '開始日時' (2011/07/28 0:00) and '終了日時' (2011/07/28 0:00), with a '表示' button.
- 保存:** Buttons for '一括...', '期間指定...', and 'リスト...'.
- ログリスト:** A table with columns '日時', '内容', '発信元', and 'カメラ'.

日時	内容	発信元	カメラ
2011/07/28 09:55:37	レコーダー接続復帰	レコーダー-1	--
2011/07/28 09:55:37	レコーダー接続復帰	レコーダー-2	--
2011/07/28 09:55:38	レコーダー接続復帰	レコーダー-3	--
2011/07/28 09:55:20	レコーダー接続エラー	レコーダー-2	--
2011/07/28 09:55:17	レコーダー接続エラー	レコーダー-1	--
2011/07/28 09:55:15	レコーダー接続エラー	レコーダー-3	--
2011/07/28 09:55:01	レコーダー接続復帰	レコーダー-2	--
2011/07/28 09:54:58	レコーダー接続復帰	レコーダー-1	--
2011/07/28 09:54:56	レコーダー接続復帰	レコーダー-3	--
2011/07/28 09:54:49	レコーダー接続エラー	レコーダー-1	--
2011/07/28 09:54:32	レコーダー接続エラー	レコーダー-3	--
2011/07/28 09:54:32	レコーダー接続エラー	レコーダー-2	--
2011/07/28 09:54:07	レコーダー接続復帰	レコーダー-1	--
2011/07/28 09:54:06	レコーダー接続復帰	レコーダー-2	--
2011/07/28 09:54:06	レコーダー接続復帰	レコーダー-3	--

検索該当件数: 25
リスト件数: 25 / 1000

■日時

ネットワーク障害の発生日時を表示します。

■内容

ネットワーク障害内容を表示します。

■発信元

ネットワーク障害が発生した機器名を表示します。

メモ

- ネットワーク障害が発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

ネットワーク障害が発生したカメラ名を表示します。

メモ

- ネットワーク障害が発生した機器が、カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

記録される主なネットワーク障害ログの内容は以下のとおりです。

ログ内容	説明
レコーダー接続復帰	レコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
レコーダー接続エラー	レコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
レコーダー応答異常	レコーダーからの異常を受信したときに記録します。
レコーダーユーザー認証エラー	レコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗したときに記録します。
ユーザー数超過	レコーダーの最大接続数を超過していたため、レコーダーに接続できなかったときに記録します。
ホスト認証エラー	レコーダーへ接続時、ホスト認証に失敗したときに記録します。
エンコーダー接続復帰	エンコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
エンコーダー接続エラー	エンコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ接続復帰	カメラとの接続が復帰したときに記録します。
カメラ接続エラー	カメラとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ応答異常	エンコーダーまたはカメラからの異常を受信したときに記録します。
カメラユーザー認証エラー	エンコーダーまたはカメラへ接続時、ユーザー認証に失敗したときに記録します。
マイク接続エラー	マイクとの接続が失敗したときに記録します。
マイク接続復帰	マイクとの接続が復帰したときに記録します。
ポート番号重複エラー	ポート番号が重複した場合に記録します。ユニキャストで各カメラのポート番号をマニュアルで設定する場合は、重複しないように設定してください。ポート番号の設定についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

メンテナンスに関する設定（つづき）

システムログ

システムログはシステムの動作内容を記録するものです。最大登録件数は1000件、最大表示件数は1000件です。



■日時

動作日時を表示します。

■内容

動作内容を表示します。

■ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■発信元

操作した機器名を表示します。

メモ

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

操作したカメラ名を表示します。

メモ

- 操作したカメラが、カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

操作ログ

操作ログはユーザーが操作した内容を記録するものです。最大登録件数は100000件、最大表示件数は1000件です。



■日時

操作日時を表示します。

■ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■画面

操作した画面名を表示します。

■内容

操作内容を表示します。

■発信元

操作した機器名を表示します。

メモ

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■カメラ

操作したカメラ名を表示します。

メモ

- 操作したカメラが、カメラ設定で「4ストリーム/クロッピングモード」設定が「ON」の場合、カメラ名は「CHタイトル」を表示します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

記録される主なシステムログは以下のとおりです。

ログ内容	説明
運用ソフト起動	運用ソフトウェアを起動したときに記録します。
運用ソフト終了	運用ソフトウェアを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン	ユーザーが運用ソフトウェアにログインしたときに記録します。
運用ソフトユーザーログアウト	ユーザーが運用ソフトウェアからログアウトしたときに記録します。
非対応機器からの独自アラーム受信	対応していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
未登録機器からの独自アラーム受信	登録していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
独自アラーム受信エラー	レコーダーから独自アラーム受信に失敗したときに記録します。
独自アラーム処理エラー	レコーダーから独自アラーム処理に失敗したときに記録します。
操作ログ自動削除失敗	操作ログの自動削除が実行されなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生による運用ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し運用ソフトウェアが再起動したときに記録します。
ライブモニター起動	ライブモニターを起動したときに記録します。
ライブモニター終了	ライブモニターを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、運用ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
独自アラーム受信機能開始失敗	独自アラーム受信処理開始時にエラーが発生したときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応カテゴリー）	独自アラームのカテゴリーが不正なときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応メッセージ）	独自アラームのメッセージIDが不正なときに記録します。
設定ソフト起動	設定ソフトウェアを起動したときに記録します。
設定ソフト終了	設定ソフトウェアを終了したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン	ユーザーが設定ソフトウェアにログインしたときに記録します。
予期せぬエラー発生による設定ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し設定ソフトウェアが再起動したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、設定ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生によるライブモニター再起動	予期せぬエラーが発生しライブモニターが再起動したときに記録します。
ダウンロード失敗（FTP接続失敗）	レコーダーにFTP接続できずダウンロードが失敗したときに記録します。 以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールによりFTP接続ができない。 機器登録時のユーザー名／パスワードがレコーダーの管理者名／パスワードと一致していないため、FTPポートをオープンすることができない。 レコーダーの最大接続数を超過しているため、FTPポートをオープンすることができない。
ダウンロード失敗（FTPログイン失敗）	レコーダーにFTPでログイン失敗したときに記録します。 以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> 機器登録時のユーザー名／パスワードがレコーダーの管理者名／パスワードと一致していないため、FTPログインできない。
ダウンロード失敗（FTP接続数超過）	レコーダーの最大FTP接続数を超過したためダウンロードが失敗したときに記録します。
ダウンロード失敗（その他FTPエラー）	レコーダーへのFTP接続時にエラーが発生したときに記録します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

レコーダーのログを表示／保存する [レコーダーログ]

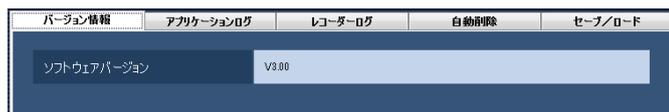
レコーダーごとに蓄積されたログを取得し、表示／保存できます。
表示できるログ種別と記録する内容は以下のとおりです。

障害ログ : レコーダーの障害履歴
アクセスログ : レコーダーへのアクセス履歴
イベントログ : レコーダーのイベント発生履歴
ネットワークログ : レコーダーのネットワーク障害履歴

レコーダーログを取得する

STEP1

[メンテナンス] ボタンをクリックします。
→バージョン情報画面が表示されます。



STEP2

[レコーダーログ] タブをクリックします。
→レコーダーログ画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■レコーダー選択

ログを取得するレコーダーを選択します。

■ [取得] ボタン

[レコーダー選択] で選択した機器のログを取得します。

■ログリスト

レコーダーログの内容を表示します。
すべてのログに「No.」、「日時」、「内容」を表示します。

メモ

- ネットワークログには「プロトコル」も表示します。

■各種ログタブ

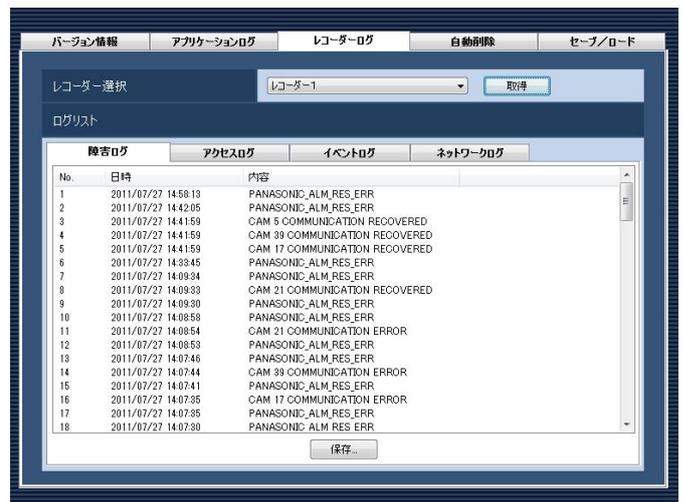
ログ種別ごとのタブを表示します。「障害ログ」、「アクセスログ」、「イベントログ」、「ネットワークログ」から選択できます。

■ [保存...] ボタン

レコーダーログを種別ごとに保存します。

STEP3

レコーダーを選択し、[取得] ボタンをクリックします。
→砂時計が表示されます。取得が終了すると、ログリストが表示されます。



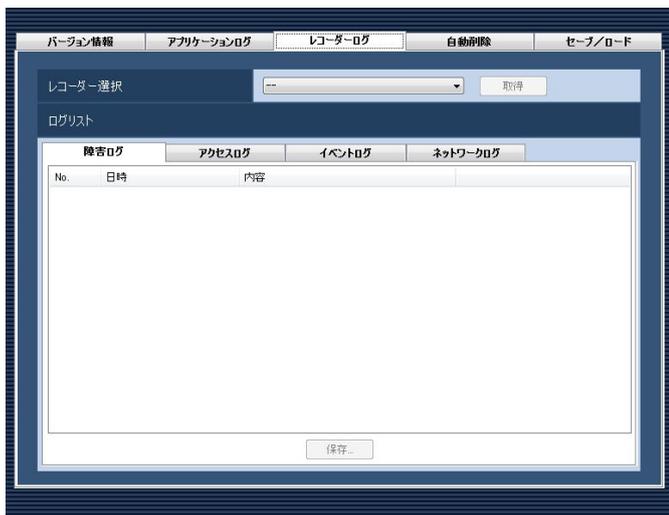
メンテナンスに関する設定（つづき）

レコーダーログを保存する

指定したレコーダーログを保存します。

STEP1

レコーダーログ画面を表示します。（※135ページ）

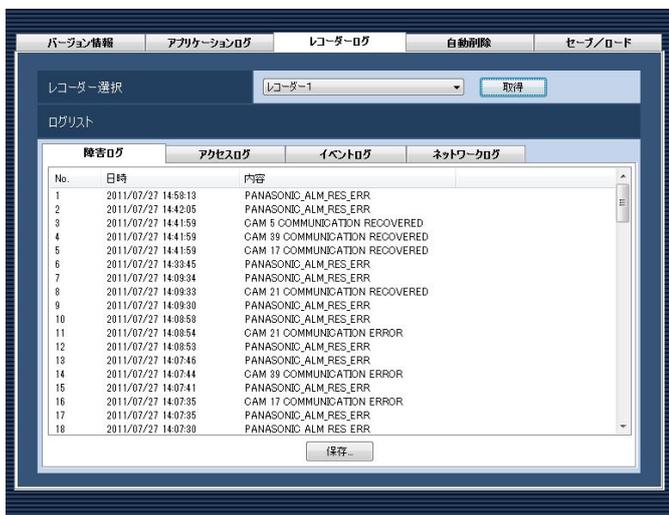


STEP2

レコーダーを選択し、[取得] ボタンをクリックします。

→砂時計が表示されます。

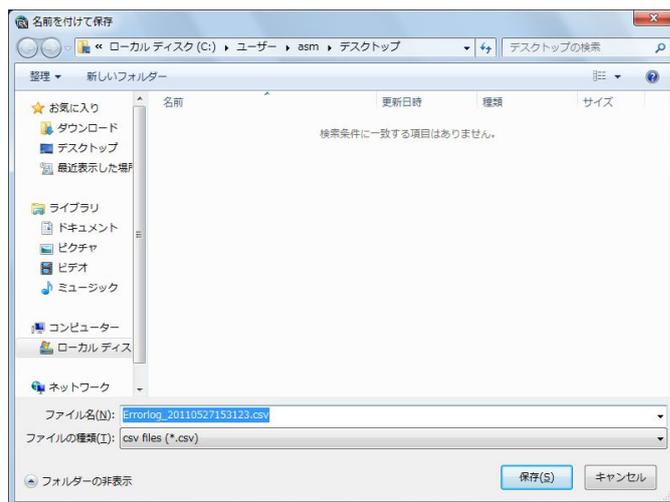
取得が終了すると、ログリストが表示されます。



STEP3

保存するログのタブをクリックして、[保存...] ボタンをクリックします。

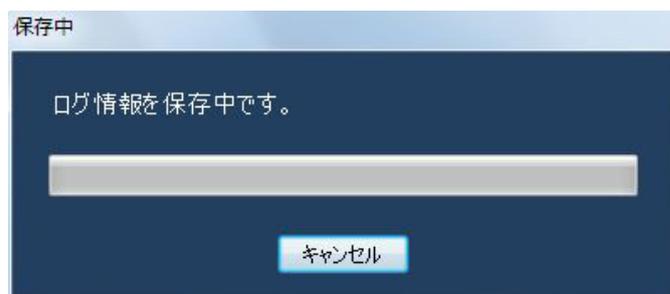
→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP4

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。

→レコーダーログ情報保存中画面が表示されます。



保存が終了すると、自動的にレコーダーログ情報保存中画面を閉じ、レコーダーログ画面に戻ります。

メンテナンスに関する設定（つづき）

レコーダーログリストの説明

レコーダーログは接続機器およびレコーダーログイン中の障害、レコーダーの障害、レコーダーを中心としたネットワークの障害状況をレコーダー内で記録したものです。各ログ種別の発生（操作）日時とその内容が表示されます。各レコーダーログの最大登録件数は以下のとおりです。

障害ログ : 100件（NV200、NV250、NV300は1000件）

アクセスログ : 100件

イベントログ : 750件

ネットワークログ : 1000件（NV200、NV250、NV300は100件）



No.	日時	プロトコル	内容
1	2007/02/02 11:02:16	FTP	FTPSVRFWD_OK
2	2007/01/18 16:13:50	FTP	FTPSVRFWD_OK
3	2007/01/16 18:22:14	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
4	2007/01/16 18:15:31	--	CONFIG_LOGIN
5	2007/01/16 17:12:19	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
6	2007/01/16 15:37:00	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
7	2007/01/13 17:47:50	FTP	FTPSVRFWD_OK
8	2007/01/13 17:47:58	FTP	FTPSVRFWD_OK
9	2007/01/10 13:50:22	--	CONFIG_LOGIN
10	2006/12/26 18:47:54	FTP	FTPSVRFWD_OK
11	2006/12/16 13:34:47	FTP	FTPSVRFWD_OK
12	2006/12/05 14:14:39	--	CONFIG_LOGIN
13	2006/12/04 22:02:51	FTP	FTPSVRFWD_OK
14	2006/12/04 22:00:21	FTP	FTPSVRFWD_OK
15	2006/12/04 21:50:49	--	CONFIG_LOGIN

■No.

ログの番号を表示します。若い番号ほど新しいログになります。

■日時

発生（操作）日時を表示します。

■プロトコル

プロトコルを表示します。

■内容

発生（操作）内容を表示します。

操作ログを自動削除する【自動削除】

本ソフトウェアで記録される操作ログを自動削除するかどうかを設定します。自動削除を設定する場合は、ログを保存する期間を設定します。設定したログ保存期間を経過すると自動削除します。

重要

- PCが起動していない場合、設定したログ保存期間を経過してもログは削除されません。

メモ

- 本ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」（[P.130](#) ページ）をお読みください。

[メンテナンス] ボタンをクリックし、[自動削除] タブをクリックして、自動削除画面を表示します。



■操作ログ自動削除

操作ログを自動削除するかどうかを選択します。

- ON : 自動削除します。
- OFF : 自動削除しません。

お買い上げ時の設定：ON

■操作ログ保存期間

操作ログの保存期間を以下から選択します。本設定は「操作ログ自動削除」を「ON」にしないと選択できません。

31日 / 92日 / 184日 / 366日

お買い上げ時の設定：92日

■【設定保存】ボタン

設定された内容を保存します。

メンテナンスに関する設定（つづき）

設定データをセーブ／ロード／初期化／ログ初期化する [セーブ／ロード]

本ソフトウェアに設定したデータをセーブ（保存）、ロード（復元）、設定データ初期化（クリア）、アプリケーションのログを初期化（クリア）します。

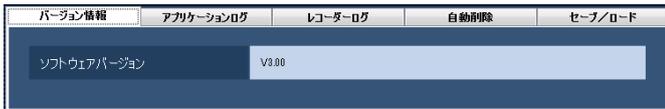
セーブする（保存）

重要

- 設定データは、外部ハードディスクやその他のメディアにコピーして、定期的に保存してください。PCのハードディスクが損傷した場合、設定データを復元できない可能性があります。
- 設定データをセーブした場合、すべてのアプリケーションログのセーブも行います。

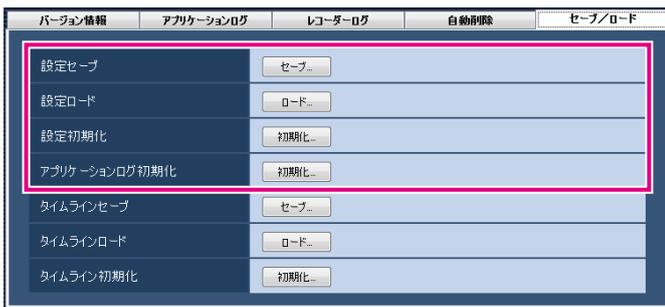
STEP1

[メンテナンス] ボタンをクリックします。
→バージョン情報画面が表示されます。



STEP2

[セーブ／ロード] タブをクリックします。
→セーブ／ロード画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■ [セーブ...] ボタン

名前を付けて保存画面を表示します。

■ [ロード...] ボタン

「開く」画面を表示します。

■ [初期化...] ボタン

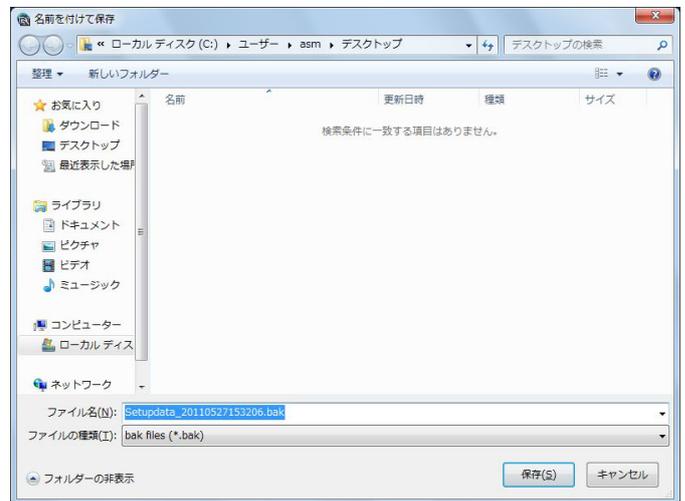
設定データ初期化開始の確認画面を表示します。

■ [初期化...] ボタン

アプリケーションログ初期化開始の確認画面を表示します。

STEP3

設定セーブの [セーブ...] ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。



STEP4

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→データの保存が開始されます。

STEP5

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
→セーブ／ロード画面に戻ります。

メンテナンスに関する設定（つづき）

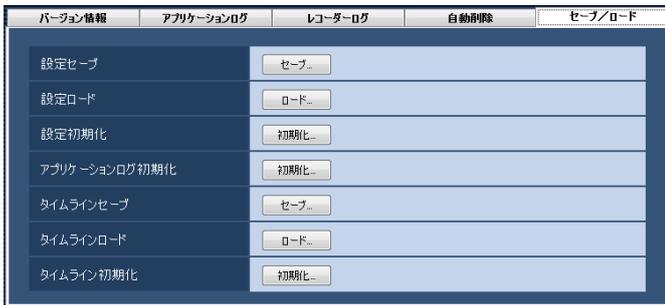
ロードする（復元）

重要

- 設定データをロードすると、設定データがすべて上書きされます。
- 設定データをロードすると、設定ソフトウェアが再起動します。
- 設定データをロードした場合、保存されているすべてのアプリケーションログも上書きロードされます。
※保存されているアプリケーションログが古い場合はその時点のログに戻ります。

STEP1

セーブ/ロード画面を表示します。（[図 139ページ](#)）



STEP3

読み込むファイルを選択して、[開く(O)] ボタンをクリックします。

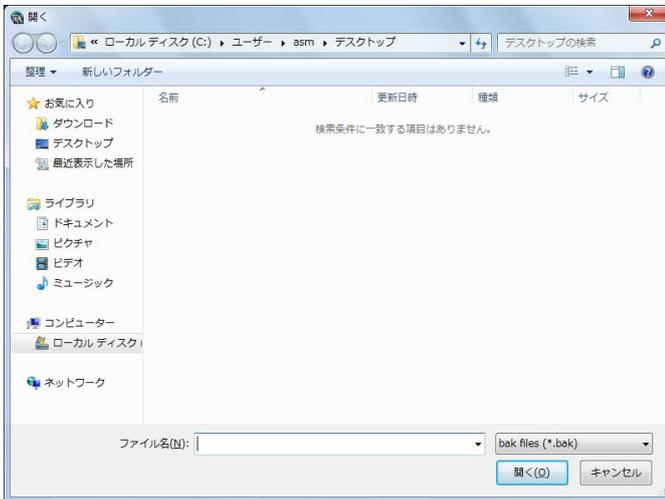
→ロード開始確認画面が表示されます。



STEP2

設定ロードの [ロード...] ボタンをクリックします。

→「開く」画面が表示されます。



STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

→データの読み込みが開始されます。

STEP5

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

メンテナンスに関する設定（つづき）

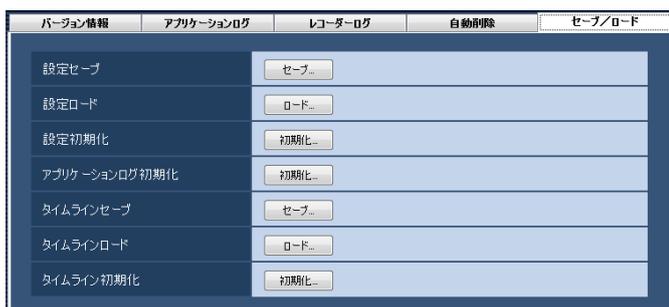
設定データを初期化する（クリア）

重要

- 設定データを初期化すると、各種設定データがすべて初期化されます。初期化する前に、データをセーブしておくことをおすすめします。
- 設定データを初期化すると、設定ソフトウェアが再起動します。

STEP1

セーブ/ロード画面を表示します。（[図 139](#)ページ）



STEP2

設定初期化の「初期化...」ボタンをクリックします。

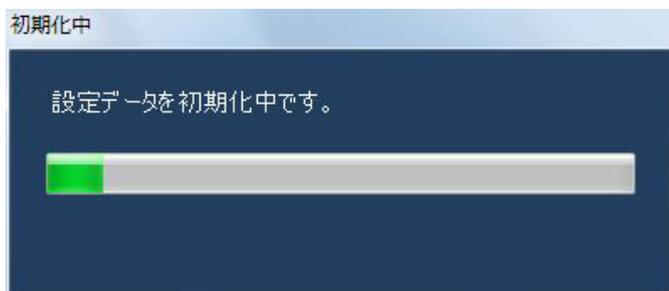
→初期化開始確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→初期化を開始します。



STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

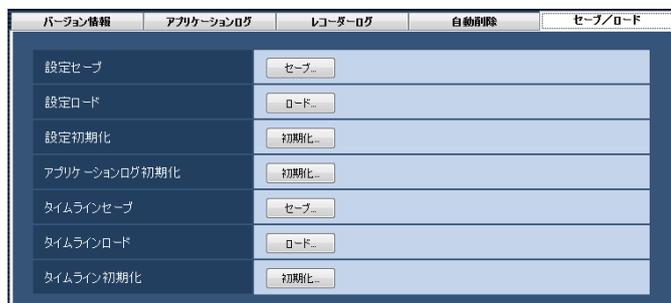
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

メンテナンスに関する設定（つづき）

アプリケーションログを初期化する（クリア）

STEP1

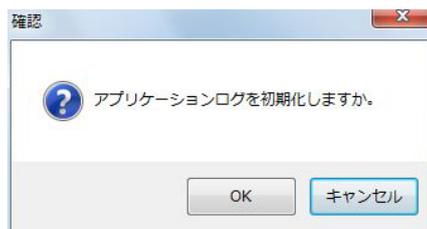
セーブ／ロード画面を表示します。（[図 139](#)ページ）



STEP2

アプリケーションログ初期化の [初期化...] ボタンをクリックします。

→初期化開始確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→初期化が開始されます。

STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

メンテナンスに関する設定（つづき）

タイムラインデータをセーブ／ロード／初期化する [セーブ／ロード]

本ソフトウェアで取得したタイムラインのデータをセーブ（保存）、ロード（復元）、タイムラインデータ初期化（クリア）します。

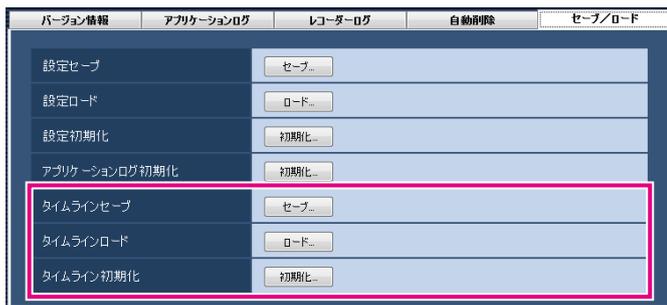
タイムラインをセーブする（保存）

重要

- タイムラインデータは、設定データと共に外部ハードディスクやその他のメディアにコピーして、定期的に保存してください。
- 本機能は「タイムラインDB」を「マスター」にしているときのみ使用できます。

STEP1

セーブ／ロード画面を表示します。（[p.139](#)ページ）



画面の説明は以下のとおりです。

■ [セーブ...] ボタン

名前を付けて保存画面を表示します。

■ [ロード...] ボタン

ファイルを開く画面を表示します。

■ [初期化...] ボタン

タイムラインデータ初期化開始の確認画面を表示します。

STEP2

タイムラインセーブの [セーブ...] ボタンをクリックします。

→名前を付けて保存画面が表示されます。

STEP3

保存先を指定して、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→データの保存が開始されます。

STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
→セーブ／ロード画面に戻ります。

メンテナンスに関する設定（つづき）

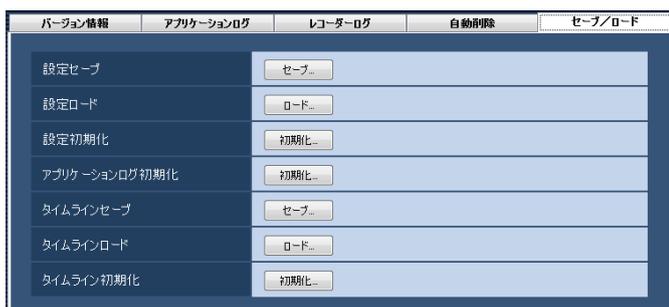
タイムラインをロードする（復元）

重要

- タイムラインデータをロードすると、タイムラインデータがすべて上書きされます。
※保存されているアプリケーションログが古い場合はその時点のログに戻ります。

STEP1

セーブ／ロード画面を表示します。（[P.139](#)ページ）



STEP2

タイムラインロードの [ロード...] ボタンをクリックします。

→ファイルを開く画面が表示されます。

STEP3

読み込むファイルを選択して、[開く(O)] ボタンをクリックします。

→ロード開始確認画面が表示されます。

STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

→データの読み込みが開始されます。

STEP5

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

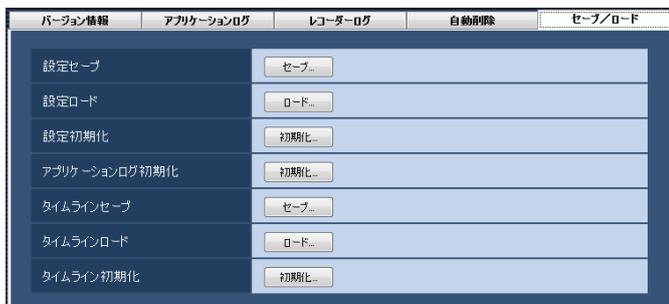
メンテナンスに関する設定（つづき）

タイムラインを初期化する（クリア）

タイムラインDBにより本PC内に収集したレコーダーの録画情報を初期化（クリア）します。

STEP1

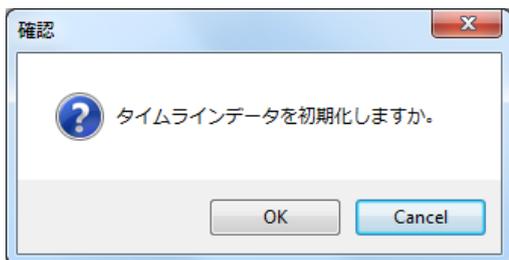
セーブ／ロード画面を表示します。（[図 139ページ](#)）



STEP2

タイムライン初期化の「初期化...」ボタンをクリックします。

→初期化開始確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→初期化が開始されます。

STEP4

画面表示を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

ライセンス登録に関する設定

本ソフトウェアを正規にご使用いただくためのライセンス登録のほか、機能拡張ソフトウェア（別売り）を追加するためのライセンスを登録します。ライセンスの登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本ソフトウェアの解除キー番号の取得方法は、付属の「起動情報案内カード」をお読みください。また、機能拡張ソフトウェアの解除キー番号の取得方法は、機能拡張ソフトウェアに付属する「起動情報案内カード」をお読みください。

重要

- ライセンスの登録を有効にするには [登録] ボタンをクリックする必要があります。また、ライセンスの登録には本ソフトウェアの再起動が発生します。
- 本ソフトウェアのライセンスを登録する際には、必ず本ソフトウェアをご使用になるPC上で行ってください。

ライセンスを登録する

本ソフトウェアを使用、機能拡張ソフトウェア（別売り）を追加するための解除キー番号を登録します。

メモ

- 機能拡張ソフトウェアのデモ版（90日間）をご使用になる場合は、付属CD-ROM内のReadme.txt記載の機能拡張ソフトウェアデモ版解除キー番号を登録してください。

STEP 1

[ライセンス登録] ボタンをクリックします。
→ライセンス登録画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■キー管理システム入力情報

解除キー番号を取得するためのID番号です。本ソフトウェアに付属の「起動情報案内カード」に、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■機器ID番号

本ソフトウェアをインストールしたPCを識別するための番号です。キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。

■起動ID番号

キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。番号は付属の「起動情報案内カード」に記載しています。

■暗号ID番号

キー管理システムで解除キー番号を取得する際に必要となります。番号は付属の「起動情報案内カード」に記載しています。

■ライセンス登録

入力された解除キー番号、およびすでに登録されたライセンス情報を一覧表示します。

■ [追加...] ボタン

解除キー番号入力画面を表示します。

ライセンス登録に関する設定（つづき）

■【修正...】ボタン

ライセンス登録の一覧上で選択された解除キー番号を表示します。

メモ

- すでに登録済みのライセンス内容を修正することはできません。

■【削除...】ボタン

ライセンス登録の一覧上で選択された解除キー番号を削除します。

メモ

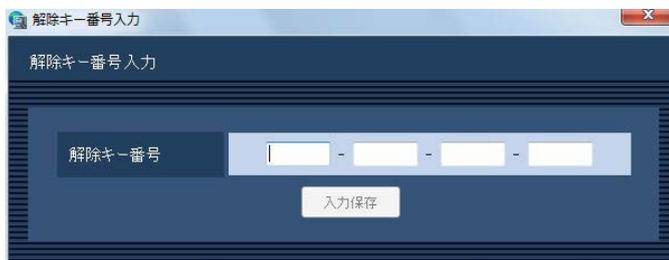
- すでに登録済みのライセンス内容を削除することはできません。

■【登録】ボタン

ライセンス登録を行います。

STEP2

[追加...] ボタンをクリックします。
→解除キー番号入力画面が表示されます。



画面の説明は以下のとおりです。

■解除キー番号

キー管理システムで取得した解除キー番号を入力します。

■【入力保存】ボタン

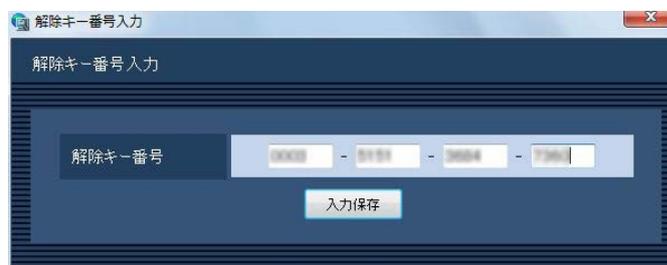
入力した解除キー番号を登録できるように一時的に保存します。

重要

- 入力保存だけでは未だライセンスの登録は完了していません。必ずライセンス登録画面上の[登録] ボタンをクリックしてください。

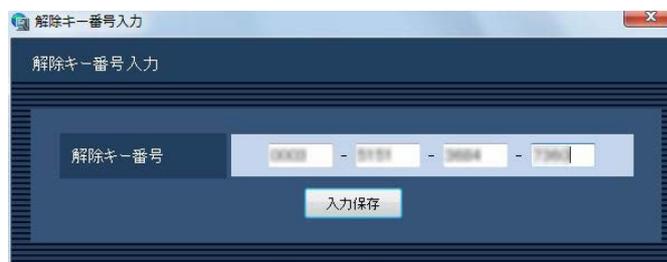
STEP3

解除キー番号を入力します。
キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。



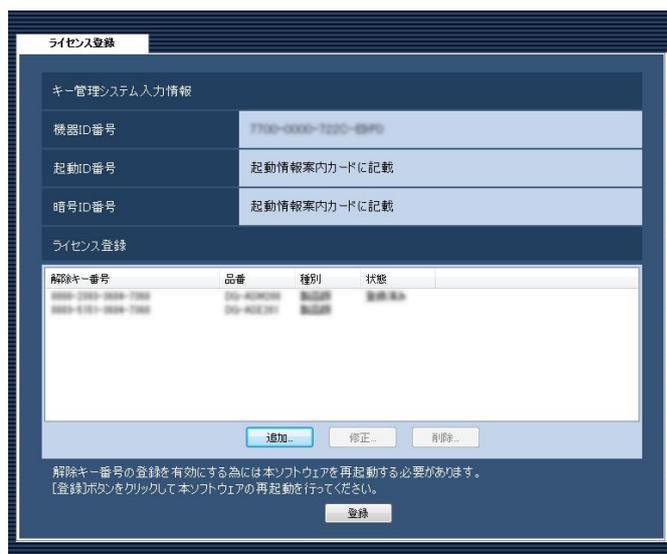
STEP4

[入力保存] ボタンを入力します。



STEP5

入力された解除キー番号の情報を確認し、[登録] ボタンをクリックします。



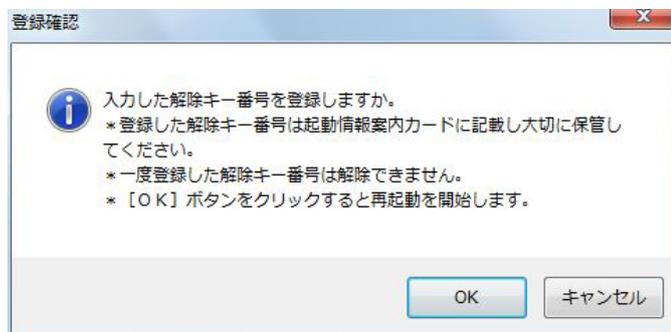
メモ

- 【登録】 ボタンをクリックせずに他の画面に切り換える、または設定ソフトウェアを終了した場合、入力した解除キー番号は消去されます。

ライセンス登録に関する設定（つづき）

STEP6

[OK] ボタンをクリックします。登録を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



重要

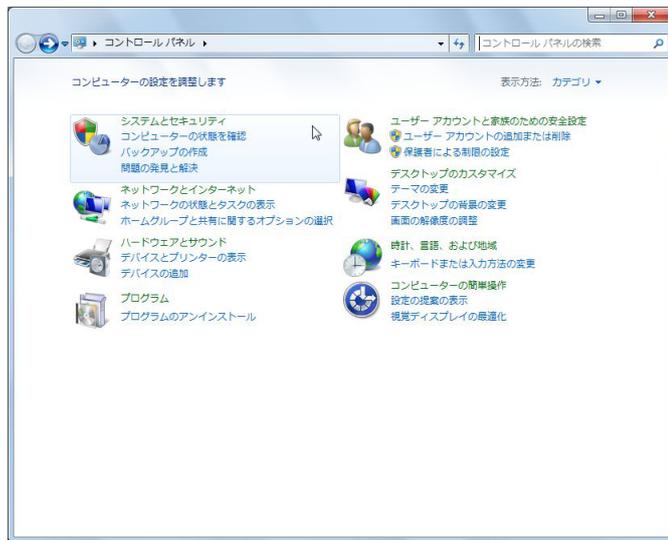
- 一度登録された解除キー番号は本ソフトウェア上で解除することができません。登録に間違いがないか必ず確認してください。
- [OK] ボタンをクリックすると自動的に本ソフトウェアが再起動されます。

ファイアウォールの例外設定

ライブ画表示、ダウンロード機能および独自アラーム通知機能（アラーム通知、イベント通知）を使用可能にするためにファイアウォールの例外設定を行います。本書ではWindows7による設定の例を示します。

STEP1

コントロールパネルの [システムとセキュリティ] をクリックします。



→システムとセキュリティ画面が表示されます。

STEP2

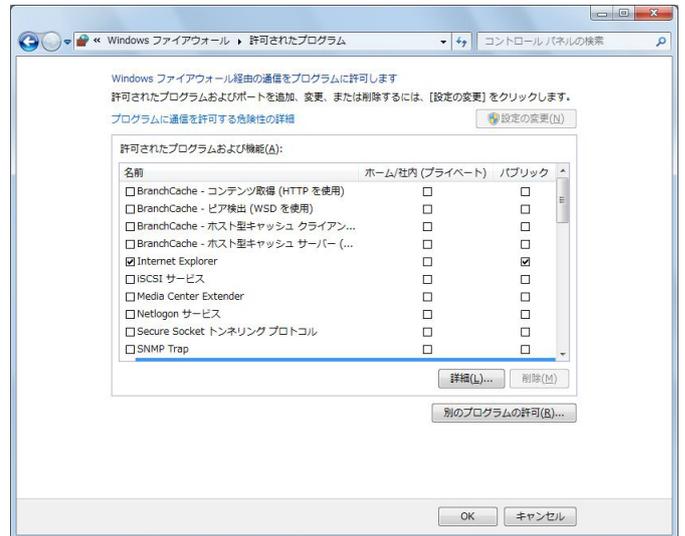
[Windowsファイアウォール] - [Windowsファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。



→許可されたプログラム画面が表示されます。

STEP3

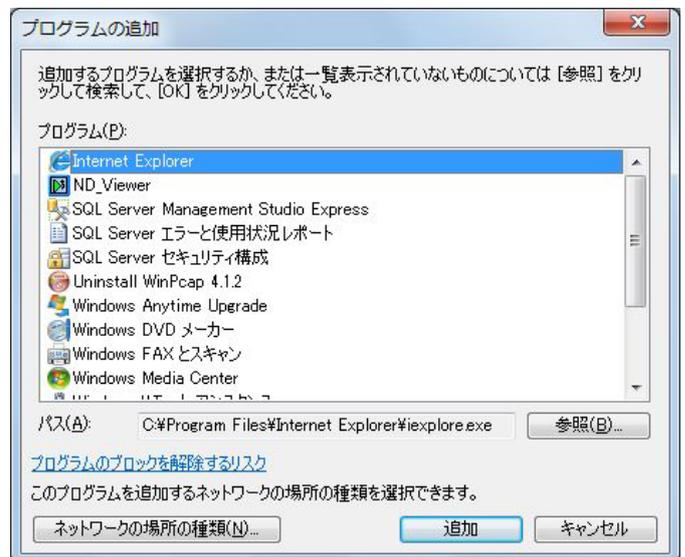
[別のプログラムの許可(R)...] ボタンをクリックします。



→プログラムの追加画面が表示されます。

STEP4

[参照(B)...] ボタンをクリックします。

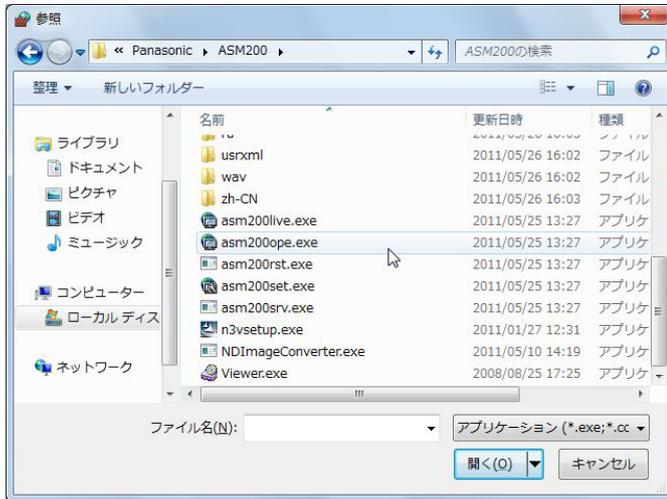


→参照画面が表示されます。

ファイアウォールの例外設定 (つづき)

STEP5

「asm200ope.exe」を選択し、「開く(O)」ボタンをクリックします。

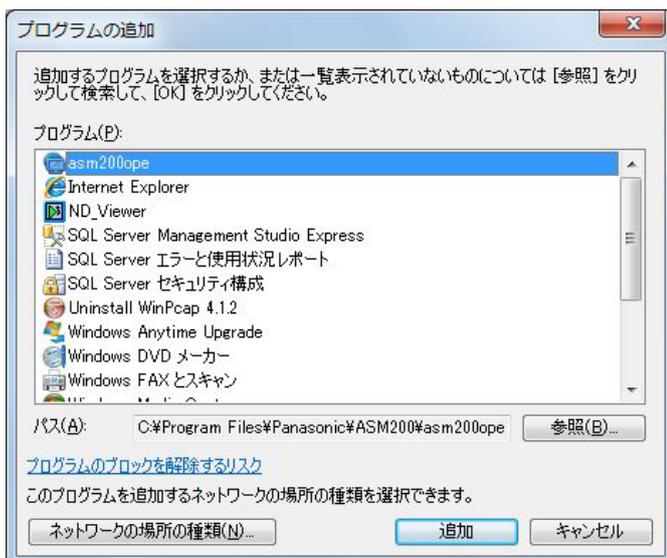


メモ

- 標準設定のままインストールすると、32bitOSの場合以下の場所に保存されています。
C:\Program Files\Panasonic\ASM200
- 64bitOSの場合、「Program Files」は「Program Files (x86)」となります。

STEP6

「asm200ope.exe」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



STEP7

STEP3～6の手順を行い、「asm200live.exe」、「asm200liveIP.exe」、「asm200srv.exe」、「asm200tlsrv.exe」、「sqlservr.exe」、「sqlbrowser.exe」、「ファイルとプリンター共有」も同様に登録します。

メモ

- 標準設定のままインストールすると、32bitOSの場合それぞれ以下の場所に保存されています。
asm200live.exe:
C:\Program Files\Panasonic\ASM200
asm200liveIP.exe:
C:\Program Files\Panasonic\ASM200
asm200srv.exe:
C:\Program Files\Panasonic\ASM200
asm200tlsrv.exe:
C:\Program Files\Panasonic\ASM200
sqlservr.exe:
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11.ASM200\MSSQL\Binn
sqlbrowser.exe:
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\90\Shared
- 64bitOSの場合、「Program Files」は「Program Files (x86)」となります。
- 「sqlservr.exe」、「sqlbrowser.exe」はSTEP6の画面でそれぞれ「SQL Sever Windows NT」、「SQL Browser Service EXE」に名称が変わります。

STEP8

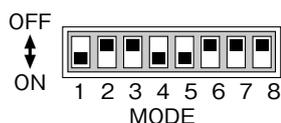
[OK] ボタンをクリックします。

システムコントローラー (DG-CU950) の設定

WV-ASM200シリーズをインストールしたPCとDG-CU950を10/100 Base-T端子を使って接続し、DG-CU950からWV-ASM200シリーズをコントロールする場合、DG-CU950の設定変更が必要です。以下の操作手順にしたがって、設定を変更してください。

モード設定スイッチの設定

DG-CU950背面のモード設定スイッチをEthernetモードに設定します。スイッチの設定は電源を切った状態で行ってください。下図のように設定します。



コントローラー番号の設定

コントローラー番号は「1」のままお使いください。

ネットワーク設定

モード設定スイッチでEthernetモードに設定してからネットワーク設定を行ってください。

STEP1

 + **0** +  を押しながら電源を入れます。
管理者パスワードを入力する画面が表示されます。

```
IP Addr Setup Mode
Admin Password _____
```

STEP2

管理者パスワードをテンキーを使って入力します。
入力したパスワードは「*」で表示されます。
 を押しすと、入力した数字が削除されます。

```
IP Addr Setup Mode
Admin Password *****
```

STEP3

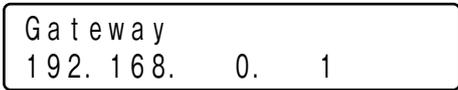
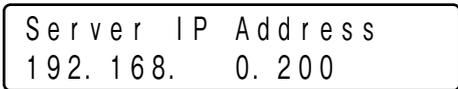
 を押しします。
設定項目の選択画面が表示されます。

システムコントローラー (DG-CU950) の設定 (つづき)

STEP4

設定したい項目を、 で選択します

※設定できる項目は以下のとおりです。

ディスプレイ表示	内 容
 IP Address 192. 168. 0. 210	コントローラーのIPアドレスを設定します。 初期設定：192.168.0.210
 Subnet Mask 255. 255. 255. 0	コントローラーのサブネットマスクを設定します。 初期設定：255.255.255.0
 Gateway 192. 168. 0. 1	コントローラーのデフォルトゲートウェイを設定します。 初期設定：192.168.0.1
 Keyboard ID 1	変更の必要はありません。 初期設定：1
 Server IP Address 192. 168. 0. 200	WV-ASM200シリーズがインストールされたPCのIPアドレスを設定 します。 初期設定：192.168.0.200
 Server ID 1	変更の必要はありません。 初期設定：1

STEP5

設定したい項目の画面で  を押します。

STEP6

IP Address、Subnet Mask、Gateway、Server IP Addressを設定する場合、テンキーを使ってアドレス (nnn.nnn.nnn.nnn) を入力します。


IP Address
192. 168. 0. 210

点滅した箇所を変更できます。

修正したい数字にカーソルを合わせ、テンキーで入力すると数字が変更されます。

カーソルは  で左右に移動します。

入力値を修正する場合は、 を押すとその桁の値がクリアされます。

nnnには0~255の数値を入力してください。

STEP7

 を押します。

変更した値が確定し、設定項目の選択画面に戻ります。
(STEP4)

STEP8

全体の設定が完了したら電源を切ります。

全方位カメラの設置方法を設定する

設置方法を設定します。設定は本ソフトウェアでは行わず、ご使用となるカメラのブラウザ上で行います。詳しい操作方法は、カメラの取扱説明書をお読みください。

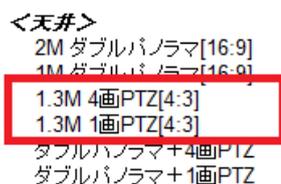
天井に設置する場合

STEP1

天井に設置するカメラブラウザの設定画面を表示します。

STEP2

[カメラ] - [JPEG/H.264] - [撮像モード] を [<天井>1.3M 4画PTZ [4:3]] または [<天井>1.3M 1画PTZ [4:3]] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。



STEP3

[基本] - [上下反転] を [off] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。

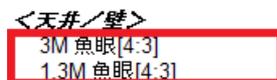


STEP4

カメラで設定した画角を使用したい場合は、ここでプリセット登録を行います。プリセットの登録方法につきましては、カメラの取扱説明書を参照してください。

STEP5

[撮像モード] を [3M魚眼 [4:3]] または [1.3M魚眼 [4:3]] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。



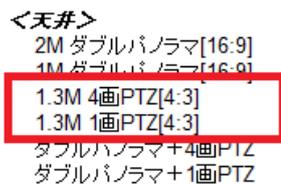
卓上に設置する場合

STEP1

卓上に設置するカメラブラウザの設定画面を表示します。

STEP2

[カメラ] - [JPEG/H.264] - [撮像モード] を [<天井>1.3M 4画PTZ [4:3]] または [<天井>1.3M 1画PTZ [4:3]] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。



STEP3

[基本] - [上下反転] を [on] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。

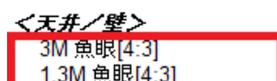


STEP4

カメラで設定した画角を使用したい場合は、ここでプリセット登録を行います。プリセットの登録方法につきましては、カメラの取扱説明書を参照してください。

STEP5

[撮像モード] を [3M魚眼 [4:3]] または [1.3M魚眼 [4:3]] を選択し、[設定] をクリックします。



全方位カメラの設置方法を設定する（つづき）

壁に設置する場合

STEP1

壁に設置するカメラブラウザの設定画面を表示します。

STEP2

[カメラ] - [JPEG/H.264] - [撮像モード] を [<壁>1.3M 4画PTZ [4:3]] または [<壁>1.3M 1画PTZ [4:3]] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。

<壁>

2M パノラマ[16:9]

1M パノラマ[16:9]

1.3M 4画PTZ[4:3]

1.3M 1画PTZ[4:3]

パノラマ+4画PTZ

パノラマ+1画PTZ

STEP3

カメラで設定した画角を使用したい場合は、ここでプリセット登録を行います。プリセットの登録方法につきましては、カメラの取扱説明書を参照してください。

STEP4

[撮像モード] を [3M魚眼 [4:3]] または [1.3M魚眼 [4:3]] に選択し、[設定] ボタンをクリックします。

<天井/壁>

3M 魚眼[4:3]

1.3M 魚眼[4:3]

メモ

- 上記は、3M全方位カメラのカメラブラウザを例に説明しています。
- 設置方法を変更すると、再設定した設置方法にて改めてプリセット登録を行う必要があります。
- パンチルトズーム操作で画角を変更した場合、画角情報を保持しているため、プリセット位置がずれて表示されることがあります。登録したプリセット位置を確認するには、機器ツリーでカメラを選択後、プリセットを「HOME」に移動を行い、画角位置を確認してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
レコーダーが登録できない	●最大登録数（100台）を超えている。 不要な登録レコーダーを削除してから、登録してください。	3、42、52
エンコーダーが登録できない	●最大登録数（64台）を超えている。 不要な登録エンコーダーを削除してから、登録してください。	3、53、59
カメラが登録できない	●最大登録数（256台）を超えている。 不要な登録カメラを削除してから、登録してください。	3、60、70
マイクが登録できない	●最大登録数（256台）を超えている。 不要な登録マイクを削除してから、登録してください。	3、71、76
ユーザーが登録できない	●最大登録数（32人）を超えている。 不要な登録ユーザーを削除してから、登録してください。	3、82、86
グループが登録できない	●最大登録数（400件）を超えている。 不要な登録グループを削除してから、登録してください。	3、88、91
シーケンスが登録できない	●最大登録数（10件）を超えている。 不要な登録シーケンスを削除してから、登録してください。	3、92、95
マップが登録できない	●最大登録数（100件）を超えている。 不要なマップを削除してから、登録してください。	3、101、103
チップヘルプで表示されたカメラタイトルが登録したものと異なる	●一部の半角記号については、正常に表示されない場合があります。 例)「&&」と「&」を続けて入力すると、「&」と表示される。	—
ライセンスが登録できない。	●入力された解除キー番号が対象商品のものと合致していない場合があります。 再度キー管理システムで取得した解除キー番号の情報と本ソフトウェアの製品が合っているか確認してください。	—
ライブ画像の更新が不安定 機器との接続が切断される ダウンロードした画像が正しく表示されない 画像が正しく表示・録画・再生されない	●接続機器とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。HUBの通信速度状態および接続機器のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。（1000 Mbps対応レコーダー・PCおよびHUBについては通信速度を「1000-FULL」、未対応機種については「100-FULL」に設定することを推奨します。）	—

表示メッセージと対処方法

設定ソフトウェア起動時

設定ソフトウェア起動時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
運用ソフトウェアが起動されているため、起動できません。	<ul style="list-style-type: none">● 運用ソフトウェアをすでに起動している場合、設定ソフトウェアを起動することはできません。[OK] ボタンをクリックして運用ソフトウェアを終了してから設定ソフトウェアを起動してください。
本ソフトウェアの動作環境が正しく認識できませんでした。PCのネットワーク環境が有効になっていることを確認し再度登録操作を行ってください。	<ul style="list-style-type: none">● PCのネットワークアダプターが有効になっていることを確認してください。無効になっている場合は有効にしてください。

ログイン画面の [OK] ボタンクリック時

[OK] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none">● ユーザー名またはパスワードが間違っています。再度、ログインしてください。それでもログインできない場合は、管理者に確認してください。管理者は、ユーザー設定を確認してください。

[設定保存] ボタンクリック時

[設定保存] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
権限がないので設定できません。	<ul style="list-style-type: none">● 管理者以外のユーザーが [設定保存] ボタンをクリックすると表示されます。[OK] ボタンをクリックし、確認画面を閉じてください。設定した内容はデータベースに保存されません。
次のいずれかに該当するため設定できません。 <ul style="list-style-type: none">● 使用禁止文字が入力されている。● 何も入力されていない。● 入力値が設定範囲内ではない。	<ul style="list-style-type: none">● 使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[設定保存] ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。
重複している項目があるので設定できません。	<ul style="list-style-type: none">● 重複禁止の項目で、重複した内容を設定し、[設定保存] ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	<ul style="list-style-type: none">● 他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。

表示メッセージと対処方法（つづき）

メッセージ	原因・対処方法
機器情報の取得を行っていないので設定できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器登録画面で「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」、「管理者名」、「パスワード」のいずれかを変更すると表示されます。 [取得...] ボタンをクリックし、機器情報の取得をしてください。
操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計を20画以内にしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの基本設定画面で、操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計が20画を超えた状態で [設定保存] ボタンをクリックすると表示されます。 操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計を20画以内になるように再設定してください。
次に該当するため設定できません。 ・連動カメラが未設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 連動カメラが未設定の状態で [設定保存] ボタンをクリックすると表示されます。 連動カメラを設定してください。

【削除...】 ボタンクリック時

【削除...】 ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
権限がないので設定できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者以外のユーザーが [削除...] ボタンをクリックすると表示されます。 [OK] ボタンをクリックし、確認画面を閉じてください。設定した内容はデータベースに保存されません。
削除しますか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器管理、ユーザー設定、グループ設定、シーケンス設定、マップなどの画面で [削除...] ボタンをクリックすると表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると、削除した内容をデータベースに保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、削除した内容はデータベースに保存しません。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。

機器登録画面の【取得...】 ボタンクリック時

【取得...】 ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器情報の取得に失敗すると表示されます。 機器との接続状況と機器情報（アドレス、HTTPポート番号、プロキシの使用など）を確認して、再度、機器情報の取得をしてください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているレコーダーではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本ソフトウェア未対応のレコーダーに、情報の取得をしようと表示されます。 お使いの機器が対応しているレコーダーかどうか確認してください。
取得に失敗しました。接続したレコーダーは対応しているバージョンではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本ソフトウェア対応のレコーダーですが、未対応バージョンのレコーダーに情報の取得をしようと表示されます。 お使いのレコーダーのバージョンを確認してください。
レコーダーから端子アラーム設定を取得できませんでした。管理者名およびパスワードの設定を確認し、再取得を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ● レコーダーから端子アラーム設定を取得できなかった場合に表示されます。 レコーダーの管理者ユーザーのユーザー名/パスワードと本ソフトウェアの機器ごとのユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。

表示メッセージと対処方法（つづき）

メッセージ	原因・対処方法
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているエンコーダーではありません。	●本ソフトウェア未対応のエンコーダーに、情報の取得をすると表示されます。お使いの機器が対応しているエンコーダーかどうか確認してください。
取得に失敗しました。接続したエンコーダーは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のエンコーダーですが、未対応バージョンのエンコーダーに情報の取得をすると表示されます。お使いのエンコーダーのバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているカメラではありません。	●本ソフトウェア未対応のカメラに情報の取得をした場合に表示されます。お使いの機器が対応しているカメラかどうかを確認してください。
取得に失敗しました。接続したカメラは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のカメラですが、未対応バージョンのカメラに情報の取得をすると表示されます。お使いのカメラのバージョンを確認してください。
マイクにカメラが登録されていません。	●連動カメラを登録していないマイクに情報の取得をした場合に表示されます。マイクのブラウザにて連動カメラを設定してください。
本ソフトウェアに連動カメラが登録されていません。	●本ソフトウェアでカメラを登録せずに、マイクに情報の取得をした場合に表示されます。カメラの登録を行ってから、マイクを登録してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応している機器ではありません。	●本ソフトウェア未対応の機器に情報の取得をした場合に表示されます。お使いの機器が対応している機器かどうかを確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応の機器ですが、未対応バージョンの機器に情報の取得をすると表示されます。お使いの機器のバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。ユーザー認証エラーのためログインできません。	●カメラまたはエンコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗した場合に表示されます。登録時のユーザー名、パスワードを確認してください。
取得した機種が変更されていたため、取得情報を破棄します。一度登録データを削除してから新規登録してください。	●以前登録されていた機器の品番が変更されていると表示されます。登録済みのデータを削除してから、再度登録してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[取得...] ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。

カメラ設定画面のライブ取得先選択時

メッセージ	原因・対処方法
カメラからの情報取得に失敗したため、ライブ取得先をカメラに設定できません。カメラとの接続を確認してください。	●対応していない機器からは情報取得できないため、常にこのメッセージが表示され、ライブ取得先にカメラを選択することができません。対応機器については、「対応機器一覧」(P.4ページ)をお読みください。

表示メッセージと対処方法（つづき）

カメラ設定画面の [OK] ボタンクリック時

[OK] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 • 使用禁止文字が入力されている。 • 何も入力されていない。 • 入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[OK] ボタンをクリックすると表示されます。 エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。

マップ作成画面のドラッグ&ドロップ時

カメラ、マップのアイコンをドラッグ&ドロップした時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
登録できる最大数を超えるので追加できません。	● 最大登録数を超えて、登録しようとする则表示されます。 不要なカメラ・マップを削除し、新規に登録してください。

レコーダーログ画面の [取得] ボタンクリック時

[取得] ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
取得に失敗しました。 障害ログ アクセスログ イベントログ ネットワークログ	● レコーダーログ情報を取得するとき、レコーダーと通信ができない場合に表示されます。 レコーダーとの接続状態を確認して、再度、レコーダーログの取得をしてください。

表示メッセージと対処方法（つづき）

名前を付けて保存画面の【保存(S)】 ボタンクリック時

【保存(S)】 ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
保存するファイルは既に存在します。上書きしますか。	● 保存しようとしたファイルと同名のファイルがある場合に表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルの保存はしません。
ファイルの保存に失敗しました。	● ファイル保存に失敗すると表示されます。 再度、ファイルを保存しなおしてください。

エラーが発生したとき

本ソフトウェアを使用中に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
Windowsを再起動してください。それでも、このメッセージが表示される場合は、再インストールしてください。	● 本ソフトウェアを再起動してもなおらない深刻なエラーが発生すると表示されます。 Windowsを再起動してください。それでも修復されない場合、本ソフトウェアを再インストールしてください。
DBに必要な情報がありません。設定データのバックアップデータをロードしてください。バックアップデータがない場合は、再インストールまたは設定データを初期化してください。	● DBに必要な情報がない場合に表示されます。 バックアップしている設定データをインポートしてください。

コントローラー画面の番号入力確定時

コントローラー画面のカメラ番号（グループ番号、シーケンス番号）入力確定時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・ 使用禁止文字が入力されている。 ・ カメラ番号が重複している。 ・ 入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、カメラ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・ 使用禁止文字が入力されている。 ・ グループ番号が重複している。 ・ 入力値が設定範囲内ではない。	● 使用禁止文字の入力、グループ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

表示メッセージと対処方法（つづき）

メッセージ	原因 ・ 対処方法
<p>次のいずれかに該当するため設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none">• 使用禁止文字が入力されている。• シーケンス番号が重複している。• 入力値が設定範囲内ではない。	<ul style="list-style-type: none">● 使用禁止文字の入力、シーケンス番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号